

若菜下(大・横・榊・池・陽・肖・三・明・穂・玉・徹・証・正・飯)

11 25-01 ことほりとはことほりと(は)〔穂ハ符号無〕

池穂

11 25-01 おもへともおもへと陽徹証正おもへと〔も

なを〕穂

11 25-01 いへるかな侍かな横池侍(いへる)かな

池

11 25-01 なそナシ玉

11 25-01 かくナシ池

11 25-02 あへしらひあひしらひ穂玉

11 25-02 ひと事をもひとことも池

11 25-03 つけてもつけて横榊池陽三明穂玉徹証正

飯つけて(もイ)三

11 25-03 おしくおしく(へく)肖

11 25-04 御ため御ためにも榊

11 25-04 なまゆかむなとゆかん飯

11 25-04 心や心ちや玉

11 25-04 そひにたらんそへ(ひ)にたらむ池

11 25-05 すゝろはしけれとそゝろはしけれと玉す

ゝろはしけれと証すゝろはしけれと

正

11 25-05 色をも色(をも)池

11 25-05 みてやみせや飯

11 25-06 きざらぎときざらぎにと三きざらぎに〔と

後補〕明

11 25-07 うちおしくとくちをしと榊三

11 25-07 院に院(に)池

11 25-08 左右大将左右大将たちと榊左右の大将肖

玉徹

11 25-09 こゆみと(こゆみ)池

11 25-09 かちゆみののりかちゆみの榊

11 25-10 めしいてゝめして穂

11 25-10 いさせいらせ飯

11 25-10 たまふナシ榊

11 25-10 殿上人とも殿上人とも穂

11 25-11 みなナシ陽

11 25-11 まへしりへのまへしりての穂

11 25-11 心ナシ穂

11 25-11 方わきてかきわきて榊

11 25-11 とちむるとちんる穂

11 25-12 花のかけ花のかぎ(け)〔朱〕大

11 25-12 いとゝナシ横いとゝ陽いと飯※

11 25-12 やすからていとゝやすからて池※

11 25-13 こなたかなたこなたかなたの榊

11 25-14 御心心徹

11 25-14 みえぬへきをみえぬへき榊

11 25-14 いあてつへき(い)あてつへき大あてつへき

横榊池陽肖三明穂玉徹証正飯

11 25-14 うけはりてうけ給はりて池

11 26-01 いとるむしんなりやいとる(る)むしんなり

や〔朱〕大いとる(む)しんなりや榊いと

むしむなりや池陽いとるむし(む)なりや〔ミ

セケチカ〕池いとるむ覧なりや穂飯いとる

んしむなりや玉

11 26-01 すこしす玉

11 26-01 こゝしき見しりた〔ヨイカ〕穂

11 26-01 てつき手つゝき証手つつき正

11 26-01 大将たち大将(たちイ)三

11 26-02 衛門督衛門のかみ三明穂飯

11 26-02 人よりナシ玉

11 26-02 かのかたはし心しれる御めには(かのかたは

し〔心〕ゝれる御めには)池

11 26-03 心しれるこゝろしる陽徹証

11 26-04 事ことは肖

11 26-04 この君たち御中この君たちの御事なか

榊

11 26-05 いふなかにもいふ事にも横池いひ(ふ)な

かにも榊いふ事(中)にも池いふ中にも〔飯

ハもノ上カヲ書ク〕陽明飯いふなる(か)

にも肖※

11 26-05 心かはしてこゝろかはらて穂

11 26-05 物おもはしくものおもはし(へく)池

11 26-07 心は心も徹

11 26-08 人に人に〔にカ〕飯

11 26-08 てむつかるへきてんつかかるへき榊てむ

つかるへき証※

11 26-08 ふるまひはふるまひは陽

11 26-09 おもひわひてはおもふにわひては榊

11 26-09 えてしかなえてしかなと横池穂えてしかな

(と)池

11 26-11 それさへそそれさへと横池それさへ

飯

11 26-11 事こと榊※

11 26-11 女御々方に女御の御(に)かたに横女御の御

方に榊池陽三明穂玉徹飯

11 26-12 おくふかくをん(く)ふかく池をくふかう

玉

- 11 26 | 13 まほにまをに榊穂
- 11 26 | 13 御中らひにたに御ながらひにてたに池玉御
なましにたに「ヨイカ」穂
- 11 26 | 13 ならひたるをならひにたるを榊穂
- 11 26 | 14 ゆくりかにゆくりなく榊
- 11 26 | 14 ありしあら(り)し横
- 11 26 | 14 うちおほゆれとおほゆれと陽玉
- 11 26 | 14 おほろけにおほろ(け)に徹
- 11 27 | 01 あさくもナシ玉
- 11 27 | 01 まいり給てまいり(給)て榊
- 11 27 | 01 ろなうろんなう肖玉徹証正
- 11 27 | 01 かよひかよひ榊※
- 11 27 | 02 などはなには飯
- 11 27 | 03 みたてまつるにみたてまつる証正
- 11 27 | 03 御ありさまはた御ありさまはた玉
- 11 27 | 03 なまめかしくなまめかしう玉
- 11 27 | 03 おはしますおおはします徹
- 11 27 | 04 御ねこの御ねこの榊ねこの穂
- 11 27 | 04 あかれてあれて飯
- 11 27 | 05 みるにナシ飯
- 11 27 | 06 六条の院の六条院の榊池陽肖三穂玉徹証
正
- 11 27 | 06 侍はんへる穂
- 11 27 | 06 ねこそねこそ三明
- 11 27 | 06 みえぬみへぬ池みにぬ玉
- 11 27 | 07 侍しかはへしか明飯
- 11 27 | 07 はつかになむみ給へしとナシ穂
- 11 27 | 07 なむナシ正

- 11 27 | 07 み給へしとみたまひしと榊三※
- 11 27 | 07 けいたまへはそうし給へは池
- 11 27 | 07 わさとねこのわさと横池ねこわさと榊陽肖
三穂玉徹証正
- 11 27 | 07 らうたくせさせたまふらうたうせさせ給
榊らうたくし給三
- 11 27 | 08 こゝのにこゝに横池
- 11 27 | 09 おかしくをかしよう玉
- 11 27 | 09 あやしくあやしよう陽肖徹証正
- 11 27 | 09 侍などはんへるなど穂
- 11 27 | 10 きこしめしをきてきこしおきて玉
- 11 27 | 10 あのことくナシ横榊池陽三明穂玉徹証正

飯あのこと肖

- 11 27 | 11 つたへてつたえへて穂
- 11 27 | 11 給ければたまふ穂
- 11 27 | 11 けにけるに玉
- 11 27 | 12 衛門督はゑもんのかみは明穂飯
- 11 27 | 13 みをきてみをきて「てノ上カラをヲ書ク」
榊
- 11 27 | 13 朱雀院のすしやく院の穂
- 11 27 | 13 とりわきてとりはきて穂
- 11 27 | 14 つかはせつかはせ「しノ上カラセヲ書ク」
飯
- 11 28 | 01 御こと御琴徹証正
- 11 28 | 01 きこえ給とてきこえ給て穂
- 11 28 | 02 侍にけり侍にけり池まいりにけり肖
- 11 28 | 02 人はと人はいと飯
- 11 28 | 02 おほえておほして横
- 11 28 | 03 また又穂

- 11 28 | 04 こゝなるたしなる穂
- 11 28 | 04 ねこともねこも池ねこもことも正
- 11 28 | 05 その中にもそのなかにも横池陽
- 11 28 | 05 心かしこきは心かしこき玉
- 11 28 | 06 たましひたまし(ひ)池給したまし(ひ)「衍
字カ」穂
- 11 28 | 06 侍らむかし侍なんかし穂
- 11 28 | 06 なんとんと池
- 11 28 | 07 たまはり給はりて榊※
- 11 28 | 07 心の中に心のうち横池心のうちに陽明徹
飯御心の中には玉※
- 11 28 | 07 おほゆるつるにおほゆるつるに「横未見」横榊
池陽肖穂玉徹証正おほゆるに三明飯
- 11 28 | 08 これをこれは穂
- 11 28 | 08 ちかく補入横
- 11 28 | 08 ねこのねこの大ねこの横
- 11 28 | 08 かしつきをしてかしつきをし徹
- 11 28 | 09 いとへいと三
- 11 28 | 10 まつはれまとはれ池
- 11 28 | 10 思ふおもひ玉
- 11 28 | 10 いとナシ穂
- 11 28 | 11 給へるに給つるに穂
- 11 28 | 11 ねうとナシ穂
- 11 28 | 11 いといと池
- 11 28 | 12 うたてもうても穂
- 11 28 | 12 すむかなとすむ(ル)かなと「後補」明
- 11 28 | 13 てならせはてならすを玉
- 11 28 | 14 かほをかほ「トルカ」榊池かを「トルカ」
明飯

- 11 29 | 01 たちなとはは たちへなとはは 証
- 11 29 | 01 にはなるねこの時めく ナシ穂
- 11 29 | 02 御心にと 御心に穂
- 11 29 | 02 とかめけり 、「ト」かめあへ(け)り 榊
- 11 29 | 02 めすにも かつにも 飯
- 11 29 | 02 まいらせず とりこめてまいらせず 榊
- 11 29 | 03 左大将殿の さ大将の殿の 飯
- 11 29 | 03 殿の北のかたは 大殿のきみたちよりも ナシ
- 穂
- 11 29 | 03 北のかたは 北の方を 榊
- 11 29 | 03 大殿の この大殿 榊
- 11 29 | 03 きみたち 君たち「トルカ」明飯
- 11 29 | 03 右大将の君を は 右大将のきみへは 横
- 11 29 | 04 思ひ ナシ池
- 11 29 | 04 心は へのこゝろは の飯
- 11 29 | 04 かと しくか と しく飯
- 11 29 | 05 けちかく けちかく「うと」しノ上カラ けち
- かヲ書クカ」榊
- 11 29 | 05 時 しくも 時 徹証正
- 11 29 | 05 けしきなく けしきもなく 徹
- 11 29 | 06 給つれば 給へれば 横榊池陽肖三明穂玉徹証
- 正飯
- 11 29 | 06 大将も 補入横
- 11 29 | 06 しけいさ 淑景舎横池 しけいしや 榊
- 11 29 | 06 うと しくこと しく横池
- 11 29 | 06 をよひ おもひ 穂
- 11 29 | 08 北の方をも きたのかたを 横池
- 11 29 | 08 「モ」てはなれはて 「モ」てはなれはて
- 「てノ上カラ後出はヲ書ク」榊

- 11 29 | 09 御はらには はらには 飯
- 11 29 | 09 おとこきむたちの おとこ君たちの 肖徹証正
- 飯 おとこきみたちの三
- 11 29 | 10 かしつかまほしく かしつかまほしう 陽穂
- 玉
- 11 29 | 10 おほち宮など おほち宮などの 榊
- 11 29 | 11 みこの みかと(こイ)の三 御この玉
- 11 29 | 11 御おほえ おほえ三※
- 11 29 | 12 内にも 内には「はカエカ」穂
- 11 29 | 13 えそむき給はず そむき給はず 飯
- 11 29 | 13 いまめかしく いまめかしく 飯
- 11 29 | 14 おかしく ナシ横榊池陽肖三明穂玉徹証正
- 飯
- 11 29 | 14 たてまつりては たてまつりては「てノ上カラ
- たヲ書ク」飯
- 11 30 | 01 をもく をもく 榊を かしく 玉※
- 11 30 | 02 したかた しい(た)かた 池
- 11 30 | 02 ひめ君 ひめ宮横池
- 11 30 | 02 御おほえ おほえ三※
- 11 30 | 02 かるくは かるくは 榊穂
- 11 30 | 03 ふれて ふれと(て) 大
- 11 30 | 03 衛門督を 急もんのかみを 榊明飯
- 11 30 | 03 けしきはまはと けしきはまはと三 けしき
- まはと穂 けしきはまかえと「ヨイカ」玉
- 11 30 | 04 おほすへかめれと おほすへかむめれと 横お
- ほすめかむめれと穂
- 11 30 | 05 は 君女(は) 君池
- 11 30 | 05 なを ナシ榊
- 11 30 | 05 人にて(へ人)にて 徹

- 11 30 | 05 ありさま さま肖
- 11 30 | 06 もてけちもちけち陽玉も(て)けち 徹
- 11 30 | 06 たまへるを 給へる 穂
- 11 30 | 06 くちおしきくちを(お)しき 飯
- 11 30 | 07 いまめきたる いまめいたる 榊
- 11 30 | 07 御心さまにそ 御心さまに(そ)池
- 11 30 | 07 兵部卿宮 兵部卿の宮玉
- 11 30 | 08 御心に 心に 徹
- 11 30 | 08 こともは 事とも 玉
- 11 30 | 08 世中もよの中池陽穂玉よの中を 池※
- 11 30 | 09 あまえて あ(□)まえて 飯
- 11 30 | 09 すくすへき すくすへき 池玉
- 11 30 | 10 より わたり三
- 11 30 | 10 なにかは なにか 飯
- 11 30 | 10 かしつかんと かしつかむ(と) 肖
- 11 30 | 11 女こを は 女御を は 玉
- 11 30 | 11 みこたちに 御子たちに 穂
- 11 30 | 11 こそは こそ横榊池
- 11 30 | 11 みせ たてまつらめ みせさせ(たて)まつらめ
- 横池 みせ(た)てまつらめ 飯
- 11 30 | 12 なをなをしきを なをなをしきを「朱」大
- 11 30 | 12 いまの世の人の いまの人の 飯
- 11 30 | 12 わざなりと わざと 徹
- 11 30 | 13 たてまつり給はず たてまつらす 穂
- 11 30 | 13 みこあまり： 11 31 12 色めきたまへるみこを
- と ナシ飯
- 11 30 | 13 みこ 御子穂玉
- 11 30 | 14 なきを なきは 陽穂玉徹証正
- 11 30 | 14 さう しくしとさう しくと陽

11 30 14 おほかたのまたの玉
11 31 01 いひすへしいひすくし横三いいひすくし

〔後補〕明

11 31 01 おはしましをはしへまし榊※
11 31 01 になくになく池

11 31 02 さまくものなけかしきさまくものな
けかしき「未見」横さまくものなけかしき

榊

11 31 02 おほかるにおほかれと(るに)榊

11 31 03 このきみの事のこの君御ことのかたの池こ
の君の事徹

11 31 03 おほえておほして池

11 31 04 ひか物にとしころにそへてひか物ころにそ
へて穂

11 31 04 たまふたまふに陽玉

11 31 04 わか事にわか事へ池

11 31 05 みすてられためればみすてられたへめれば
榊みすてられたんめれば穂

11 31 06 御てつからてつから玉

11 31 06 御心にはおほむころに横榊池陽肖三明穂玉
徹証正御心に榊池陽肖三明穂玉徹証正

11 31 06 いれいれよろつにかたしけなく御心にいれ
池※

11 31 07 御ありさまにたてまつり御ありさまに
たてまつり証

11 31 08 おほしけるにおほしたるに陽玉

11 31 08 さまさまに「ミセケチカ」玉

11 31 10 心月なき心つきなき徹

11 31 10 わさかなわさか「か」な池

11 31 11 うつし心うつし心玉

11 31 11 うちおしくうちおしう陽穂玉

11 31 11 大将の君も大将の君も池大将の君穂

11 31 11 されはよされはよと榊

11 31 12 いたくいたう陽穂玉

11 31 12 みこをと御子をと玉

11 31 12 はしめよりナシ陽

11 31 12 わか御心にわか御心に榊わか御心に
池

11 31 12 ゆるし給はさりしゆるし給はさりし給はさ
りし横ゆるし給はぬさりし榊

11 31 12 事なればゆへ池事なれば三
りし横ゆるし給はぬさりし榊

11 31 13 御さまをさまを穂

11 31 14 おほしおほし証正

11 31 14 み給はまし見たまはまし池みたれ給はま
し徹証正※

11 32 01 なとと穂

11 32 01 なまおかしくもなまおかしうも横池

11 32 01 おほしいてけりおほしいてける陽穂玉

11 32 01 そのかみもそのかみも榊そのかみ徹

11 32 01 けちかくちかく穂

11 32 01 みきこえむとはみきこへんとは横きこえ
んとは榊みえきこえんとは三※

11 32 02 思よらざりきかし思よらさへりきかし
徹

11 32 02 なさけくしうなさけくし榊

11 32 02 心ふかきふかき飯

11 32 03 あえなくあやなく横池

11 32 03 あはつけきあはつけ肖徹

11 32 03 やうにややうに横さま(やう)にや

榊

11 32 03 きおとしきおとしめ横池き陽

11 32 03 給けむとけん穂

11 32 04 き給はむき給は(ら)ん池

11 32 04 なとなんと横池

11 32 05 せうとの君たち御せうとの君たち榊せうと
〔のイ〕君たち三

11 32 06 御けしきも御けしきと(も)池

11 32 06 まつはしまつかはし玉

11 32 06 心くるしくて心くるしうて玉

11 32 07 おほ北のかたおほ北の方飯

11 32 07 さかなものそさかなものに榊さかなもそ
の穂

11 32 07 ゆるしなくゆるしなくて穂

11 32 08 ぬんし(え)んし池

11 32 08 きこえ給きえ給徹

11 32 08 みこたちは御子たちは穂みこたちは
証

11 32 08 ふた心なくてふたところなくて池

11 32 08 み給はむをみ給はぬを横池み給らんを
飯

11 32 08 こそこそは陽

11 32 09 給を給てを榊

11 32 09 宮ももりきたまひては(大)宮もりき給
て(は)榊宮もれき給ては穂

11 32 10 きならはぬきならはぬはアルカ証

11 32 10 事かなことな飯

11 32 10 人をきても人をきて飯

- 11 32 | 11 たえざりしかとかうきひしき | たえざりしと
かゝうきひしき「うきハ推説」穂
- 11 32 | 11 ものゑんしは | ものゑんしは「横未見」横三
飯物おもひしは穂
- 11 32 | 11 ことに | こと「に」明
- 11 32 | 11 なかりし物を | なかりし物をと榊
- 11 32 | 12 うちなかめかち | うちなかめかちにて横
池
- 11 32 | 13 さいひつゝ | もさいひつても陽
- 11 33 | 01 十八年に | 十八年に榊※
- 11 33 | 01 みこ | 御こ穂玉
- 11 33 | 01 おはしまさず | おはしまへさす肖
のゝまはへなきに池 | ものゝはえなきと「とカ」
穂※
- 11 33 | 02 心やすく思ふ | 人々にもたいめんしナシ
玉
- 11 33 | 02 心やすく思ふ | 心やすく(思)横 | 心やすくおほ
ゆる三
- 11 33 | 03 すきまほしく | すきまほしく横榊池陽肖三
穂玉 | すきまほしく穂
- 11 33 | 03 なむと | なむ横榊池玉 | など穂
- 11 33 | 03 のたまはせつるを | のたまふ穂 | おほしの給は
せ「つ」るを飯
- 11 33 | 04 ひころ | ひころは三※
- 11 33 | 05 たまひぬ | 給はぬ「はカ」飯
- 11 33 | 05 御世を | 「御よを」榊
- 11 33 | 05 ことゝ | 事池
- 11 33 | 05 おしみなけ | とおしみなけくと飯

- 11 33 | 06 ことに | ナシ穂
- 11 33 | 07 なかりけり | なかりけに「にカ」穂
- 11 33 | 07 ちしのへう | のへう飯
- 11 33 | 07 たてまつりて | たてまつり正
- 11 33 | 07 こもりゐたまひぬ | こもり給ぬ三 | こもりぬね
カ「穂
- 11 33 | 08 よの中の | 世中飯
- 11 33 | 08 つねなきにより | つねなきにより「もノ上カラ
よヲ書ク」榊 | つねならぬにより飯
- 11 33 | 08 かく | ナシ横榊池陽肖三 | 明穂玉徹証正飯
- 11 33 | 08 みかとのきみも | 御心のきみも飯
- 11 33 | 08 くらゐを | さりたまひぬるに | くらゐおりさせ
給ぬるに池
- 11 33 | 09 とし | ナシ穂
- 11 33 | 09 おしからむと | おしからむ(と)徹 | おもからん
と飯
- 11 33 | 09 のたまひて | の給へし横池陽肖三 | 穂玉
- 11 33 | 09 左大将 | 左大将の君も飯
- 11 33 | 10 右大臣 | に入大臣に池 | 右大宮に穂 | に飯
- 11 33 | 10 なり給て | そなり給て肖
- 11 33 | 10 世中の | よの玉
- 11 33 | 10 まつり | ことまいる事池 | まつりことも
飯
- 11 33 | 10 女御の君は | 女御君は榊池
- 11 33 | 11 御世をも | 御をも肖
- 11 33 | 11 まちつけ | 給はて | まちつけ給はて「ヨイカ」
穂
- 11 33 | 11 えたま | へれと | えたま「つ(へ)れ」と「朱」大 | 大 | えた
まつれと「大成」つダガヘトヨムカ「陽

- 11 33 | 12 うしろの | うしろ(へ)横
- 11 33 | 12 心ちして | 心のして陽
- 11 33 | 12 いちの宮 | 一(いま)宮池 | いま宮陽玉 | いま宮
は穂
- 11 33 | 12 はうに | はうに「本二」ト傍記「玉はらに」は
ゝにカ「飯
- 11 33 | 13 めおとろかる | ゝめ(おとろかる)横 | おとろ
かるゝ肖
- 11 33 | 14 右大将の君 | 大納言になりたまひぬ | 右大将君
「左にわたりて」大納言になり(かけ)給ぬ「ト
モニ注記ト同筆ノ書入カ」池 | 右大将の君大納
言に成(給ひて)れいの左にうつり | 給ぬ肖 | 右
大将の君大納言になり給(て)れいの左にうつ
り給イぬ三 | 右大将のきみは大納言に「て」な
り(れいの左にわたり)給ぬ穂
- 11 34 | 01 六条院は | 六条院池
- 11 34 | 01 おりる | をも(り)る「朱カ」池
- 11 34 | 01 たまひぬ | る給ぬ穂
- 11 34 | 01 冷泉院の | れせい院の榊明穂飯
- 11 34 | 01 おはしまさぬ | をおはさぬを徹
- 11 34 | 02 御心の内 | に御心の中に池三徹 | 御ころのう
ちには陽穂玉(うちには | 中には玉)
- 11 34 | 02 御事なくて | 御事ならて横榊池陽三 | 明穂飯御
事なら(く)て池 | 御事なら(く)て三
- 11 34 | 02 すくしたま | へる | すくし給つる穂 | すかし給え
る玉 | 過し給へる徹
- 11 34 | 03 えつた | ふましかりける | へえつた | ふましかり
ける横
- 11 34 | 03 御すく | せ御すくせを榊

- 11 34 03 くちおしくくちおしう陽穂玉
- 11 34 04 人に一人(に)横
- 11 34 04 のたまひあはせぬのたまはせぬ穂
- 11 34 04 いふせくいふせう榊
- 11 34 04 春宮の女御は春宮の(母)女御は〔注記下同筆ノ書入力〕池
- 11 34 05 みこたち御子たち玉
- 11 34 05 御おほえおほんおほえ徹
- 11 34 06 おもへるにおほえるに穂
- 11 34 06 冷泉院のれせい院の榊穂せれせい院の榊
- 11 34 07 ゆへなくてゆへなくかく榊
- 11 34 07 あなかにナシ玉
- 11 34 07 かくしをきかく(かく)しをき池
- 11 34 07 御心を御心飯
- 11 34 07 御ことおほむこと横
- 11 34 08 院の御かと院みかと池院のみかをと穂
- 11 34 08 おほしめしおほし(めし)肖
- 11 34 08 やうに様に穂
- 11 34 09 みゆきも御ゆきも穂
- 11 34 09 かくてしもよくてしも玉かくしも徹証
正かくてしも徹
- 11 34 09 めてたくめてたう玉
- 11 34 09 あらまほしきあらまほしき榊※
- 11 34 10 みかと(御かと)玉御(み)かと飯
- 11 34 10 おほかたの世にもおほかた世にも飯
- 11 34 12 きこえ(きこえ)榊
- 11 34 13 あかぬことなくあかぬことなくて玉

- 11 34 13 へたてもへたて三
- 11 34 13 ものからものゝ飯
- 11 34 13 おほそうのおほそらの陽穂玉
- 11 34 14 をこなひをもとをこなひをも(と)肖※
- 11 34 14 おもふおもひ玉
- 11 34 14 この世はかばかりとこのよはかりと陽
- 11 34 14 みはてつる見いてつる玉
- 11 35 01 心ちする心のする陽
- 11 35 01 おほしゆるしてよとおほしゆるして穂
- 11 35 02 あるをあるをあるを榊
- 11 35 03 ほしいあるほいのある肖徹証正
- 11 35 03 とまりて「ト」ままりて横とまりて三玉
- 11 35 03 おほえ給ひおほえ給穂おほえ給ふ玉
- 11 35 03 ある世にあるよはひに横
- 11 35 03 かはらむかはらぬ横池
- 11 35 04 とけなむとけむ穂
- 11 35 05 おほしなれなとおほしなれそと徹
- 11 35 05 のみナシ三
- 11 35 06 御おやに(御イ)おやに三
- 11 35 07 たまへるしもそ給えるにしもそ玉
- 11 35 06 かくれかのかくれは(か)の池かくれの徹
- 11 35 07 たのもしけにたのもしけにて徹
- 11 35 08 よろこひの涙よろこひなみた玉
- 11 35 08 のこひたゝらしてのこひたゝして横榊池陽
三明飯のこひたゝ(らい)して三のこひたゝ
しと穂
- 11 35 09 うれしけなるうれしけ也(なる)徹

- 11 35 09 御願願玉
- 11 35 10 春宮の女御春宮の女御池
- 11 35 10 御いのりに御いのり(に)池
- 11 35 10 までまうて榊肖穂玉徹証正「ま」うて〔後補〕
明
- 11 35 11 さまのさま玉さささま飯
- 11 35 11 としことのとしころ(と)の榊
- 11 35 11 春秋のくくらにかならずなき世のいのりをくはへたるくわんともけにかゝる御いきをひならてははたし給へきことおも思ひをきてざりけりたゝはしりかきたるおもむきのさえ／＼しくはか／＼しくほとけ神もきいれ給へきことのナシ陽
- 11 35 11 春秋のくくらに「横未見」横榊池
- 11 35 12 いのりをいのり穂いのりをも徹証正
- 11 35 13 給へき給へき池
- 11 35 13 おもむきのおもむき横おもむき(の)池おもむきの玉
- 11 35 14 さえ／＼しくさう／＼しく横さえ／＼しく「うノ上カラえヲ書クカ」池さま／＼しく「まカ」玉さえ／＼しく徹
- 11 35 14 はか／＼しくはつかしく横はつ(かゆきて)かしく〔注記下同筆ノ書入力〕池(はか)／＼しく徹
- 11 35 14 ことのはことの葉は玉
- 11 36 01 ひしり心にひしり(心イ)に三
- 11 36 01 ことゝもを事とも横池肖徹証正(こと)と(も)正

- 11 36 | 01 あはれにへあはれに池哀にも肖三
- 11 36 | 01 おほけなくもおほけなく陽
- 11 36 | 02 しはししはしは横池
- 11 36 | 03 かるくしくもかるくしくも榊
- 11 36 | 03 おほされさりけりおほされさりけり穂おほされけり飯
- 11 36 | 05 うらつたひのうらつたひ玉
- 11 36 | 05 ものさはかしかりしものさはへかしかりし
- 大
- 11 36 | 06 給へれとも給へれと榊
- 11 36 | 06 おはしましておはしますと穂
- 11 36 | 06 かゝるナシ玉
- 11 36 | 07 神の「神」の「ヨメズ」穂
- 11 36 | 07 おほむたすけは御たすけは「横未見」横榊池
- 玉おほむたすけを穂※
- 11 36 | 07 たいのうへもたいのうへも三
- 11 36 | 07 きこえさせきこえとさせ「とハさカ」榊きこえ飯
- 11 36 | 08 いみしくいみしき玉
- 11 36 | 08 ことゝもことゝも穂
- 11 36 | 08 そぎすてゝそぎすてゝ明
- 11 36 | 09 はふかせたまへといふかせ給えと「本二」卜傍記「玉はふかせたまへと」正
- 11 36 | 09 かきりかきへり徹
- 11 36 | 10 かんたちめもかむたちめに穂
- 11 36 | 10 大臣大臣「ヨイカ」穂
- 11 36 | 10 ふた所をふた所三
- 11 36 | 10 みなつかうまつり給みなつかうまつりてはみなつかうまつりたまふ陽みなつかふまつ

- り給へり穂
- 11 36 | 11 きよけによけに飯
- 11 36 | 11 たけたちたけたちきよけに榊
- 11 36 | 11 かきりをかたりを「たカ」飯
- 11 36 | 12 なけきたるなきたる穂
- 11 36 | 12 ありけりあり玉
- 11 36 | 12 へいしうもいしうも穂
- 11 36 | 13 人々の人池
- 11 36 | 14 かきりをかきり三
- 11 36 | 14 なむなん「ハをカ」玉
- 11 36 | 14 近衛つかさの兵衛つかさの横池肖徹証正兵衛つかさ榊こん衛つかさの玉
- 11 37 | 01 かきりをかきりを榊※
- 11 37 | 01 方にはかたにも横池
- 11 37 | 01 つかうまつれりつかうまつれる(り)肖つかうまつれる徹証正
- 11 37 | 02 院の院の池
- 11 37 | 02 方くにかたく玉
- 11 37 | 02 つくしたるつくしたる証
- 11 37 | 03 かんたちめの上達部部の徹上達部めの正
- 11 37 | 03 御むま御むまそひ榊
- 11 37 | 03 ことねりわらはことねりはらは飯
- 11 37 | 04 なんと池ナシ玉徹
- 11 37 | 04 かきりたるかきりたる穂
- 11 37 | 04 たいのうへはたいのうえ玉
- 11 37 | 04 ひとつにひとつに「朱」大
- 11 37 | 05 たてまつりたりたてまつり飯
- 11 37 | 05 御くるまには御車は飯

- 11 37 | 06 ひとたまひ御ひとたまひ三ひとたまひ「本二」卜傍記「玉
- 11 37 | 06 うへの御方の「う」への御方の「ハうノ書キ損ジ」正
- 11 37 | 07 御あかれの御かた(あかれ)の横御あかれ「本二」卜傍記「玉
- 11 37 | 07 さうそくありさま御さうそくともさま穂さく(う)そく有さま徹
- 11 37 | 08 いへはいつ(へ)は「朱」大
- 11 37 | 08 さるさるは横榊池陽肖三明穂玉徹証正飯
- 11 37 | 08 はかりにはかり横池
- 11 37 | 08 人めかしくて人めかしへて榊人めかしくて陽人めかして肖三徹証正人めかしうて肖人めかしくイて三人めかしく飯
- 11 37 | 09 院は院飯
- 11 37 | 09 かくかり(く)榊
- 11 37 | 10 たちましらむもたちましらはむも榊
- 11 37 | 10 もし思ふやうならむへもしおもふやうならん横
- 11 37 | 10 世中をよを玉
- 11 37 | 10 まちいてたらはとまちつけたらはと陽
- 11 37 | 11 と御方はナシ穂
- 11 37 | 11 給けるを給めるを徹
- 11 37 | 11 うしろめたくてうしろめたくて「ミセケチアルカ」証
- 11 37 | 12 御身とも御方とも穂
- 11 37 | 13 いみしかりけるいみしかりけり飯
- 11 37 | 13 みありさまありさま陽御ありさま徹

- 11 37 | 13 十月中の十日 | 十月中十日榊池明徹飯
- 11 37 | 14 いかきに | いかきへに三
- 11 37 | 14 色かはりて | 色かはりて肖
- 11 37 | 14 のみも | のみ横榊池陽肖三明穂玉徹証正
- 飯
- 11 38 | 01 きかぬかほ | きかぬ「かほ」玉
- 11 38 | 02 なみかせのこゑに | なみかせのこゑに肖な
- みかせのこゑに三 | なみのこゑに玉 | 浪かせの
- こゑに徹※
- 11 38 | 02 松風に | 松かけに徹
- 11 38 | 03 ふぎたてたるは | ふぎたてたる横榊池陽肖三
- 明穂徹証正飯 | ふぎあひ(たて)たる榊 | ふぎた
- てたるに玉
- 11 38 | 03 身にしみことに | 身にしみみに | 陽明飯 | 身
- にしみに | ことに「後補」明
- 11 38 | 04 ひやうし | 拍子池飯 | 兵し明
- 11 38 | 04 おとろ | 〳〵しからぬもを | 〳〵しから
- ぬも池
- 11 38 | 05 なまめかしく | なまめかしく榊
- 11 38 | 05 すこう | すこく池肖徹証正
- 11 38 | 05 山あるに | 山の陽玉
- 11 38 | 06 かさしの | かさしのはなの横榊池陽肖三穂玉
- 徹証正 | かさしの花の池
- 11 38 | 06 色々は | いろ〳〵玉
- 11 38 | 07 いろふ | ナシ玉徹証正
- 11 38 | 07 もとめこも | ともめこ「本二」ト傍記 | 玉
- 11 38 | 07 すゑに | すゑに「補入カ」池 | すゑも穂
- 11 38 | 08 くらぎ | しろぎ穂
- 11 38 | 09 すわう | かさねの | すわう | かさねの。(イ無)

- 三
- 11 38 | 09 えひそめの | えいそめの穂
- 11 38 | 09 袖を | そてを | は証 | 袖を | は正
- 11 38 | 09 ひき | ころは | したるに | ひき | ころは | かし
- るに穂玉
- 11 38 | 09 くれ | なる | くれ | なる | の陽
- 11 38 | 10 たも | との | たも | と池
- 11 38 | 10 うち | しく | れたるに | うち | しく | れたる | 榊穂
- 11 38 | 10 松は | らを | は | 松は | らを | 肖
- 11 38 | 11 思ひ | わた | ざる | おも | ひ | わた | ざる | 横 | おも | ひ | わ
- きたる「きた | した | ト | 反転 | 符号 | アリ」池
- 11 38 | 13 こと | ことも | 肖徹証正
- 11 38 | 13 おほ | しい | て | られ | おほ | しい | て | ら | れ | て | 榊
- 11 38 | 14 その | よの | こと | その | こと | 飯
- 11 39 | 01 ち | しの | おと | を | そ | ち | しの | おと | を | そ | 朱
- 大 | ち | しの | おと | を | そ | 陽
- 11 39 | 03 御 | た | む | か | みに | 御 | た | む | か | みに | 榊 | 玉 | 徹 | 御 | た
- ん | 昏 | に | 穂
- 11 39 | 04 うち | し | ほ | たる | うち | し | ほ | れたる | 玉 | 証 | 正 | うち | し
- ほ | た | れ | たる | 徹
- 11 39 | 04 か | る | よ | を | か | る | よ | く | 「本二」ト傍記
- 玉
- 11 39 | 05 女 | 御 | の | 君 | の | 女 | 御 | 君 | 玉
- 11 39 | 05 お | は | せ | し | あり | さま | へ | お | は | せ | し | 御 | 有 | さま | 榊
- ※
- 11 39 | 06 程 | を | ほと | 横池
- 11 39 | 06 思 | ふ | 思 | ひ | 榊 | 〳〵「ヲ」も | ひ | 穂 | 玉
- 11 39 | 07 ゆ | 〳〵 | 〳〵 | と | ゆ | か | し | と | 玉
- 11 39 | 08 す | み | の | え | を | す | み | よ | し | (の | え) | を | 池

- 11 39 | 08 け | ふ | や | 〳〵 | け | ふ | や | 〳〵 | 横
- 11 39 | 09 うち | お | も | ひ | ける | うち | お | も | ひ | ける | 池
- 11 39 | 09 ま | 〳〵 | な | り | け | り | ま | 〳〵 | な | り | け | り | 榊 | さ | ま | な | り | け
- り | 三
- 11 39 | 10 ま | つ | わ | す | ら | れ | ね | ま | つ | わ | す | ら | ね | 玉
- 11 39 | 10 と | ひ | と | り | こ | ち | け | り | ひ | と | り | こ | ち | け | り | 徹 | 証 | 正
- 飯
- 11 39 | 11 夜 | ひ | と | よ | 一 | 夜 | 池
- 11 39 | 11 た | ま | ふ | 給 | ひ | 玉
- 11 39 | 11 は | つ | か | の | 月 | は | つ | か | の | 月 | は | つ | か | の | 月 | 三 | は | つ | か
- は | つ | か | の | 月 | 「先 | 出 | は | つ | か | は | は | へ | る | カ」飯
- 11 39 | 12 し | も | の | し | も | 横池
- 11 39 | 12 こ | ち | た | く | こ | ち | た | う | 玉
- 11 39 | 13 そ | 〳〵 | ろ | さ | む | く | そ | 〳〵 | ろ | ぞ | (さ) | む | く | 徹
- 11 39 | 13 あ | は | れ | さ | も | ナ | シ | 玉 | 徹 | 証 | 正
- 11 39 | 13 た | い | の | う | へ | た | い | の | う | (う) | へ | 飯
- 11 39 | 14 け | ふ | ある | け | う | ある | 陽 | 肖
- 11 39 | 14 め | な | れ | 〳〵 | め | (め) | な | れ | 池 | ※
- 11 39 | 14 給 | け | れ | 給 | け | れ | は | 肖
- 11 40 | 01 み | か | と | より | み | て | し | 飯
- 11 40 | 01 し | 給 | は | す | した | ま | は | へ | す | 横
- 11 40 | 01 か | く | ナ | シ | 三
- 11 40 | 01 ま | た | ナ | シ | 池
- 11 40 | 02 お | か | しく | 〳〵 | を | か | しく | 「横 | 未 | 見」横池
- 11 40 | 03 す | み | の | 江 | の | す | み | よ | し | の | 横池
- 11 40 | 03 神 | の | かけ | たる | あ | き | (カ | ミ) | の | かけ | たる | 穂
- 11 40 | 03 た | か | む | ら | の | 朝 | 臣 | の | た | か | む | ら | の | あ | そ | む | 飯
- 11 40 | 04 山 | さ | へ | と | 山 | さ | と | へ | と | 陽
- 11 40 | 04 ま | つ | り | の | こ | う | う | け | た | ま | ふ | ま | つ | り | 心 | う | け | た | 〳〵

まふ横まつり(神)心う(か)け給池まつりの
心うけ給し三まつりのころうけ給はる穂ま
つりのころうけ給玉

11 40-05 しろしナシ徹
11 40-05 たのもしくたのもしう榊

11 40-05 なむナシ穂

11 40-05 女御のきみ女御君池明飯女君玉

11 40-06 中つかさのきみ中務君三

11 40-08 はふりこかはふりこは横池

11 40-08 ゆふうちまかひゆふうちはら(まか)ひ

池

11 40-08 いちしるぎいつしるき「つか」穂

11 40-09 かすしらすかすもしらす横池

11 40-09 なにせむにかはなにせむ「に」かは明

11 40-10 上手めきしやうすめき横池しやうすめきて

横

11 40-10 おとこたちもをとこたちの穂おとこたち

玉

11 40-10 いてきえしていてきえにして玉いてきにし

て飯

11 40-10 いまめかしきいまへめかしき証

11 40-11 なければなれは玉

11 40-12 たとしきまてたとしく徹

11 40-12 ともとの横池陽肖三明穂玉徹証正飯

11 40-12 かほをは「カ」ほは榊「カ」をは「ト

ルカ」明

11 40-13 しろして穂

11 40-13 おもしろきことにをもしろき事どもに榊お

もしろき玉※

11 40-13 しめりたるにしめたるに玉しめりたる
飯

11 40-13 なをナシ穂

11 40-13 万さいとさは横まささいと榊

池明飯まんさいと玉

11 40-14 さかき葉をさかきを飯

11 40-14 とりかへしつとりし返つ池

11 40-14 いとしきやいとをしきや玉

11 40-02 夜のよの榊池三明玉飯

11 41-02 あらて補入横

11 41-02 かへるなみにかへるなみに横かへるな

みたに池

11 41-02 ちおしくくつをしく穂

11 41-02 おもふおもひ玉

11 41-04 かけにかけそ玉

11 41-04 ひきくわへたるとひきくわへたると穂ひき

はへたると徹

11 41-06 めてたしとはめてたしとは横めてたしと

穂玉めへてたしと玉

11 41-06 おまへにもおまへには横池御まへにも榊穂

玉飯へおまへにはは

11 41-07 おしきにおしきに飯

11 41-07 をりており(し)て三

11 41-07 さうし物をさうし物に(を)肖さうしの物

穂さうしみものを玉

11 41-07 女の女玉

11 41-08 をのかしはおのをのかしは穂

11 41-08 ことしくてことしくて横池たこと

としくて榊

11 41-09 所せけなりしを所せけなりしを穂所せけな
り玉所せき(け)なりしを証所せか(け)な
りを飯

11 41-09 かへさは返きは「横未見」横池かへるさは

榊

11 41-09 つくし給いひつくるもつくしつくるも

玉

11 41-10 ことともことへとも正

11 41-10 御ありさまをも御有さまともをも榊御あり

さまともを陽玉有さまともを穂御有さまを

徹

11 41-11 かの入道のかの入道穂

11 41-11 かけはなれかけはなれ池

11 41-11 たまへるたうへる「池ハウラマニ直スカ」横

池陽三明たえつる穂

11 41-11 なん也(なん)徹也証

11 41-11 あかさりけるかたあかさりける榊

11 41-11 かたきことかたこと横かた「い」こと「朱カ」

池かた「き」こと明

11 41-12 ましらはましもましらは(ま)しも榊ましは

ましも穂ましら(は)ましも穂

11 41-12 みくるしくやみくるしや横池徹証正

11 41-13 ころ心玉

11 41-13 めてあさみめてあそひ穂

11 41-14 あま君(あ)まき横

11 41-14 さいはい人に(さ)いはひ人に池※

11 41-14 かのちの大殿かのあさみよのくさにはち
しのおほと「注記」同筆ノ書入力池

11 41-14 大殿の大殿「虫損、推読」榊※

- 11 41 14 あふみのきみはあふみの君飯
- 11 42 01 あかしのあま君くあかしのあまきへみく
く「未見」横くあかしのイくあまきみく三くあ
かしの君く玉
- 11 42 01 さいはこひけるさいはこひける「らノ上カラ
こヲ書ク」池
- 11 42 01 御をこなひを御をこなひを徹
- 11 42 02 いみしくいみしう陽穂
- 11 42 02 行幸になむ行幸にもなん横行かうにもなむ
- 池※
- 11 42 02 むかし昔の証
- 11 42 03 思ひいてられ思いてへられ榊
- 11 42 03 ひめ宮ひめ君陽三飯
- 11 42 03 猶えおほしはなたてなをもおほしはなたて
三※
- 11 42 04 この院をはこの院を榊この院穂
- 11 42 04 猶ナシ陽穂玉
- 11 42 04 内くのうちへうちくの横
- 11 42 05 なりたまひてならせり給て横
- 11 42 06 たいのうへたいのうへ榊
- 11 42 06 かくナシ横池よく「よカ」穂
- 11 42 06 方くにかたく池陽穂玉かたくに
池
- 11 42 07 御もてなしに人には御もてなしには穂
- 11 42 07 とし年も玉
- 11 42 07 御心はへも御心くはえも徹く御心くはへも
証
- 11 42 08 つるにつるには「はハ補入力」徹
- 11 42 08 さらむ世をさらむぬよを池

- 11 42 09 えきこえ給はずきこえ給はず肖徹証正
- 11 42 10 御心よせ御心よせ横
- 11 42 10 きこえ給へはきこえさせたまへは穂
- 11 42 11 やうくやを穂
- 11 42 11 ひとしきひさしき玉
- 11 42 11 やうにほとに横玉やうに榊程やうに池
※
- 11 42 11 さるへきことさるへき事と「とカ」玉
- 11 42 12 ことくはりととは「未見」横
く「事」こととはりととは証事とはりととは飯
- 11 42 12 おほされけれとをほされけれと榊※
- 11 42 12 猶ナシ徹証正
- 11 42 13 すくしすこし榊
- 11 42 13 春宮の春宮玉
- 11 42 13 女一の宮を女一宮を榊池穂
- 11 43 01 なくさめ給ひけるなくさめ給ける池※
- 11 43 01 いつれもいつれと飯
- 11 43 01 うつくしくうつくし池
- 11 43 02 御方は御方には榊
- 11 43 02 うらやみてうらやましくみて池
- 11 43 03 むかへてそむかへてそ池むかへくそ
飯
- 11 43 03 いとおかしけにていとをしけにて穂玉
- 11 43 03 ほとよりはほとよりもはイ三
- 11 43 04 されおよすけたればされをよすけにたれば
穂
- 11 43 04 御つきと御つきく飯
- 11 43 04 おほししかとおほししかと飯

- 11 43 05 するくにするに横池陽肖三明穂徹証正
飯する玉
- 11 43 05 たまふを給をたまふを横
- 11 43 06 たナシ穂
- 11 43 06 たまひてそ給そ穂
- 11 43 06 給ける給へる三
- 11 43 06 右の大殿の右大ぬ殿榊池右おほい大殿
の池右大との三明右大将の穂飯右大将
殿の穂※
- 11 43 07 つかうまつりつかふうまつり横
- 11 43 07 いまはナシ玉
- 11 43 08 かのナシ穂
- 11 43 08 思ひはなれ思はなれ三
- 11 43 09 まうてたまふまうて給つ横榊池陽肖穂玉
徹証正給つ三まかて給飯
- 11 43 09 あらまほしくあらまほしう榊
- 11 43 09 きこえかはしきこへかよはし榊
- 11 43 10 のみへのみ横
- 11 43 10 おなしさまにナシ穂
- 11 43 10 女御の君は女御君は池三徹
- 11 43 11 この宮をはこの宮を池穂玉この宮をは
池
- 11 43 11 いと心くるしくいと心くるしう榊陽玉へい
と心くるしう榊
- 11 43 13 世ちかくまちかく玉
- 11 43 13 物心ほそきをも心ほそきを飯
- 11 43 13 かへりみしとかへりみしとは肖証正
- 11 43 14 思ひすつれと思ひつれと池陽穂玉思ひつ
れと池おもひすつれと明

- 11 44-01 さるへき事也さるへき(事)也「朱」大
- 11 44-02 御けしき 御氣宮色榊※
- 11 44-02 にてへにて池
- 11 44-02 すゝみすゝめ穂
- 11 44-02 かく榊ナシ穂
- 11 44-03 給ひけるか 給ける(か)横
- 11 44-03 まいり給へきこと まいり給へき事なにわさをしてか御らんせさせ給へきと榊
- 11 44-03 おほしまうく おほしまうて穂
- 11 44-03 ついてなく ついてなくへて肖 ついてなる(くてイ)三
- 11 44-04 さまにてやははひわたりさまにてやは(は)ひわたり「朱」大さまにへてやははひわたり横さまにてやへ(は)はひわたり池さまにてやはらはひわたり肖さまにてやはいはわたり穂さまにてやはらひわたり証正
- 11 44-05 おほしめくらす ナシ陽穂玉 おほしめくらすに肖三
- 11 44-05 このへこの横
- 11 44-05 たり給はむ わたりたまはん穂玉 たも給はん飯
- 11 44-05 わかななど わかなと池
- 11 44-05 てうしてやなど てうしてやと横榊池陽肖三 明穂玉徹証正飯
- 11 44-06 さまのさま 横池穂
- 11 44-06 御まうけの 御まうけ陽御まうけの明御まうけの「符号アルカ」証
- 11 44-07 かはれるか(はれ)る三
- 11 44-07 ことゝも事「とも」榊

- 11 44-07 御心しらひ 御(心)しらひ三
- 11 44-07 おほしめくらす おほしめくらすに三 おほしめくらす「に」後補「明」おほしめく「く」らす徹
- 11 44-08 とゝめさせとゝめさせ「入ノ上カラとヲ書ク」榊とゝめ穂
- 11 44-08 給へりしかは 給へりしかは榊
- 11 44-08 などを(なと)を榊
- 11 44-09 すくれたる すくれたる「ヨイカ」飯
- 11 44-09 右のおほ殿の 右大殿 榊三明 右おほい殿の池徹 右大(おほい)殿の池 右のおほい殿の徹 右大将の飯
- 11 44-09 ふたり 補入横
- 11 44-10 内侍のすけはらの ないしのすけのはらの横 榊陽肖三明穂玉証正飯(ないしのすけの内侍 佐の榊)ないしのすけの(はらの)横
- 11 44-10 かみのはかみの(は)徹
- 11 44-11 兵部卿の宮の 兵部卿宮の榊池三明徹飯 兵部卿の穂
- 11 44-11 わらは ナシ穂
- 11 44-12 殿上のきみたちも 殿上のきむたちも徹
- 11 44-13 心ことなるへきを 心となるへきを飯
- 11 44-13 あまたの(あまたの)徹
- 11 44-13 まうけを(さため)まうけを池
- 11 44-14 ことゝて(こと)をとて榊
- 11 44-14 ものゝしものゝ三玉ものし飯
- 11 45-01 いとまなき いとまめき飯
- 11 45-01 琴の御ことを ぎんの御ことを「他本」榊池明徹飯

- 11 45-01 なむ ナシ徹
- 11 45-01 いとわかくて(いと)かくて陽※
- 11 45-02 たまひしかは 給にしかは横榊陽三穂 給にしかは池 給はましかは玉
- 11 45-03 御ことのね 御琴のね徹証正
- 11 45-03 きかまほしきかすまほしき穂
- 11 45-03 琴はかりはひきとり給へらむと ナシ穂
- 11 45-03 琴きん横池三明玉徹飯 琴榊※
- 11 45-03 給へらむ 給へらん榊 給つらん池肖明徹証正飯※
- 11 45-04 給けるを 給けるは穂
- 11 45-05 御まへにて 御前にて榊明飯 おまへにて陽飯※
- 11 45-05 まいりきて まいりて肖三徹 ナシ穂 まいりきて徹
- 11 45-06 おとゝの君はをととの君榊
- 11 45-06 ついてことには ついてことに玉徹
- 11 45-07 まさりたまひにたれと まさりたまふにたれと穂
- 11 45-08 物ふかき ぶかき徹
- 11 45-08 なに心もなくて(なに)心(も)なくて池(なに)ろもなく穂(なに)心なくて玉
- 11 45-08 たまへらむ 給へらむに榊 給へ御覧の穂
- 11 45-09 きこしめさむと ナシ玉
- 11 45-09 はしたなかるへき(はした)な(る)へき池
- 11 45-10 おほして(おほ)えて「三八えカシカ微妙」横池三

- 11 45-10 このころそこのころは横池こころそ
- 穂
- 11 45-11 おもしろきナシ三
- 11 45-11 かはるへきかはる榊
- 11 45-11 ひき補入横
- 11 45-12 いてゝいてへて横
- 11 45-12 やむことなかるへきやこむとなかるへき
- 玉
- 11 45-14 なり給なり給まゝにいとよくなり給榊なり
- [給]明
- 11 45-14 ゆしあむするゆかしあんする玉
- 11 46-01 心も心をも榊
- 11 46-02 そのころはへそのころは榊そこのころ
- は池そのころは陽玉※
- 11 46-02 御いとまいとま徹
- 11 46-02 女御のきみにも女御のきみも横三女御の君
- へに池
- 11 46-03 琴はきんは横池三明穂玉徹飯
- 11 46-03 ならばしならばし横
- 11 46-03 たてまつり給はざりければたてまつりたまふ
- ざりければ穂たてまつらざりければ玉
- 11 46-03 このおりこのおりへ穂
- 11 46-04 手ともとも穂
- 11 46-04 ひき給らんをひき給はんを横池ひき給へら
- んを榊
- 11 46-04 ゆかしとゆかしか(と)池
- 11 46-05 まかてまかむて穂
- 11 46-05 みこ御こ玉
- 11 46-05 ふた所ふたところ「傍記みアルカ」池

- 11 46-05 又もまたし「本二」ト傍記玉
- 11 46-07 十一月十一日横池陽肖三明穂玉飯十一日
- (月イ)肖
- 11 46-07 御せうそこ御せうそく穂御消息玉
- 11 46-07 うちしきりうちつぎ(しきり)池
- 11 46-08 かくよく「ヨイカ」穂
- 11 46-08 よるへくのよなよなの肖玉徹証正※
- 11 46-08 うらやましくうらやみ給てましく榊ナシ池
- 陽穂玉うらやましく池
- 11 46-09 夜のよの「池ハ削訂カ」榊池明飯ナシ穂
- ※
- 11 46-09 御心心池
- 11 46-10 夜のよの榊明穂飯
- 11 46-10 ひきたまひつゝひき給て穂
- 11 46-11 このかたにへこのかたに池
- 11 46-11 ほのめきたるに心えたるは榊
- 11 46-11 御ことゝも御ことゝもを穂玉
- 11 46-11 ひかせてひかせてそ三
- 11 46-11 あそひなとし給あそひ給なとし給榊
- 11 46-12 くれつかたはくれ方は穂くれつ△たは
- 飯
- 11 46-12 なたにはなとに「は」「本行二書人」明
- 11 46-12 こなたかなたのこなた「かなた」の証
- 11 46-13 御らむしいるゝ御覧しいる飯
- 11 46-13 事とも事も榊陽玉
- 11 46-13 うらゝかならむうらゝかならむ正
- 11 46-13 夕へなとに夕へなとに榊
- 11 46-14 御ことのね御琴のね徹
- 11 46-14 としかへりぬ年かえるに玉

- 11 47-01 ことゝもことへとも証
- 11 47-01 こちたぎにこちへたぎに大いとこちたぎに
- 横池陽三穂玉
- 11 47-01 さしあひてはあ(さ)しあひては池
- 11 47-01 ひんなくひんなからんく「からノ上カラ」へ
- ヲ書キ、ミセケチカ」榊
- 11 47-02 すこしたまふすくし給横池陽三穂玉徹
- ※
- 11 47-02 二月十日と二月十日よひと池二月十日
- 余日にと穂二月十日よひと玉
- 11 47-02 きたためたまひてきたためて榊
- 11 47-02 かくにんかく肖
- 11 47-02 御あそひあそひ明飯「御あそひ」後補明
- 11 47-03 たえすたえすあり横池陽三穂玉
- 11 47-03 ゆかしくするゆかしうする陽穂
- 11 47-03 御ことのね御琴のね徹証正
- 11 47-03 いかていかてか陽玉※
- 11 47-03 かの人々のほの人々の横この人への榊池
- 陽肖玉徹証正か(こ)の人々の池人への
- 穂
- 11 47-03 さうひはのねもしやうのことひわのねも横
- 「さうひはの」ねも榊さ(う)ひはのねも
- 肖ことひはのねも穂玉
- 11 47-05 み心しらひ御心しらひ徹
- 11 47-05 ともにもとも穂
- 11 47-05 まさらねまさらぬ(ねは)池
- 11 47-05 はかしくはかしくしう玉
- 11 47-06 おさへナシ穂
- 11 47-06 いかていかてか穂

たと池

- 11 49 | 07 み木ちやう御きちやう榊玉徹御ぎへちやう榊みきやう陽
- 11 49 | 07 中のまは中のまい横
- 11 49 | 07 院の院陽玉
- 11 49 | 08 よそひたりよそをひたり池
- 11 49 | 08 拍子あはせひやうしあはせ榊三穂玉兵しあはせ明
- 11 49 | 08 わらはへをわらはへを榊わらへを穂
- 11 49 | 08 右のおほいとのおほみとの榊右大い殿、池三明飯
- 11 49 | 08 三らう三郎証三郎口「口ハうヲ削ル」正
- 11 49 | 09 あに君あに玉
- 11 49 | 09 左大将の右大将の榊陽穂徹証正右(さ)大将の穂右大将玉※
- 11 49 | 09 御たらう御たらうの「らハうカ」穂
- 11 49 | 09 よこふえとよこふ多穂
- 11 49 | 10 御こと、も御こと、(と)も榊御琴とも徹証正
- 11 49 | 11 御こととも御琴とも徹証正
- 11 49 | 11 ふくろともにふくろに榊
- 11 49 | 11 いたる、いたる飯
- 11 49 | 12 あかしの御方にはあかしの御かたに横榊池陽肖三明穂玉徹証正飯
- 11 49 | 12 むらさきのうへにはむらさきのう多に横榊池肖三明徹証正飯むらさきのうへ陽穂玉
- 11 49 | 12 女御のきみに女御のきみ穂
- 11 49 | 12 さうの御ことしやうの御こと榊肖穂玉徹証

正生の御こと陽

- 11 49 | 13 えひきたまはすやとえひきたまはすやと榊ひき給はすやと陽えきこへ給はすやと玉
- 11 49 | 14 給へるをそ給へる(きん)をそ池
- 11 49 | 14 さうの御ことはしやうの御こと宮にはかくこと、しきことはまたえひきたまはすやとあやうくてれいのてならし給へるをそしらへてたてまつり給しやうの御ことは榊
- 11 49 | 14 ゆるふとゆるうと横池
- 11 50 | 01 おりのおりおりの池
- 11 50 | 02 えはりしつめしえりはりしつめし徹
- 11 50 | 02 大将をこそ大将こそ穂
- 11 50 | 02 めしよせつへかめれめしよせつへかめれは榊めしよせつへかんめれ穂玉
- 11 50 | 03 ふえふきともふえふきともは陽
- 11 50 | 03 をさなけにてをさなけにて「きノ上カラケヲ書く」榊
- 11 50 | 03 拍子ひやうし榊三玉兵し明ひやし穂
- 11 50 | 03 つよからすよからす穂
- 11 50 | 04 こなたにとこなたにと「とハ補入カ」池
- 11 50 | 04 御方、御方、は穂かた、玉
- 11 50 | 04 あかしの君をあかし君を穂あかしのきみ飯
- 11 50 | 05 はなちてははなちにて穂
- 11 50 | 05 みなみな池
- 11 50 | 05 御弟子とも御事とも穂
- 11 50 | 05 御心くはへて「御イマ、ろくはへて三
- 11 50 | 05 大将の大将陽穂玉徹証正

正飯

- 11 50 | 06 き、たまはむにき、給らんに飯
- 11 50 | 06 なん(なん)横
- 11 50 | 06 なかるへくとなるへくと飯
- 11 50 | 06 きこしめすにもきこしめす玉きこしめすに(も)徹
- 11 50 | 07 ものに(も)のに榊
- 11 50 | 07 給つれば給へれば横榊池陽肖三明穂玉徹証
- 11 50 | 07 いくはくならぬいた(く)はくならぬ榊
- 11 50 | 08 なれとなれとも玉
- 11 50 | 08 事なくて事なら(くイ)て三
- 11 50 | 08 春のこのねは春(さるも)の(とイ)ことのねは三春の琴のねは徹証正
- 11 50 | 09 かきあはするかきあはせたる玉
- 11 50 | 09 所、事穂玉
- 11 50 | 10 いと「いと」明
- 11 50 | 10 いたく、いたう榊
- 11 50 | 10 心けさうして心けしやうして穂
- 11 50 | 10 おまへの御まへの穂穂玉
- 11 50 | 10 御こと、ろみあらむよりも御心とあらぬよりも穂
- 11 50 | 11 けふのけふり(の)榊
- 11 50 | 11 心つかひは心つかかひは徹
- 11 50 | 12 しみたるしみわたる徹証正しみわ(に)たる徹
- 11 50 | 12 御そとも御う(そ)とも榊
- 11 50 | 12 そてナシ穂袖くち徹
- 11 50 | 13 はてにけり、はてけり玉
- 11 50 | 13 思いてられておもひいてられ玉

- 11 50 14 ゆるらかににゆるゝかに横榊池陽三明穂徹
- 正
- 11 50 14 うちふくうちふきたる池
- 11 50 14 風に風にも飯
- 11 50 14 えならすえなえ(ラ)す榊※
- 11 50 14 みすの御すの玉
- 11 51 01 内の中の徹
- 11 51 01 ふぎあはせて(へふぎ)あはせて横
- 11 51 01 うくひすうくひすの池鶯の穂
- 11 51 01 しつへくしつく池
- 11 51 02 あたりのあたり陽
- 11 51 02 みすの御すの玉
- 11 51 02 さうの御ことのしやうの御ことの榊
- 11 51 02 すこし(す)こし榊
- 11 51 02 かる(し)き(か)る(し)き横榊池
- 11 51 03 やうなれとやうなれと横
- 11 51 03 これかをかを穂(う)これかを証
- 11 51 03 とゝのへてとゝへて飯
- 11 51 03 心み給へ(こ)ろ給へ陽
- 11 51 03 うとき人のうとき人榊
- 11 51 03 いるへきやうもいるへきやうは横池陽玉徹
- 証正 いるへきやうも(は)池 いるへきやう
- 穂 いるへきやうにも飯
- 11 51 04 やうもなきをやうなきを穂
- 11 51 04 ほとほと池
- 11 51 04 よういおほくようめおほへ穂
- 11 51 05 いちこちてうのいちこちてうのの横いちこち
- ちの陽いちこちてうの三玉
- 11 51 05 こゑにこゑには玉

- 11 51 05 はつのをゝはちをゝ「未見」横(い)は(ち)のを
- 榊はちのをゝ池陽肖三明穂玉徹証正飯八
- のをゝ玉
- 11 51 05 さふらひ給へはさふらへ給えは玉
- 11 51 06 かきあはせ(ひ)か(き)あはせ穂
- 11 51 06 こそナシ玉
- 11 51 07 けふのけふのけふの玉
- 11 51 07 ましらふましる(らふ)大ましふ三穂徹証
- 正飯 まし(へら)ふ三
- 11 51 07 おほえすおほえすなん穂
- 11 51 08 けしきはみたまふけしたはみ給穂
- 11 51 08 さもさと飯
- 11 51 08 女かくに女かくにも榊
- 11 51 08 えことませてなむことませてなん池えこと
- ませて三
- 11 51 08 けにけるとにけると飯
- 11 51 09 つたはらむつたはえん横つたへ(は)らん
- 池
- 11 51 09 わらひ給しらへはてゝおかしきほとにナシ
- 陽
- 11 51 09 わらひ給(わらひ)給(肖)
- 11 51 09 しらへはてゝしらへいてゝ「横未見」横池明
- 飯
- 11 51 10 御むまこの御まこの横池陽肖三明徹証正
- 飯
- 11 51 10 君たちの君たち玉
- 11 51 11 ふきあはせたるふきあえせたる榊※
- 11 51 11 物の手ともものゝねとも横榊池陽肖三明穂
- 玉徹証正飯

- 11 51 11 わかけれとわか(け)れと玉
- 11 51 12 おかしけなりおかしけなる徹
- 11 51 12 しらへともしらへ徹
- 11 51 12 とゝのひはてゝとゝのひいてゝ横とゝのへ
- はてゝ穂玉
- 11 51 12 かきあはせ給へるほといつれとなきなかにひ
- はゝかきあはせ給へる(ホト)いつれとなき
- なかにひわは(い)三
- 11 51 13 ほとほとに飯
- 11 51 13 なかに中に榊穂徹飯
- 11 51 13 上手めき上手めきたり徹
- 11 52 01 御つまをとにかきかへしたるナシ陽
- 11 52 01 かきかへしたるか(ひ)き返(し)たる池ひき
- かえしたる玉徹証正
- 11 52 01 めつらしくなつかしう玉
- 11 52 02 おとろ(く)しくおとろ(く)しう榊
- 11 52 02 かきたたたるかきたる穂かき(た)てゝたる
- 徹
- 11 52 02 をとらす(お)とらす(ぬ)ヲ削(ツ)テ(す)ヲ書(ク)榊を
- らす穂
- 11 52 03 やま(と)ことにも(や)ま(と)こと(葉)にも穂
- 11 52 03 かゝる手(か)は(か)る(へ)て榊
- 11 52 03 きゝおとろかるきゝゝをとかる穂
- 11 52 03 御らうのほと御(こう)の程玉
- 11 52 04 おとゝおとゝの榊池おとゝ(へ)の池
- 11 52 04 御心御心池
- 11 52 05 さうの御ことはさうの(御)ことは「未見」
- 横(さう)のことは陽
- 11 52 07 いうに(い)ふに穂玉

- 11 52 07 なりにけるなりける横池
- 11 52 08 大将 大将は榊
- 11 52 08 拍子 ひやうし榊三穂玉 兵し明
- 11 52 08 さうか しゃうか穂
- 11 52 08 うちならしてへうちならして池
- 11 52 09 御こゑ 御御こゑ横
- 11 52 09 ふつゝかにふつゝかに大ふつかに
- 穂
- 11 52 10 きこゆきこゆる飯
- 11 52 10 こゑは横こゑは池
- 11 52 10 夜のよの榊池三明穂玉
- 11 52 11 夜のよの池明玉夜(よ)の飯
- 11 52 11 ころなれば比なれ共飯
- 11 52 12 こなたかなたにこなたかなたに横こゑ
- なたかなたに榊
- 11 52 12 ともさせへともさせ榊
- 11 52 13 あるへあるへ横
- 11 52 13 心ちすこちして穂
- 11 52 13 にほひやかなるにほひかなる証正
- 11 52 14 方はかた榊池
- 11 52 14 をくれてすくなくて穂
- 11 52 14 二月の中十日二月のなかの十日榊二月の中
- の廿日池 二月中の十日陽穂 二月中の十日
- 肖玉 二月中の十日 十日肖 二月中十日徹飯
- ※
- 11 53 01 したりはしめたらむしたりはしめらむ陽し
- たりはしめたる玉
- 11 53 01 うくひすのうくひすの榊
- 11 53 01 みたれぬへくみたれぬへう榊

- 11 53 02 ほそなかにほそなかに陽
- 11 53 02 御くしは御くし穂
- 11 53 02 ひたりみきよりさ右より飯
- 11 53 03 これこそはこれこそ(こそ)は榊これこそ
- 飯
- 11 53 03 御ありさま御さま池陽穂玉御ありさま
- 池
- 11 53 04 御なまめきすかたの御なまめきすかた
- 玉
- 11 53 05 心にくゝにくゝ飯
- 11 53 05 よくへよくへ徹
- 11 53 05 さきこほれたるさきこほれたり「り力」
- 飯
- 11 53 05 夏にかゝりてな(ま)つにかゝりて池
- 11 53 06 あさほらけのあさかほらけの「ミセケチアル
- 力」証
- 11 53 06 心ちぞ心ちへそ池玉
- 11 53 06 し給へるし給たる穂
- 11 53 06 ふくらかなる…11 56 07 まさるところなるそ
- 「錯簡」三
- 11 53 06 ふくらかなるほとにふくらかなる(程)物に
- 池 ふくらか(なる程)に徹 ふくらかになるほ
- とに証正
- 11 53 07 給ければ給ければ「は二もノ傍記アルカ」
- 池 給いける穂
- 11 53 07 御ことも御ことは池徹御ことも穂
- 11 53 08 給へりさゝやかになよひかゝりナシ穂
- 11 53 08 給へり給へる横池徹ナシ玉
- 11 53 08 なよひなより飯

- 11 53 09 ことさらにことさらに玉
- 11 53 10 きよらにてきよらにて横
- 11 53 11 えひそめにやゑいそめにや穂
- 11 53 11 色こきこうちきいろこきこうちき「はノ上カ
- ラチヲ書クカ」榊いろこきこうちき陽色こき
- へこうちき徹いろよきこうちき飯※
- 11 53 12 ゆるらかにゆるかに横榊池陽肖明穂徹証
- 正飯
- 11 53 13 よきほとにうきほとに飯
- 11 53 13 あたりにあたり横池穂玉徹飯
- 11 53 14 たとへてもたとへても「も」明
- 11 53 14 ものよりものよりことに池
- 11 54 01 御あたりに御あたりには榊御わたりに
- 穂
- 11 54 01 けをさるへきをけをさへさるへきを穂
- 11 54 02 はつかしくはつかしう玉
- 11 54 02 ゆかしきゆかしき榊※
- 11 54 03 ほそなかにほそなか横榊池陽肖三明穂玉徹
- 証正飯
- 11 54 03 もえきにやもえ(き)にや正
- 11 54 04 心にくゝ心にて(くゝ)榊
- 11 54 05 あをちのあまちの飯
- 11 54 05 まほにもまほにも榊三まうにも玉まほに
- も徹
- 11 54 06 ひはをひは玉
- 11 54 06 はちのはかりの「ヨイカ」玉
- 11 54 07 又ナシ榊
- 11 54 07 なつかしくてなつかしく穂
- 11 54 07 さ月まつ五月まつ榊玉

- 11 54 07 花たちはなの はなたちはな横榊池陽三明穂
- 玉飯
- 11 54 07 はなもも玉飯
- 11 54 08 かほりかほりと榊
- 11 54 08 おほゆおほゆる玉
- 11 54 08 御けはひともを 御けはひを徹
- 11 54 08 きゝみ給にきゝ給に池陽きゝ見給に池見
- 給に玉※
- 11 54 09 ゆかしくゆかしう玉ゆかしくて徹
- 11 54 10 たまへらむ給らん玉
- 11 54 10 ありさまありさまの横
- 11 54 10 しつ心もなししつ心もなき(し)榊しつこゝろなし穂
- 11 54 11 わかものにててもわかものにもも陽
- 11 54 11 みたてまつりてましみたてまつら(り)へてまし池
- 11 54 11 くやしきやくやしき榊穂くちをしや池いとくやしきや三
- 11 54 12 のたまはせけるをとのたまはせけるを榊
- 11 54 12 思へとおもへは(と)榊
- 11 54 13 方にかたにも玉
- 11 54 13 御けはひに 御けはひに(を)池へ御けはひに徹
- 11 54 14 うこかさりけりうこかさりへけり榊
- 11 54 14 御方をはへ御方方をは肖御方を飯
- 11 54 14 けとをくてけとをく榊
- 11 55 01 いかてかいかてかは「は八補入力」穂
- 11 55 01 心よせ心をよせ玉心よせ「よ力」証

- 11 55 01 みえたてまつらむと許のみえたてまつらんにとはかり玉
- 11 55 02 なりけりなりへけり「朱」大はかりなりけり三なり穂
- 11 55 02 あるましくあるましく榊ナシ玉
- 11 55 02 おほけなきおほえ(けい)なき三
- 11 55 03 心ちなとは心なとは横榊池陽肖三玉徹証
- 正心なとはへ肖
- 11 55 03 夜よ池明飯
- 11 55 03 ふけゆくけはひふけゆくは池ふけゆくはかせ(くけはひい)三
- 11 55 04 はつかにわつかに玉
- 11 55 04 おほろ月よおほろ月夜に池飯おほろ月夜穂玉
- 11 55 05 かうやうなるかやうなる横池穂玉かへうやうなる証
- 11 55 05 ものゝねにものゝねへ池
- 11 55 06 ひゝきそふひゝきそふ榊※
- 11 55 06 大将の君大将君池
- 11 55 06 秋のよの秋の夜の榊池三玉
- 11 55 07 よろつものゝよろつもの横池よろつもの三明よろつものゝ玉
- 11 55 07 心ちは心ち榊
- 11 55 08 し侍れとし侍と穂玉
- 11 55 08 つくりあはせたるつくりあはせたる(る)榊
- 11 55 08 やうなる様なる穂
- 11 55 08 花のつゆにも花のつゆにへも「朱」大はな
- のつゆも横榊池陽肖三玉徹証正飯

- 11 55 09 かきりこそ侍れかきりこそ侍れい三
- 11 55 09 春のそらの花のそらの横池
- 11 55 09 かすみのまよりかすみへまより榊
- 11 55 10 おほろなるをへほろなる榊
- 11 55 10 やうには様には穂
- 11 55 10 いかてかいかてかは榊いかへてか徹
- 11 55 11 すみのほりはてすなむすみのほりはてなん横徹証正
- 11 55 11 侍けるけに侍けるけに「未見」横侍りけるに穂
- 11 55 12 けにさなむ侍けるナシ徹証正
- 11 55 12 なつかしくなつかしう榊陽穂なつかしく三※
- 11 55 12 ものゝとゝのほるものゝとゝ(と)のほる榊ものゝへねとゝのおる池
- 11 55 13 侍れれと侍へれと榊侍れれと三
- 11 55 13 人のへ人の榊
- 11 55 13 わきかねたるはきかねたる穂
- 11 55 13 すゑの世にすゑの世に徹
- 11 55 14 くれたるすくれたる横池くゝれる玉
- 11 55 14 人のひと飯
- 11 55 14 えあきらめははつましくえあきらめははつましく大えあきらめはつましく横榊池陽肖三明穂玉徹証正飯(はつましくはつましう玉)へえあきらめはつましく榊※
- 11 55 14 こくのものともはこくの物ともは「こくニモミセケチカ」榊
- 11 56 01 しもけにしりけに穂
- 11 56 01 したるはしたる陽穂玉

- 11 56 | 01 ありかしありしか玉
- 11 56 | 02 いうそくいうそくの横榊池陽肖三明穂玉徹
証正飯
- 11 56 | 02 おほえたかきおほえたかき人榊
- 11 56 | 02 その人かの人その人かの人榊その人かの人
の穂
- 11 56 | 02 御前御まへ池穂御せん玉※
- 11 56 | 02 たひくたいく玉
- 11 56 | 03 すくれたるはすくれたる(はい)三
- 11 56 | 03 なりためるをなりにためるを横池陽穂玉な
りにたんめるを玉
- 11 56 | 03 このかみとこのみと横このかみ陽かみと
玉へこのかみと徹
- 11 56 | 03 上手ともしやうすとも穂
- 11 56 | 04 えまねひとらぬえまねひとめぬ横まねひ
とらぬ穂
- 11 56 | 04 ほのかなるかくほのかなる「穂ハかくニ楽ヲ
宛テル」横榊池陽肖三明穂玉徹証正飯
- 11 56 | 04 御中に御なかに池
- 11 56 | 05 きはなるへくきひはなるへく穂
- 11 56 | 05 こそへこそ徹
- 11 56 | 05 すすすにすすすに横過すに徹
- 11 56 | 06 なりにたるにや成たるにや肖玉徹証正なり
にたるや飯
- 11 56 | 06 ちおしうくちをしく榊池三玉
- 11 56 | 06 あやしくあやしう穂
- 11 56 | 07 とりすることとりすることとも横榊
池肖明飯とりする事との三
- 11 56 | 07 ものはえはえ三

- 11 56 | 07 御前の御まへの横池玉
- 11 56 | 08 それをなむ(それ)をなむ肖
- 11 56 | 09 思ひ侍りつれとおもひ侍つれと池
- 11 56 | 09 あきらかならぬなかならぬ穂
- 11 56 | 10 思給ふるおもふ給る榊三おもふたまふる
三おもひ給ふる明穂玉思給る徹思たらふ
る飯
- 11 56 | 10 のほりての世をのほりて世を陽
- 11 56 | 10 侍らねはにや侍らねはや穂徹
- 11 56 | 10 衛門督のゑもんのかみの榊三明穂玉飯
- 11 56 | 10 兵部卿宮の兵部卿の宮の穂玉
- 11 56 | 11 御ひわなとを御ひはなと横御ひは(わ)な
と池
- 11 56 | 11 めつらかなるめつらしかなる穂めつらしか
る「めつらかしかるカ」玉
- 11 56 | 11 ためしにためしにも穂
- 11 56 | 11 侍めれ侍へめれ陽肖徹証正はへめれ三明
飯侍めかんめれ穂侍るめれ玉
- 11 56 | 11 かたはらなきをかたはらなきへ横
- 11 56 | 12 ものねともものみな物のねともものみなむ
徹
- 11 56 | 12 みおとろき侍はおとろき侍れば穂みを
とろき侍は玉
- 11 56 | 13 思給へたゆみける思ふたまへたゆみける横
池三明飯思ひたまへたゆみける穂玉
- 11 56 | 14 なといとつかうまつりにくなむ和琴はかの
おと許ナシ飯
- 11 56 | 14 かくナシ陽
- 11 57 | 01 こしらへこしらへ榊

- 11 57 | 01 まかせてまかせ横池
- 11 57 | 01 給へるは給へる横池
- 11 57 | 01 いといと陽
- 11 57 | 01 ものし給へものし給えり玉
- 11 57 | 02 きはなれぬきはへなれぬ正
- 11 57 | 02 侍へめるをはへめるを横池三明徹飯侍める
を榊穂侍るめるを玉
- 11 57 | 02 かしこくかしく池
- 11 57 | 02 とのひてこそとのひてこと横池
- 11 57 | 03 いとさいいとく穂いとさまて玉いと
飯
- 11 57 | 04 ほゑみほゑみみ榊※
- 11 57 | 05 こへこに「補入符号ノミ後補」明ナ
シ穂
- 11 57 | 05 ちいるへきくちは(い)るへき榊
- 11 57 | 05 こと事も玉
- 11 57 | 06 ことなるへしとなるへし飯
- 11 57 | 06 所にて所にて「にカ」飯
- 11 57 | 06 きはしめたりしにきはしめぬ世に
玉
- 11 57 | 06 ものこゑもの「の」こゑ榊ものこゑ陽
※
- 11 57 | 07 なむ(なん)横
- 11 57 | 07 おほえしかとおほえしかとも玉
- 11 57 | 07 そのおりよりはそのおりには三
- 11 57 | 07 まさりにたるまさりたる玉
- 11 57 | 08 われかしこにわれかしこ「かほ」に玉
- 11 57 | 08 かこちかこち(たり)「後補」明
- 11 57 | 08 給へはつ玉

- 11 57 08 女房などは女房など穂
- 11 57 08 つきしろふつきしろ玉
- 11 57 09 いつれもきはなくいつれともなきはなく
- 玉
- 11 57 09 なくおほえつゝわか心ちにあくへきかきり補
- 入横
- 11 57 09 おほえつゝおほえつる(つ)榊
- 11 57 09 心ちに心ちに陽※
- 11 57 10 あくへきわくへき穂あるへき飯
- 11 57 10 かきりなくかきりなう榊
- 11 57 10 ならひとらむならひと(ら)む肖
- 11 57 10 けれとなにかはそのたとりふか補入横
- 11 57 10 たとりふかきをとりふかき榊たちふかき
- 玉
- 11 57 11 かたはしをかたはしも穂
- 11 57 12 人ナシ玉
- 11 57 12 かたかたにかたことにや池かたに穂
- 11 57 12 琴きむ横池三明穂玉飯こと肖
- 11 57 13 物は飯
- 11 57 13 ありけるありけり穂ありけるか飯
- 11 57 13 このことはこのこと陽この事とも穂
- 11 57 14 天地を天(つ)ちを池てんちを「他本ヨイカ」
- 穂
- 11 57 14 やわらけやはしけ穂
- 11 57 14 うちにそらに陽玉
- 11 57 14 かなしひふかきかなしひふる(か)き榊かなしきふかき池
- 11 58 01 いやしくいやしう玉
- 11 58 02 たからにあつかりナシ陽

- 11 58 02 ゆるさるゝゆるさる徹証正
- 11 58 02 おほかりけりおほかり陽
- 11 58 03 ふかくふかき(く)池
- 11 58 03 おほくのおほく穂
- 11 58 04 すこしすくし横榊池陽三明穂飯
- 11 58 04 たにたにも穂
- 11 58 05 ありけるありけるを三ありけり飯
- 11 58 05 あきらかにあきらかなる陽
- 11 58 05 うこかしうこかしたるに(イ無)三
- 11 58 06 ふらせくもふらせてくも榊ふらし(せ)て
- も池
- 11 58 06 いかつちいる月横いか月(つち)「薄墨カ、ノドニアタリ不明」池
- 11 58 06 さはかしたるさはかし肖※
- 11 58 07 ならひとるならひた(と)る横ならひたる
- 穂飯
- 11 58 07 ありかたくありかたう玉
- 11 58 07 なれはにやなれは(に)や明
- 11 58 07 いつこのいつらの陽いつくの三
- 11 58 08 そのかみのそのの神の玉
- 11 58 08 かたはしにかはかたはしにか(は)榊
- 11 58 08 かの(か)の榊
- 11 58 08 かたふきそめにけるかたふきそめける榊か
- たふけそめける陽
- 11 58 09 物なれはナシ玉
- 11 58 10 のち(のち)榊
- 11 58 10 よからすよからすありける横
- 11 58 10 とかいふといふ玉

- 11 58 10 なむをつけてなん(へ)つけて榊なをつけて
- 「穂ハなニ名ヲ宛テル」陽穂玉
- 11 58 10 うるさきまゝにうちさきまゝに陽
- 11 58 11 ちおしき事にこそ口おしきにこそ徹証
- 正
- 11 58 11 はなれてははなれて(は)榊
- 11 58 11 なにことをかなにをか榊なに事か三
- 11 58 12 ものを徹もの証正
- 11 58 12 とゝのへしる(へ)とはとゝのへしるしる
- へと(は)榊とゝのへしる人(しるへ)とは
- 池とゝのへしるへとは穂とゝのへしるへき
- は飯
- 11 58 12 けにナシ陽徹
- 11 58 13 心をたてゝナシ玉
- 11 58 13 もろこしこまともろこしまてと穂
- 11 58 13 この世に(へこい)のよに三
- 11 58 14 まとひナシ穂
- 11 58 14 はなれむことははなれん事(は)池※
- 11 59 01 するはかりのしるかきりの玉
- 11 59 01 しりをかきらむしをかきらん榊
- 11 59 02 はかりもなきはかりなき陽
- 11 59 02 物なゝり物なんなり穂玉
- 11 59 03 わつらはしきはつかしき穂
- 11 59 03 こくこゑ玉
- 11 59 03 心にいりしこゝろに入穂
- 11 59 03 世にナシ玉
- 11 59 03 ありとありありと(あり)明
- 11 59 04 つたはりたるつたはりたる(ける)肖
- 11 59 04 ふといふものゝふるいふものゝ陽

- 11 59 04 あまねくナシ穂
- 11 59 04 のち／＼はのちには池陽穂玉のち／＼(に)
は池後／＼には肖徹証正
- 11 59 05 このみならひしかとこのみちをならひしか
とも陽この道習しかと穂玉証正このみちな
らひしかと徹
- 11 59 05 猶名玉
- 11 59 07 などと池
- 11 59 07 ちおしくくちをしう榊
- 11 59 07 御子たちの御中にみこたちの御中に池陽み
こたちの御なかに明飯
- 11 59 08 そもナシ陽
- 11 59 08 なからへなへかへ証
- 11 59 09 二宮三宮榊明飯三二宮池三二宮後
補明二の宮玉
- 11 59 10 あかしの君はあかしの君飯
- 11 59 11 涙くみてなみたくみへ横なみたくみて
明
- 11 59 11 さうの御ことをはさうの御事(こと)をは
榊
- 11 59 11 ゆつりゆつりたてまつり玉
- 11 59 12 あつまをあつまをと榊あつまは玉
- 11 59 12 御まへにおまへに陽徹御まへに「のヲ削ッ
テにヲ書ク」肖※
- 11 59 13 かつらきかつらき「本二」ト傍記玉
- 11 59 13 はなやかにはやかに「ツカ」玉
- 11 59 13 おとゝおとゝも陽肖穂玉おとゝも肖
- 11 59 13 うたひ給うたうたひ給玉
- 11 59 14 あいきやうつきあいきやうつきて横

- 11 59 14 さしあかるまゝにさしあか[るまゝに榊さ
しあかる程に玉
- 11 59 14 花の色かも花の色も徹
- 11 60 01 もてはやされてト(も)てはやされて「朱
大
- 11 60 01 いとナシ穂
- 11 60 01 心にくきおもしろ(ころにく)き池
- 11 60 01 さうのことさうの御こと横池
- 11 60 02 いとト池※
- 11 60 02 らうたけにらうたけにて横
- 11 60 02 なつかしくなつかしう榊
- 11 60 02 ゆのねものゝね玉
- 11 60 02 ふかくいみしくふかういみしう榊ふかくい
みしう穂
- 11 60 03 御てつかひは御てつかひは「らノ上カラヒヲ
書ク」榊御てつかひは「は」飯
- 11 60 03 ゆるゝかにゆるらかに「正ハ」トラノ区別ガ
曖昧「肖証正
- 11 60 03 きく人きくへき人榊
- 11 60 04 すゝろはしきまで「す」ろはしきまで
飯
- 11 60 04 あいきやうつきてあい行つき横榊池陽三穂
玉
- 11 60 04 りむの手りちの手穂
- 11 60 05 御ことのね御琴のね徹証正
- 11 60 05 かへりこゑにかへりこゑへ横
- 11 60 05 りちのりつの飯
- 11 60 06 なつかしくなつかしう榊肖徹証正※
- 11 60 06 こかのしらへこかのしらへ「本二」ト傍記「

- 11 60 06 なかに中に横榊池三明穂玉飯(中に)
池※
- 11 60 07 ひき給へきひき給フ(へ)き「朱」大
- 11 60 07 五六のはちを五六のはちを横五六のはちら
イを肖
- 11 60 08 かたほならずへかたほならず池かたほなら
す玉
- 11 60 08 きこゆきこゆる横
- 11 60 08 ものにもものにも玉
- 11 60 08 かよへるかくよへる榊
- 11 60 09 心しらひ心しらへ「へニヒヲ傍記カ」榊
- 11 60 09 をしへをして穂
- 11 60 09 さまたかへすいとよくわきまへたま補入
横
- 11 60 10 うつくしくおもたゝしくうつくしくおもたゝ
しく横池うつくしうおもたゝしう榊うつく
しくおりたゝしく飯
- 11 60 10 このきみたちこの小君たち肖
- 11 60 10 うつくしくふきたてゝうつくしうふきたて
ゝ陽肖三穂徹証正
- 11 60 11 心ころに横池
- 11 60 11 なりにたらむになりにたらん横池
- 11 60 12 こよひのこの陽
- 11 60 12 なかくはあらてなからへはあらて穂
- 11 60 12 ほとにとほとにへと横
- 11 60 13 ものゝねとものものゝねとものに玉
- 11 60 13 いつれともいつれと横池三いつれとも
穂

- 11 60 13 みゝとからぬみゝとかゝぬ「ヨイカ」飯
 11 60 14 ふくへふく横
 11 61 01 きみにはきみにはつ榊
 11 61 03 さか月御さかつき玉
 11 61 03 かつけたてまつりかつけたてまつり証か
 つけたてまつる飯
 11 61 03 給を給へ池
 11 61 03 あやしやあやしへ横
 11 61 04 まつはは穂
 11 61 05 み木ちやうの御きちやうの榊池陽三明穂玉
 徹飯
 11 61 05 御ふえふえ三※
 11 61 05 たてまつるたてまつり玉
 11 61 05 とり給ナシ陽
 11 61 06 すこしへすこし徹
 11 61 06 いて給ほとに大将たちナシ穂
 11 61 08 いつれもいつれもも飯
 11 61 09 になくはるなく池
 11 61 09 おほししられるおほししるる玉
 11 61 10 さうのことさうの御こと池
 11 61 12 心にも心に飯
 11 61 12 わかれたてまつりたまひにしかはわかれた
 てまつりにしかは玉
 11 61 13 ゆるゝかにもゆるゝかにも榊ゆるらかにも
 三証ゆるるかに「も」徹※
 11 61 13 おとこ君のおとこきみの玉
 11 61 13 御まへにては御前にては榊三おまへにては
 陽徹

- 11 61 14 ひきたまはすひきたまはす「ぬヲ削ッテスヲ
 書クカ」榊
 11 61 14 なにこともなににも陽
 11 62 01 こともあつかひをこともあつかひを横榊
 池陽三明穂玉飯
 11 62 01 いとまなくいと□なく「しカ」飯
 11 62 01 し給へはし給へは榊※
 11 62 02 ものねたみものねたみ(えんし)池
 11 62 02 うちしたるうちしたり飯
 11 62 03 院は院は池
 11 62 03 給て宮にも御ものかたりなときこえ補入
 横
 11 62 03 宮にも宮に横榊池陽肖三明穂玉徹証正
 飯
 11 62 04 なとナシ徹と飯
 11 62 04 あか月にそあかつき「に」そ池
 11 62 04 たかうたかく横池穂玉
 11 62 04 おほとのこもれりおほとのこもれり穂御
 とのこもれり玉
 11 62 05 御ことのねは御琴のねは徹証正
 11 62 05 いたうるさくいたうるせく榊三玉証へいと
 うるざ(せ)く「ミセケアルカ」池いたうる
 さ(せい)く「後補」明いたうるざ(せ)く証う
 るさく飯
 11 62 05 きこえ給へはきこへ給え玉
 11 62 06 はしめつかた「ハ」しめ方穂
 11 62 06 こよなくよく榊
 11 62 07 いかてかはいかてかほ榊いかては穂
 11 62 08 さかしさり(か)し「朱」大

- 11 62 08 なりかしなりし玉
 11 62 08 これかれにもこれにかれにも玉
 11 62 09 わつらはしくてわつらはしうて穂
 11 62 09 わさなれはわさなり穂
 11 62 09 琴はきむは榊三明穂玉徹飯
 11 62 10 さりともさりとも榊
 11 62 10 のたまふときくかのたまへときくか穂の給
 ときくに玉
 11 62 11 御うしろみにと御うしろみと池陽穂玉御身
 うしろみにと徹
 11 62 11 するしにはと「ヨメズ」飯
 11 62 12 なむなとなんと榊なむなに「にカ」穂
 11 62 13 いとまもありかたくていとまなくて玉いと
 まありかたくて徹
 11 62 13 とりわきとりわきて榊玉とりわき肖
 11 62 13 事なともなくことなともなく横事なとも
 なくて池
 11 62 14 すくして過して徹
 11 63 01 御ことのねの御ことのね横池
 11 63 01 いてはへしたりしもいてはえしたりしも
 穂
 11 63 01 めむほくめいほく徹
 11 63 01 ありてあり穂
 11 63 01 かたふきかたらふき証
 11 63 02 うれしくけれしく陽
 11 63 03 おとなしくをへとなしく榊をと
 しく玉おとろしく徹証正
 11 63 03 御あつかひなと御つかひも玉
 11 63 04 もとかしくたとしくもとかしき陽

11 63-05 御ありさまなれば 御さまなれと玉

11 63-05 かくくしぬる かくくむしぬる穂 かうしぬる

玉

11 63-05 ひさしからぬ ひしらぬ玉

11 63-06 あなるをと ぬなるをと池 あむなるを穂 あ

むなるをと玉

11 63-06 さま なるさま なるさま なる横

11 63-06 ありさまを みありさまを榊 あり様を

穂

11 63-07 たまふま にとりあつめ 補入横

11 63-07 とりあつめたらひたることはまことに ナシ

玉

11 63-07 とりあつめたらひたること ナシ 陽 あつめた

しひたること穂

11 63-07 まことに へまことに 池

11 63-08 給へり 給へりし証

11 63-08 年月の とし時月の玉

11 63-08 なども なくと徹

11 63-09 おほしいてたる おほしいてたり穂

11 63-09 など へなど 池

11 63-09 つねよりも つねよりも飯

11 63-10 つ しみたまへ つ しみ給池 つ しみ給へ

り穂

11 63-10 おもひいたらぬ おもひたらぬ穂

11 63-10 あらむを あらむを 証ハ符号無 証三

11 63-10 猶 へなを 横

11 63-11 おほきなる おいきなる飯

徹証正

11 63-11 こと も 事とも 横榊池陽三明穂飯 ことも

11 63-11 をのつから おのつからも穂

11 63-11 せさせてむ せさせてん横池 せさせてん池 せ

させて穂

11 63-11 こそうつのものし給はすなりにたる ナシ

穂

11 63-12 いとと玉

11 63-12 うちたのまむにも うちたのむにも横池 三 うちたのまんと玉

11 63-13 のたまひいつのたまふいつ横の給ひいつ

明の給ひつ玉

11 63-13 みつからはみつから榊

11 63-13 ことなることば(なる)肖

11 63-14 おいいて おいら(い)て 朱 大 おひいて 池 思ひいて 穂玉飯

11 63-14 おほえありさま おほえあるさま徹

11 63-14 ありさましかたにたくひすくなく ありさま

まきしかたにたくひすくなく 三

11 63-14 たくひ たくひて飯

11 64-01 すくなくなく横池

11 64-01 かつたも かつたは穂 かつたにも徹証正

11 64-02 のこり へのこり 池

11 64-03 あやしく ナシ穂 あやうく玉

11 64-04 こと ナシ穂

11 64-05 ほとよりは ほとよりも穂

11 64-05 いま ても いま ても へも 三

11 64-05 なからふる ナシ陽

11 64-05 ならむとなん ならむとなん玉 ならむと徹

証

11 64-06 ひとふしの ひとふしの 証

11 64-06 物思ひのものおもひ(ふ)池

11 64-06 心みたり給 ころみ給穂

11 64-07 ことあらし かとあらし飯

11 64-07 おもふ ナシ陽

11 64-08 みな みなや池

11 64-08 物おもひ 物 思ひ徹

11 64-08 わさ ナシ榊

11 64-09 心みたれ 心みたる(れ)池

11 64-09 思ひの 思ひ肖

11 64-09 やすけなきをおやの やすけなきをやの玉 や

すけなきを(お)やの正

11 64-10 すくしすこし榊玉

11 64-10 やうなる 様なる榊

11 64-10 その方 そのかたは横榊池陽肖穂玉 そのかた

(は)池 そのかた(は)三

11 64-10 人に ひと(一人)に 後補 明

11 64-11 おほししるや おほししにやと穂

11 64-11 こそは こそ三 こそはと穂

11 64-12 いと いとと飯

11 64-12 ほととを 程は玉

11 64-12 御身つからの みつからの横池

11 64-13 もの 心ももの 心陽穂玉

11 64-13 さりとも さりとん穂

11 64-14 やうに 様に穂

11 64-14 物はかなき 物はかなき証

11 64-14 すきにたるよ そのおほえは(す)きにたるよ

のおほえは 池

11 65-01 心に 心こと ことカ 穂

- 11 66 14 なんと 横池穂
- 11 66 14 人の御うへ ひとのうへ 横池 御人の御うゑ
- 榊
- 11 66 14 のたまひいて、の給いて、てノ上カラいて
- >ヲ書ク」飯
- 11 67 01 内の御方の、うちの御かたの 明内の飯
- 11 67 02 猶 ナシ飯
- 11 67 02 所ある 心ある池 所なる穂
- 11 67 02 なむうはへは人に へは人へは人に 榊な
- むうはへの人に穂
- 11 67 02 うはへはうはゑは池
- 11 67 03 うちとけぬ うちとけぬ 肖
- 11 67 03 けしき けしき 飯
- 11 67 04 みねは みねは池 ナシ玉
- 11 67 04 まほ まを榊穂
- 11 67 04 ならねと ならねとも 横池 ならねと玉
- 11 67 05 みるおり、もあるに、みるををり、ある
- に玉
- 11 67 06 ありさま ありさま 池
- 11 67 06 いかにか、玉
- 11 67 06 み給らんと み給つらんと 「未見」横 み給つ
- らんと池 み給らん穂 み給はんと飯
- 11 67 07 とのみとの、飯
- 11 67 07 思ひてなむと 思ひてなと 榊穂 おもひなくぎ
- む」など池
- 11 67 07 さばかり さばかりに穂
- 11 67 08 いまは けふは玉
- 11 67 08 みえかはし みえかよはし三
- 11 67 08 し給も し給に穂

- 11 67 09 御ための 御ため徹
- 11 67 09 君こそは 補入横 きみこそ榊
- 11 67 10 くまなきには くまなきにては 肖徹証正 くま
- なきは玉※
- 11 67 10 人により 人より玉
- 11 67 10 事に 事に」朱」大
- 11 67 10 したかひ したかひて 陽肖穂 ナシ玉
- 11 67 11 し給けれ し侍けれ穂
- 11 67 11 こ、らこ、と明飯こ、と」ら」後補」明
- 11 67 11 御ありさま 御ありさま池
- 11 67 11 なかりけり なかりける 「正ハるヲリニ直ス
- カ」徹証正
- 11 67 12 ほゑみて ほをゑみて 横池 ほうゑみて
- 榊
- 11 67 12 きこえ給き」こえ給明
- 11 67 12 ひきとり ひき玉
- 11 67 13 よろこひ よよろこひ榊
- 11 67 13 とてと玉
- 11 67 13 あらむとも あらむへとも 榊
- 11 67 13 おほした、す おほしたらす 「飯ノらハエカ」
- 横榊池陽肖三明穂徹飯 おほひたらす徹 おほ
- ひた、す証正 おほひた、(ら)す証
- 11 67 14 いたくわかひてひとへに 御ことに心いれ
- ておほす ナシ飯
- 11 67 14 わかひて へわかひて 榊 わかれて穂
- 11 67 14 ひとへに 御ことに、11 68 14 むねつふれてい
- そき ナシ」落丁ニアラズ」玉
- 11 67 14 ひとへに へひとへに」符号アルカ」池 ひと
- つに穂

- 11 67 14 御ことに 御心(こと)に 榊(御ことに)穂 御
- 琴に徹
- 11 67 14 心いれて 御心を入れて穂
- 11 67 14 おほす おほす穂
- 11 67 14 いとま、いとま 飯
- 11 68 01 給へかし 給へる(か) し池 給へはし穂
- 11 68 01 物の師は 物の師には正
- 11 68 01 くるしかりつる日ころのしるしありてうしろ
- やすくなり給にけり、くるしかりへつる日ころ
- のしるしありてうしろ やすくなり」給にけり
- 証
- 11 68 02 うしろ やすくなり 給にけり とて 御こと、もお
- しやりて ナシ飯
- 11 68 02 うしろ やすく 心 やすく 穂
- 11 68 02 御こと、も 御ことも 榊 御琴とも 徹証正
- ※
- 11 68 02 おほとこのこもりぬ 御とのこもりぬ穂
- 11 68 03 夜は よは 榊池明穂飯
- 11 68 03 よゑみしたまひて へよゑみして 榊 よゑみした
- まひて証
- 11 68 04 よませて ナシ穂
- 11 68 04 いひあつめたる ゆいあつめたる 「ゆ力」
- 穂
- 11 68 04 ともにも ともに池
- 11 68 05 色このみいろこへのみ」三
- 11 68 05 か、つらひたる、かくつらひたる 飯
- 11 68 05 女 ナシ穂
- 11 68 05 かやうなる事を かやうなる事 榊穂
- 11 68 05 いひあつめたるにも、いひあつめたる」にも

榊

11 68 06 つるに ついてに横
11 68 06 あめれ あむれ横池

11 68 06 あやしく あやしう陽穂

11 68 06 すくしつる すこしつる穂 過しつる徹

11 68 07 のたまひつるの給へる「三八へカつか微妙」

横池三「この、給え(つ)る池

11 68 07 すくせも すくせと池

11 68 07 ありける ありける事池 ありけるも飯

11 68 07 身ながら ながら穂

11 68 08 あかぬ事にあかぬ物に池

11 68 08 身にてや みにて三正 身にて(や)徹

11 68 09 あるかななど あるかなと「横未見」横池

11 68 09 夜ふけて よふけて榊池明飯

11 68 09 おほとこのこもりぬる 御とのこもりぬる

穂

11 68 10 なやみ(な)やみ池三

11 68 10 きこえさせむと えさせんと正

11 68 11 ひんない ひんなき榊陽

11 68 11 たへかたきをおさへて たゑかたきをさへて

穂

11 68 11 たまふつ 給つ横池三 明穂飯

11 68 12 ぬるみて ぬるみ(へ)榊

11 68 12 あしけれと あしければ(とイ)三

11 68 12 かくなむとも かくなとも榊穂

11 68 13 御せうそこ 御せうそく横明 せうそく

飯

11 68 13 なやましくてなむとなやましくなと榊なや
ましくてなと池穂

11 68 14 給えるに 給へつるに肖 給つるに穂

11 68 14 おとろきてそなたよりきこえたまへるに 補
入横

11 68 14 そなたより(な)そ(な)なたより徹

11 69 01 給へるに 給つるに穂

11 69 01 いかなる御心ちそとてさくりたてまつり給へ

はいとあつくおはす ナシ陽

11 69 02 なんと池 など「もノ上カラなとヲ書ク」

飯

11 69 03 あはせ給て あはせ(給)て池 あはせて穂

玉

11 69 03 御かゆ 御(か)ゆ榊

11 69 03 御覧しもしいれす 御覧しいれす三

11 69 04 ひとひ 日とい横池徹 ひとひ明

11 69 04 そひおはして(そひイ)おはして三

11 69 05 いと(いと)池

11 69 05 いかならむと いかならむとは肖

11 69 06 はしめさせ給 はしめさせ(給)三

11 69 06 そう そうつ榊

11 69 07 その所ともなく(そ)ところともなく「ノ上
カラ後出(ヲ書ク)池

11 69 07 し給てして肖徹証正

11 69 08 くるしけなり くるしけなる飯

11 69 09 をのつから ナシ池陽穂玉をのつから

池

11 69 09 をこたる おこりたる穂

11 69 09 あらはあるは横池陽肖三穂玉徹証正

11 69 09 いみしく いみしう玉

11 69 10 かなしと かなし(と)榊 かなし飯

11 69 10 みたてまつり給に見たてまつり給へに

徹

11 69 10 こと事(こと)しく玉

11 69 10 おほされねはおほされぬは穂

11 69 10 御賀の 御かんの「本二」卜傍記、んカ玉

11 69 12 二月も ふた月も穂

11 69 12 おほしなけきて おほしなけき玉

11 69 13 二条院に 二条の院に明飯 二条院え玉

11 69 13 給ひつ 給へつ横

11 69 13 ゆすりみちて ゆすりて玉

11 69 14 なげく人 なげく人(池)

11 69 14 冷泉院も れむせい院も穂 冷泉院にも

玉

11 70 01 そむく(そむぎ)榊

11 70 01 とけたまひてむと(と)け給はんと玉

11 70 01 つくして(つくし)穂玉

11 70 01 みたてまつり みたてまつる飯

11 70 02 あつかひ給て あつかひ給横池陽肖三明穂

玉徹証正飯

11 70 02 みすほう 御すほう玉徹

11 70 02 とりわきて(とり)わき榊穂飯

11 70 03 いさ(か)いさ(か)の穂

11 70 03 おほしわく おほし(しる)わく(榊)

11 70 03 ひまには ひまは横

11 70 03 きこゆる(た)きこゆる池

11 70 03 心うくとのみ(心)うくのみ飯

11 70 04 給へと(給)へと「はノ上カラとヲ書ク」飯

11 70 04 やつし(やつ)し飯

11 71 | 13 そこはかとそこはかと肖そこはかとなく

穂

11 71 | 14 いみしくいみしう榊

11 72 | 01 いとまもいとまへも横いとま池三徹

11 72 | 01 衛門督はえもんのかみは榊三明飯えもんのかみ(ウ)は「後補」明

11 72 | 01 かしナシ穂

11 72 | 02 思ふことのおもふ事榊思事へ三

11 72 | 03 かなはぬへかなはぬ池

11 72 | 03 うれはしさをうれはしき(□)を飯

11 72 | 03 思ひわひておもひて玉

11 72 | 03 御あねの御あね「一」徹

11 72 | 03 二宮を二の宮を榊陽明飯

11 72 | 03 えたてまつりてけるえたてへまつりてける池えたてまつりける肖たてまつりてける

穂

11 72 | 04 下らうのけらう横池下らうに池

11 72 | 04 おはしましければおはしへましければ

証

11 72 | 05 おもひなすらふれは思ひなそらふれは榊

穂なすらふれは陽※

11 72 | 05 こよなくこよなう横池

11 72 | 05 おはすれとおはすれとも肖徹証正

11 72 | 06 なくさめかたきなへての玉なくさめかた

へぎ証

11 72 | 07 なをへ猶イ三

11 72 | 07 したの心したの心は横池

11 72 | 07 わすられすわすれす横池わすられす榊わすれぬ陽肖穂玉徹証正

11 72 | 08 こ侍従少侍従池

11 72 | 08 御侍従の御侍従の肖侍従の穂こしうの玉

11 72 | 08 めのとのむすめなりけりそのめとのめのとへむすめなりけりそのめとのの榊

11 72 | 08 なりけりなり玉

11 72 | 08 そのめのととのそのとの陽そのめのと

の証

11 72 | 09 あねそあねは飯

11 72 | 09 かのナシ横榊この陽穂玉へかの徹

11 72 | 09 かの君の君の君の「朱」大

11 72 | 09 なりければなりければ「は摩滅」正

11 72 | 10 また又穂

11 72 | 10 宮宮の榊穂

11 72 | 10 おはしましおはしましを横

11 72 | 10 きよらになむきよらに榊きよらぬ(に)なむ明

11 72 | 10 みかとの御心の飯

11 72 | 11 かしつきかしつきに玉

11 72 | 11 きをきたてまつりてきおきて穂

11 72 | 11 おもひも思ひ横池穂玉※

11 72 | 11 つきそめたるつきそめ給える玉

11 72 | 12 なりけりなり三

11 72 | 12 ほとナシ玉

11 72 | 12 すくなくすくなう肖穂徹証正

11 72 | 13 こしうを少侍従を池侍従を穂小侍従玉

徹証正

11 72 | 13 いみしういみしく横池玉

11 72 | 13 かくナシ陽

11 72 | 14 いのちもいのちも榊

11 72 | 14 たふましくたゆましく横池

11 72 | 14 御ありさまを御ありさまをも玉

11 73 | 01 きこしめさせてきこしめさせて「えノ上カラしヲ書ク」榊きこしめさせてと玉

11 73 | 01 たのもしきにたのもしき榊たのもしきに

穂

11 73 | 01 するしのするし榊徹※

11 73 | 02 いみしくいみしう陽穂玉

11 73 | 02 院のうへ院の御う玉

11 73 | 02 かけくしてかふかけかくして穂

11 73 | 03 やうにて様にて穂

11 73 | 03 おほとこのこもるおほとこのこもれる横池玉御とのこもる穂

11 73 | 04 ついてにもついてに三

11 73 | 04 くいおほしたるくひおほせ(し)たる榊

11 73 | 04 御けしきにてけしきにて穂

11 73 | 04 おなしくは同は穂

11 73 | 05 しためむにはまめやかにつかうまつるへき人をこそナシ穂

11 73 | 05 人をこそをこそ陽

11 73 | 06 のたまはせてのたまはせて榊※

11 73 | 06 女二の宮の女二宮の榊池明穂飯女二の宮玉

11 73 | 06 ゆくすゑななき行すゑのなきき穂

11 73 | 07 ものし給なるものし給榊

11 73 | 07 事とこの横こと池けに穂

11 73 | 08 御すちとは御すちへとは池御すちと陽御すちには玉すちとは飯

- 11 73 08 きこえしかとき、しかと陽
- 11 73 08 それはナシ横玉
- 11 73 09 こし、う少侍従池こ侍従は肖三こ侍従は肖侍従穂ナシ玉
- 11 73 09 いてナシ池陽穂玉徹証正いて池※
- 11 73 10 それをそれとそれを徹証正
- 11 73 10 たてまつり給てたてまつりて横池※
- 11 73 10 いかやうにさやうに穂
- 11 73 11 さこそはさこそは物は肖さこそは物はい
- 三
- 11 73 11 かつしけなくかつしへけなく玉
- 11 73 11 をよひけるおもひける飯
- 11 73 12 さまはさる(ま)は肖
- 11 73 12 なとてかはなとてかは肖
- 11 73 12 さふらはさらましさふらはまし肖こふらはさらまし飯※
- 11 73 13 すこしのすこしの徹
- 11 73 14 侍なるをはへなるを横池三明飯はへるなるを榊玉
- 11 74 01 事にて、ことにて、横池陽三明穂玉飯ことにて、三ことにて、後補明
- 11 74 01 ねんころにねんころに「に八行中へ後補」榊
- 11 74 01 給ふに給はんに横池陽肖三穂玉
- 11 74 01 たちならひたちならひ榊
- 11 74 01 きこえさせきこえ横池
- 11 74 02 物しくものしく榊
- 11 74 03 うちこはさにえいひはて給はていまはよしす

- 11 74 03 えいひはて給はてはいひはて給はて池穂え(は)いひはて給はて池
- 11 74 04 かたを方穂
- 11 74 05 この心のこのころ(心)の大このころの陽明心の徹証正※
- 11 74 05 うちにうちに榊中に池穂※
- 11 74 05 きこえさせつへくきこえさせつへく池きこえさせ給へく徹証正
- 11 74 06 おほけなきおほけなき横おほけなき池いとおほけなき陽穂玉徹証正※
- 11 74 06 すへて補入横
- 11 74 06 み給へみえ給へ穂
- 11 74 06 いとおそろしければ思ひはなれて侍りとのたまへナシ飯
- 11 74 06 いとナシ陽穂玉徹証正
- 11 74 07 おほけなきおほけなき肖
- 11 74 07 いか、はいか、横池
- 11 74 07 むくつけきむへくつけき榊※
- 11 74 08 なにしになしに玉
- 11 74 08 はちふくはちふくて池きこゆれと穂
- 11 74 08 いてナシ穂
- 11 74 08 きにくきにくの明
- 11 74 09 給へけれ給けれ池
- 11 74 10 あるやうある様穂
- 11 74 10 たくひなくやはたくひへなくやは三
- 11 74 10 御ありさまよ御ありさまにも榊御ありさまに穂正

- 11 74 11 いと、いと、飯
- 11 74 11 おほかるらむおほからん徹証
- 11 74 12 やうに様に穂
- 11 74 12 きこえへきこえ池
- 11 74 13 きはのきは陽
- 11 74 13 御方へに御かたへに(のイ)三
- 11 74 13 たちまじりたり(ち)まじり徹
- 11 74 13 ことも事とも、玉
- 11 74 13 めさましけなるめさましけなるか横めさましけなる榊※
- 11 74 14 侍りや侍や池穂侍りや玉侍るや「る力」
- 正
- 11 74 14 世中は世中玉
- 11 74 14 いとナシ陽
- 11 74 14 つねなきつねなき穂つねな飯
- 11 74 14 ひときはにひと「き」わに陽※
- 11 74 14 はしたなくはしたなくひなく榊
- 11 74 14 つきりなるつきりなる横つきりなる「大成」、ニミセケチトスルガ如何「池」ついきりなる穂ふつきりなる玉※
- 11 75 01 なのたまひそよとのたまひそと穂
- 11 75 01 おとされ給へるをとされ給へる池※
- 11 75 01 御ありさま御有様穂
- 11 75 02 給へきにやは給へきにや榊
- 11 75 02 これはこれに飯
- 11 75 02 世のつねのかの常の穂
- 11 75 02 侍らさめり侍し(ら)さめり「朱」大はへら
- はさめり榊侍らさんめり穂玉

- 1175-03 御うしろみなくて御うしろみながら
飯
- 1175-03 たよはしくたよはして玉
- 1175-03 おやさまにとおやさまにへと横をやさまに
も池をやさまにと穂
- 1175-04 きこえ給しかはかたみにきこえ思ひかはしき
こえさせ給ためれきこえへ給しかはかたみに
にきこえ思ひかはしきこえさせ給ためれ
- 徹
- 1175-04 きこそこそ玉
- 1175-04 きこえさせきこえさせ「削訂有」榊きこえ
- 三
- 1175-04 ためれたんめれ穂
- 1175-05 ことにことはに榊
- 1175-05 いひこしらへていひこしらへ玉
- 1175-05 まことはまことに横池三
- 1175-06 よになきになき飯
- 1175-07 うちとけてうちとけて横
- 1175-07 御覽せられんとは御覽せられとは飯
- 1175-08 ものこしにてものこしに陽三のこしにて
穂
- 1175-08 許ははかり池
- 1175-08 やつれにかはやつれにか榊玉
- 1175-09 仏神にも神仏にも榊陽肖三明穂玉証正
飯
- 1175-09 申すは申すは大
- 1175-10 いとナシ玉
- 1175-10 いひかへしけれいひかへしけれとも三
- 1175-11 思ひのたまふを思ひたまふを榊

- 1175-11 えいなひはてえいなひはて榊池徹え
いひはて玉証
- 1175-11 もしナシ玉
- 1175-11 ひまあらは日もあらは飯
- 1175-12 夜はよは榊池三明玉飯
- 1175-12 み帳の御丁の榊池三明穂玉徹飯
- 1175-12 さふらふてさふらひて横榊池陽三明穂玉徹
飯
- 1175-13 おりをかはおりかは三をりをか玉徹証
正
- 1175-13 ひまをひまと肖
- 1175-14 みつけ侍へるへからむみつけへからむ池み
つけ侍へへからん肖みつけ侍らん穂玉徹証
正
- 1175-14 わひつわひて陽玉
- 1175-14 こうしてこいこかして三
- 1176-01 せうそこせうそを榊玉
- 1176-01 いみしくいみしう榊玉
- 1176-02 まことにまことに陽穂玉
- 1176-02 いとナシ陽穂玉
- 1176-03 ことまてはことまて榊ことまても玉
- 1176-04 いとへいと肖
- 1176-04 ゆふへのゆふへ陽穂玉徹証正
- 1176-04 世とよに夜とよに玉
- 1176-05 けちかくてけちかく肖徹証正※
- 1176-05 みたてまつりみたて穂
- 1176-05 おもふことをおもふことを陽徹証正おも
ふことも穂

- 1176-06 きこえしらせてはきこえしらせては池きこ
えしらせは肖
- 1176-06 ひとくたりの御かへりなともやひとくたりに
をや玉
- 1176-06 御かへり御返榊池穂
- 1176-06 などナシ陽穂
- 1176-06 みせたまふみせ給榊池三明穂飯みせ給ひ
肖みせ給「ヒ」後補カ「三」
- 1176-06 おほししるとそおほししらるとそ「ら」削訂
カ「三」おほしたるとそ穂
- 1176-07 四月十日四月十日あまり徹
- 1176-07 たてまつり給たてまつり給を玉
- 1176-08 わらへわらはへ横榊池陽三明玉徹飯
- 1176-08 ものぬひものぬひ榊
- 1176-09 けさうなとけさうしなと榊けさう陽穂
玉けしやう穂
- 1176-09 思ひまうくるもおもひまうくるも榊おも
ふにまうくるも玉
- 1176-09 御前御まへ横穂玉
- 1176-10 しめやかにしめやかに池陽穂玉しめやか
にて池
- 1176-10 ちかくナシ飯
- 1176-11 おりたるまにおりたるまへまに肖
- 1176-11 たへたへ三
- 1176-12 ちかくはちかく横ちかくは榊
- 1176-12 み帳の御帳の榊池三明玉飯
- 1176-12 ひんかしおもてひむかしおもて明
- 1176-13 すゑつすゑ奉りへつ肖すゑたてまつりイ
つ三

- 11 76 | 13 さまてもさまて横さま(ら)ても池
- 11 76 | 13 宮は 宮玉
- 11 76 | 13 おほとこのこもりにけるを御とのこもりにけるを穂
- 11 76 | 14 けはひのけはい榊※
- 11 76 | 14 おほしたるにおほし(た)るに池
- 11 77 | 01 ゆかのしにもゆかのしもと「とカ」証
- 11 77 | 01 いたき ナシ榊
- 11 77 | 01 ものにものへに三
- 11 77 | 02 あやしくあやしくも三
- 11 77 | 03 むくつけくむへくつけう榊
- 11 77 | 03 人めせと人めせとも榊人をめせと池
- 11 77 | 03 ちかくもちかくへも榊ちかく三
- 11 77 | 04 まいるもなしまいる人もなし陽
- 11 77 | 04 あせもあせは玉
- 11 77 | 05 ものも(へも)榊
- 11 77 | 05 おほえ給はぬけしきおほえ給はす穂
- 11 77 | 05 かすならねとかならすならねと玉
- 11 77 | 05 しも ナシ玉
- 11 77 | 06 思給へられすおもふたまへられす横三
- 11 77 | 06 思ひ給へられす肖玉証正おもひ給へらす
- 11 77 | 06 なむむかしよりなむかしより穂
- 11 77 | 06 ひたふるにひたへるに榊
- 11 77 | 07 やみ侍なましかはやみはへなましかは榊池
- 11 77 | 07 心のうちにくうのうち穂
- 11 77 | 08 こよなく(こよ)なく榊
- 11 77 | 08 もてはなれてももてはなれても肖

- 11 77 | 08 のたまはせさりけるにの給はさりけるに池
- 11 77 | 09 かけそめ侍てかけそめて三
- 11 77 | 09 ふかき ナシ穂
- 11 77 | 10 心さしを御心さしを玉
- 11 77 | 10 むなしくなし侍ぬるむなしく侍ぬる陽
- 11 77 | 11 思給へかへせとおもふ給へかへせと横池三
- 11 77 | 11 侍にけるにか侍けるにか穂玉飯
- 11 77 | 11 そへてそへ横池
- 11 77 | 12 もつらくも ナシ穂
- 11 77 | 12 むくつけくもむつけくも榊むくつけく穂
- 11 77 | 12 あはれにもあはれに玉
- 11 77 | 12 思給へまさるにおもふたまへまさるに「横未見」横榊池明飯おもひたまへまさるに穂
- 11 77 | 13 かくへかく榊
- 11 77 | 13 さまを 様を穂 わさ(ま)を徹
- 11 77 | 14 心もくろは横池
- 11 77 | 14 侍るましと侍らましと玉
- 11 78 | 02 ならばなどは飯
- 11 78 | 02 いと心うくて ナシ玉
- 11 78 | 03 めさましくおそろしくてめさましくて穂
- 11 78 | 03 ひたふる心もひたふるなる心も横榊池陽肖
- 11 78 | 03 ひとふる(こ)ろも穂

- 11 78 | 03 つき侍れつき侍つれ穂
- 11 78 | 03 うけたまはりてうけ給て穂玉
- 11 78 | 04 まかてまかりて横まかて池
- 11 78 | 04 よろつによるへつに横
- 11 78 | 04 よそのその穂
- 11 78 | 04 いくしくいくしう穂
- 11 78 | 05 みえたてまつらむ事もみえたてまつらんも
- 11 78 | 05 はつかしくはつかしう榊
- 11 78 | 05 給に給ぬ穂
- 11 78 | 05 た ナシ陽
- 11 78 | 05 おもひつめたる(へ思)つめたる榊
- 11 78 | 06 かたはしきこえしらせてかたはしもへきこえしらせて徹
- 11 78 | 07 なつかしくなつかしう榊
- 11 78 | 08 いみしくいみしう玉
- 11 78 | 08 こそ事は横池
- 11 78 | 09 いつちも(いつち)も穂
- 11 78 | 09 かくしかへ(く)し「朱」大
- 11 78 | 10 さまならずさるならす飯
- 11 78 | 10 あとたえてあとたてて飯
- 11 78 | 10 た(た) (さて)「後補」明
- 11 78 | 11 まとろむともなきまとろむとしもなき横池
- 11 78 | 11 手ならし(て)ならし、榊
- 11 78 | 11 いと ナシ徹
- 11 78 | 12 きたるをきたる玉
- 11 78 | 12 わか我玉徹
- 11 78 | 12 おほしきをおほえしを徹証正

- 11 78 12 なにしにたてまつりつらむと思ふほとにおとろきてへなしにたてまつりつらむと思ほと
- におとろきてへ飯
- 11 78 12 なにしになにしにや玉
- 11 78 13 たてまつりつらむとたてまつらんと榊徹証
- 正たてま「つりイ」つらんと正※
- 11 78 13 みえつるならむ「見えつらむ陽※
- 11 78 14 あさましく「あさましう陽肖穂玉徹証正
- 11 78 14 おほえ給はぬに「おほえねは徹
- 11 78 14 おほしをほほるゝを「おほしおほるゝを横池
- 陽徹証正「おほさるゝを「肖ハ削訂アルカ」肖
- 穂「おほしほるゝを玉
- 11 79 01 おもほしなせ「お【も】ほしなせ明「おもほしな
- 「しカ、もカ」玉
- 11 79 02 うつし心には「うつゝ心には玉
- 11 79 02 なむ「な」ん榊
- 11 79 02 おほえ侍「おほえはんへる穂
- 11 79 02 かの「なをかの横「榊かの池
- 11 79 02 みすの「御すの玉
- 11 79 03 ゆふへの「ことゆふへ」の「こと明
- 11 79 03 さはた「さはた榊※
- 11 79 04 いかてかは「いかてへかはへ」榊「いかてか池三
- 玉
- 11 79 04 かなしく心ほそくていとをさなけにへ「かなしく心ほそくていと【お】さなけに榊
- 11 79 04 かなしく「かなしう玉
- 11 79 05 みたてまつりてへ「みたてへ」まつりて横
- 11 79 06 御涙をへ「御」なみたを榊「なみたを飯
- 11 79 06 そては「そはて穂

- 11 79 07 いかゝは「いかゝ穂玉
- 11 79 07 きこえさせむ事も「きこえさせんとことも
- 飯
- 11 79 08 きこえ「きこえ榊
- 11 79 09 わひしくて「わひしくへて」肖
- 11 79 09 物のものも玉
- 11 79 10 いとうしと「いとうし」と榊「いとをしと玉ナ
- シ飯
- 11 79 11 いと「いと」とヲ削ッテいヲ書ク」榊
- 11 79 11 すてかたきに「すてかたきに三
- 11 79 13 さまなどは「さまならば「飯ハとトラガ紛レル
- 傾向アリ」横榊池陽肖三穂玉徹証正飯「さまな
- と(ラ)は「後補」明
- 11 79 13 にても「にて穂
- 11 79 14 いかにしつるそと「いかにしはへるそと
- 飯
- 11 79 14 ひきひろけて「ひきあけて玉
- 11 79 14 とを「と榊
- 11 79 14 「ヲ」しあけたれは「しあけたれは徹証正
- 11 80 01 みなみのとの「みなみの穂
- 11 80 01 いらしか「いらし方穂
- 11 80 01 またあきながらあるに「またあきながらあるに」池「又あきながらあるに穂「またあけな
- らあるに玉
- 11 80 01 またあけくれの「あけくれの榊
- 11 80 02 ほのかにも「ほのかに横榊池陽肖三明穂玉徹
- 証正飯
- 11 80 02 やをら「やをし(ら)「朱」大「やはら穂
- 11 80 04 をとし「をし玉

- 11 80 05 ものも「物横榊池穂
- 11 80 05 おほせと「し給へと横榊池陽肖三明穂玉徹証
- 正飯
- 11 80 06 あけゆくに「あけゆく三
- 11 80 06 あはたゝしくて「あはたゝしくて榊「あは(は)たゝしくて飯
- 池
- 11 80 06 ゆめかたり「御ゆめかたり横「御ゆめかたり
- 11 80 07 いま「いまは池
- 11 80 07 のとかならず「のとかならず横
- 11 80 08 たちいつる「たちへいつる」榊
- 11 80 09 おきてゆく「おきてへゆく」玉「おきてゆる
- 飯
- 11 80 09 空もしられぬ「空もしくれぬ飯
- 11 80 09 いつくの露の「いつくのつゆの「未見横
- 11 80 09 かゝる袖なりと「かゝる袖也陽穂玉「かゝる袖
- なり(る)穂
- 11 80 10 いてなむ「いてむ陽※
- 11 80 10 なくさめ「なくさみ横
- 11 80 11 みてもやむへく「みてもや(さ)むへく池
- 11 80 12 こゑの「こゑ玉
- 11 80 12 たましひは「たましひへは」横
- 11 80 13 まことに身をはなれて「身をはなれて榊
- 11 80 13 たまはて「給て陽穂
- 11 80 14 ゆめの「夢穂
- 11 80 14 あはむことも「あらんことも玉飯
- 11 81 01 かたきを「かたきを榊
- 11 81 01 ねこの「つねこの榊

- 11 81 01 いとへいと榊
- 11 81 02 いみしきナシ穂
- 11 81 02 身かなみかなき明
- 11 81 03 そらはつかしきそらはイ無つかしき
三めらはつかしき飯
- 11 81 03 などもなとへも榊
- 11 81 03 御ためは御ためには横御ためには池ため
は明玉飯
- 11 81 04 心ちにも心ちも穂飯
- 11 81 04 中にもなかにも横池穂
- 11 81 05 御めをもとりあやまちて御めをもとよりあや
まちて横御めをもとよりあやまちて池
- 11 81 06 かはかりかはかり陽かはり玉※
- 11 81 06 ならむならむ事も徹
- 11 81 06 くるしくもくるしく横榊陽肖三明穂玉徹証
正飯くるしかるましく池
- 11 81 07 おほゆまししかおほゆましきか横池おほゆ
るましきか池おほゆましか穂おほししか
玉おほゆるまししか飯
- 11 81 07 つみにはつみにへは榊
- 11 81 07 あたらすともあたらすと榊あたらす陽あ
夕らすとも朱三あらすとも玉
- 11 81 08 おそろしくをしそろうく穂おろしく飯
- 11 81 08 はつかしくはつかしう榊
- 11 81 08 きこゆれときこゆれとも穂
- 11 81 09 うはへはうはへは朱大うへは横池
陽肖三明穂玉徹証正飯うはへは三
- 11 81 09 ゆへありゆえありと玉
- 11 81 09 こめかしきにもこめかしきに陽

- 11 81 10 そひたるこそつかひたるこそ穂
- 11 81 10 かゝることにかゝること横池
- 11 81 11 これはこれはにノ上カ方は書ク飯
- 11 81 12 みきつけたらむきつけたらん横玉
- 11 81 12 やうにやう飯
- 11 81 12 はつかしくはつかしう榊
- 11 81 12 おほざるればおもほざるれば横おほゆ
れは陽
- 11 81 13 所にたに所へにたに徹
- 11 81 13 えみさりえみさり榊
- 11 81 13 いてたまはず出はず徹
- 11 81 13 身事飯
- 11 81 13 おほししるへしおほしゝらるへし穂
- 11 81 14 なむとなど榊
- 11 81 14 ありければありけれどは池
- 11 81 14 いみしくいみしき陽穂玉
- 11 81 14 御心を心を横未見横池
- 11 82 01 うちそへてそへて徹
- 11 82 02 ことも事にも池も穂※
- 11 82 02 はちらひしめりてはちらひてしめりて
玉
- 11 82 02 さやかにもさやかにも横さはやかにも
玉
- 11 82 03 いとひさしくひさしく横榊池陽肖三明穂玉
徹証正飯
- 11 82 03 うらめしくうらめしう陽肖穂玉徹証正
- 11 82 03 おほすにやとおほざるにやと榊おほすに
や穂
- 11 82 04 きこえ給てきこえ給はて玉

- 11 82 04 いまはのいまはへに三いまは飯
- 11 82 04 とちめにもとちめにへも榊
- 11 82 05 をろかなるおろかなるへき玉
- 11 82 05 なんへなんイ三む穂
- 11 82 06 さまに御さまに玉
- 11 82 06 侍にこそ侍そ横榊三明徹証正飯侍池陽穂
玉侍ぞ池侍へにこイそ三侍る玉
- 11 82 07 給はぬも給はぬを横池穂
- 11 82 08 心くるしく心くるしう横池玉心くるしう
池
- 11 82 08 なみたくましくなみたくましう榊
- 11 82 10 きむたち君たち肖
- 11 82 10 かきつれきてつれきて穂
- 11 82 10 いひそのかせといひそろかせと穂
- 11 82 11 もてなしてもてなし徹証正
- 11 82 11 たまへりたまふへり大
- 11 82 11 さまにさまにて横さまにて池
- 11 82 13 なかめあたまへるになかめへる給へるに三
※
- 11 82 13 わらはへのわらへの穂玉
- 11 82 13 みたまひて見て榊玉※
- 11 83 01 神のゆるせる神のふるせる玉
- 11 83 01 かさしならぬにかたしならぬに横池かた
さしならぬに未見横かさしなれとも
玉
- 11 83 01 とおもふもへと思ふも徹思ふも証正
- 11 83 02 いといと三ナシ玉
- 11 83 02 などをなとも穂

- 11 83 | 03 おほゆ | おほゆる肖明徹証正飯 | おほゆ(る)
- 明
- 11 83 | 03 女宮も | 女宮の穂
- 11 83 | 04 みしられ給へは | みしり給えは玉
- 11 83 | 04 はつかしく | はつかしう榊
- 11 83 | 05 女房なども | 女房など横榊肖三明飯 | 女房たち
- 池
- 11 83 | 05 のとやかなれば | のと(や)かなれば池肖
- 11 83 | 06 ひきまさくりて | ひき(ま)きくりて証 | ひきま
- くりて正
- 11 83 | 06 けはひも | けはひ(も)榊 | けはひ徹
- 11 83 | 07 なまめかしけれと | なめまかしけれと池
- 11 83 | 07 おほゆ | おほざる(ゆ)榊
- 11 83 | 09 かさしなれとも | かなしなれとも飯
- 11 83 | 09 かきすすきひみたる | かきすまひ(ゐ)たる
- 飯
- 11 83 | 10 いと | ナシ徹
- 11 83 | 10 しりう事 | しるう事池
- 11 83 | 11 ふとも | ふとしも陽穂
- 11 83 | 11 たちかへり | (たち)かへり三
- 11 83 | 11 しつ心なく | しつこ(ろ)なく横
- 11 83 | 12 なに | こともなに(こ)とも徹
- 11 83 | 12 おほしわかれす | おほしわかす池
- 11 83 | 12 みちの程の | みちのほと横玉 | みちのほとも
- 横道程池 | みちのほと(の)三
- 11 83 | 13 けに | ナシ肖徹証正 | けに肖
- 11 83 | 13 かの院は | かの院には横池
- 11 83 | 13 おほちまで | おちまで飯
- 11 83 | 13 人 | 人イ三

- 11 83 | 13 との | うち殿、中池※
- 11 83 | 14 いら給へれば | いら給つれば証正
- 11 83 | 14 日ころは | (日)ころは榊
- 11 84 | 01 みえたま | へるを見えたまひつるを陽穂玉徹
- 証正※
- 11 84 | 01 には | かになんにはかなん正
- 11 84 | 01 かきり | かきりは横榊池陽肖三明玉飯 | かきは
- 穂
- 11 84 | 02 さまとも | さまも横榊池
- 11 84 | 02 みす法 | とものみしゆ法もの穂 | 御すほう
- とも玉御す法とも徹証正 | みす法とも証
- 正
- 11 84 | 02 そう | なども僧とも玉
- 11 84 | 03 まか | てねまかむてね穂 | まかてぬもあれ
- 玉
- 11 84 | 03 さら | は(は)榊 | さら(に)三
- 11 84 | 04 お | ほしはへる | おほしはつる「穂証ヨイカ、飯
- 毛微妙」横榊池陽肖三穂玉徹証正飯 | おほしは
- へる「つハ多ク字母川デ書ク」明※
- 11 84 | 04 あ | さましさに | あさましき玉
- 11 84 | 04 な | にかは | なにことをかは横池
- 11 84 | 05 物 | のけの「モ」の(一)けの池
- 11 84 | 05 か | くかう陽肖穂玉徹証正
- 11 84 | 06 願 | ともを願を玉
- 11 84 | 06 け | んさけさ池
- 11 84 | 06 か | きりめしあつめて | かきりめしあ(つ)めて
- 玉ナシ徹証正
- 11 84 | 07 御 | いのちにて | いのちにて三 | 御命までにて
- 穂

- 11 84 | 07 た | しましは | したしましは「のノ上カラ
- 先出しヲ書ク」榊
- 11 84 | 08 不動 | 尊の御本の | ふとうそのの御もとの「トル
- カ」穂 | 不動の玉
- 11 84 | 08 あり | ある池
- 11 84 | 08 かけ | とめたてまつり | かけとめた(へ)ま
- (つ)り大 | かけもとめたてまつり「未見」
- 横 | かけとめ榊 | かけもとめたてまつり池 | かけとめ三※
- 11 84 | 08 た | まへと | 給へ穂 | た(ま)へと証
- 11 84 | 09 ま | ことに | ことに横 | (ま)ことに池 | ナシ
- 玉
- 11 84 | 09 くら | けふりを | くらけむりを玉
- 11 84 | 10 み | あはせ給へ | 見あはせ給へと飯
- 11 84 | 10 あ | へなく | あえなし(ク)「複製ニハ傍記ミエ
- ズ」三
- 11 84 | 11 ほ | とナシ三
- 11 84 | 11 え | みす | みす玉
- 11 84 | 11 こ | の身の榊
- 11 84 | 11 く | やしく | やしう玉
- 11 84 | 11 かな | しきを | とかなしきを玉
- 11 84 | 11 お | ほしまと | へるおほした(ま)と(へ)る横
- 11 84 | 12 心 | 地とも | 心とも池 | 心地とも、三 | 心ちも
- 穂
- 11 84 | 12 た | ナシ三 | 徹(た)イ三
- 11 84 | 13 御 | 心の内を | 御心の中を玉
- 11 84 | 13 い | てこぬ | いてぬ玉
- 11 84 | 14 う | れしくも | うれしうも榊
- 11 85 | 01 ゆ | しくも | ゆしく(も)三 | ナシ玉

- 11 85 | 01 おほしきはかる | おほしきはくか玉
- 11 85 | 01 人は人玉
- 11 85 | 01 さりね | さりぬ(ね)池 | さりぬ玉
- 11 85 | 02 てう | しわひさせ給かな | さけなく | つらけれ | ナシ穂
- 11 85 | 03 おほし | しらせむと | おほし | 見せんと | 穂
- 11 85 | 04 かく | ナシ陽
- 11 85 | 05 心の | こりて | 心の | こりて | 陽
- 11 85 | 05 かく | まても | へ | かく | まても | 榊 | かく | まて | 飯
- 11 85 | 05 心くる | しさを | 心くる | しさを | も | 陽穂 | くる | しさを | も | へ | 玉
- 11 85 | 06 え | みすく | きて | みすく | きて | 横池玉 | え | みすく | きて | 穂
- 11 85 | 06 かく | まても | へ | かく | まても | 榊 | かく | まて | 飯
- 11 85 | 07 なく | なけく | 玉
- 11 85 | 07 かの | むかし | へ | かの | むかし | 「朱」大 | むかし | 横
- 榊池陽肖三明穂玉徹証正飯
- 11 85 | 07 もの | けの | さま | もの | けの | さま | 横
- 11 85 | 07 み | えたり | 見え | たる | 徹証 | 正
- 11 85 | 07 あ | さま | しく | あ | さま | しく | 陽
- 11 85 | 08 む | く | つ | け | し | と | む | へ | く | つ | け | し | と | 榊
- 11 85 | 08 わ | ら | は | の | わ | ら | は | へ | の | 陽 | は | ら | は | の | 証
- 11 85 | 09 さ | ま | あ | しく | も | さ | ま | は | しく | も | 「は | カ」 | 穂
- 11 85 | 09 よ | から | ぬ | へ | よ | から | ぬ | 榊
- 11 85 | 10 物の | ナシ玉
- 11 85 | 10 た | ふ | れ | たる | か | た | は | ふ | れ | たる | か | 「後 | 補」 | 明 | た | は | ふ | れ | たる | か | 穂
- 11 85 | 10 い | ひ | つ | る | も | い | ひ | 出 | も | 三
- 11 85 | 11 あ | なる | を | あ | ん | なる | を | 穂

- 11 85 | 11 又 | へ | また | 池 | ナシ | 肖
- 11 85 | 11 思 | ひ | いて | ら | れ | ぬ | 思 | いて | ぬ | 玉
- 11 85 | 12 さ | て | な | む | さ | て | ん | な | む | 穂
- 11 85 | 12 し | む | す | へ | き | し | む | せ | ら | る | へ | き | 陽
- 11 85 | 14 空 | お | ほ | れ | する | そ | ら | お | ほ | へ | え | する | 榊
- 11 85 | 14 き | み | は | 君 | 也 | き | み | は | 君 | 也 | 「朱」大
- 11 85 | 14 つ | ら | し | つ | ら | し | 池 | つ | ら | し | 徹 | 証
- 正
- 11 86 | 01 さ | す | かに | さ | す | かに | 榊
- 11 86 | 01 も | の | は | ち | した | る | も | の | は | ち | する | 玉
- 11 86 | 01 け | は | ひ | け | は | ひ | 榊
- 11 86 | 01 か | は | ら | す | か | なら | す | 玉
- 11 86 | 02 物 | い | は | せ | し | 物 | も | い | は | せ | し | 陽 | 穂 | 玉
- 11 86 | 02 中 | 宮 | の | 宮 | の | 玉
- 11 86 | 02 う | れ | しく | う | れ | しく | 穂 | 玉
- 11 86 | 03 あ | ま | か | け | り | て | も | あ | ま | け | り | て | も | 穂 | あ | さ | け | り | て | も | 飯
- 11 86 | 04 ふ | かく | ふ | かく | 「カ | アル | カ」 | 穂
- 11 86 | 04 つ | ら | し | と | つ | ら | し | と | 証
- 11 86 | 04 心 | の | し | ふ | 心 | の | ふ | し | 玉
- 11 86 | 05 な | り | ける | な | り | 徹 | 証 | 正
- 11 86 | 05 その | な | か | に | も | その | な | か | に | も | 横 | 榊 | 池 | 明 | 穂 | 徹 | 証 | 飯
- ※
- 11 86 | 05 い | きて | の | よ | に | い | きて | よ | に | 玉
- 11 86 | 05 お | ほ | し | す | て | し | よ | り | も | お | ほ | し | す | て | し | よ | り | も | 「朱」大
- 11 86 | 06 思 | ふ | と | ち | の | 思 | ふ | と | ち | 陽
- 11 86 | 06 御 | 物 | か | た | り | の | 御 | も | の | へ | か | た | り | の | 「補 | 入 | 符 | 号」 | 明

- 11 86 | 07 う | ら | め | しく | う | ら | め | しく | 榊
- 11 86 | 08 は | ふ | き | い | は | ふ | き | 榊 | は | ふ | し | 陽
- 11 86 | 08 給 | へ | と | 給 | へ | か | し | と | 横 | 給 | へ | か | し | と | 池
- 11 86 | 08 こ | そ | 思 | へ | と | ナシ | 陽 | 穂
- 11 86 | 08 う | ち | う | ち | 「ヨ | イ | カ」 | 穂
- 11 86 | 09 と | ころ | せ | き | な | り | と | ころ | せ | き | な | り | 正
- 11 86 | 09 こ | の | 人 | を | その | 人 | を | 玉
- 11 86 | 10 ま | も | り | つ | よ | く | ま | も | り | つ | かく | 穂 | ま | も | り | め | つ | よく | 徹
- 11 86 | 10 御 | あ | た | り | あ | た | り | 穂 | 飯
- 11 86 | 10 ま | い | ら | す | ま | い | ら | 「せ | い」 | す | 「朱」大
- 11 86 | 11 ほ | の | か | に | な | む | き | 侍 | る | ほ | の | か | に | へ | な | ん | き | へ | は | へ | る | 明
- 11 86 | 11 よ | し | ま | し | 池
- 11 86 | 11 つ | み | の | つ | み | 横 | 榊 | 池 | 陽 | 肖 | 三 | 明 | 穂 | 玉 | 徹 | 証 | 飯
- 11 86 | 11 か | ろ | む | は | かり | の | か | ろ | む | る | 許 | の | 徹
- 11 86 | 12 す | 法 | と | 経 | と | す | 法 | と | 経 | と | し | 穂 | と | す | 法 | と | 経 | と | 証
- 11 86 | 12 事 | も | こ | と | に | も | 玉
- 11 86 | 12 身 | に | は | 身 | ひ | と | つ | に | は | 榊
- 11 86 | 12 くる | しく | くる | しく | 飯
- 11 86 | 13 ま | つ | は | れ | て | ま | と | は | れ | て | 穂
- 11 86 | 14 つ | た | へ | き | こ | え | 給 | へ | つ | た | へ | き | こ | え | 給 | 徹
- 11 86 | 14 ゆ | め | ゆ | め | 横 | 榊 | 池 | ゆ | め | 池
- 11 86 | 14 宮 | つ | か | へ | の | 御 | 宮 | つ | か | へ | の | 横 | 榊 | 池 | 陽 | 肖 | 三 | 明 | 穂
- 玉徹証正飯
- 11 86 | 14 人 | と | 人 | へ | と | 三
- 11 86 | 14 そ | ね | む | 心 | そ | ね | む | 心 | そ | ね | む | 心 | 陽 | そ | ね | ん | こ | ろ | 穂 | 玉

- 11 86 14つかひたまふなつかひし給な榊
- 11 87 01齋宮に齋宮へに榊
- 11 87 01かるむかるむ榊明飯
- 11 87 02ことになむ事になん「にハ行末後補力」
- 榊
- 11 87 02いひつゝくれといひつゝくれとも陽玉
- 11 87 02ものゝけにものゝけと玉
- 11 87 03ふむしこめてふしむこめて「しとむト反転ノ符号アリ」榊ふうしこめて陽肖穂玉徹証
- 正
- 11 87 04給にけりたまふにけり三
- 11 87 04みちてもりて飯
- 11 87 05ゆゝしくゆ〇しく飯
- 11 87 05けふのけふかの横池
- 11 87 05かへさみにかへさひに榊穂かへさに
- 陽
- 11 87 05いて給ひけるいて給にける横三
- 11 87 06かくかへく横
- 11 87 06申せは(まねひ)申せは徹
- 11 87 06いみしきことにもいみしき(き)ことにも
- 明
- 11 87 07かないけるナシ玉
- 11 87 07ありつるある穂玉
- 11 87 07ひかりうしなふひとりうらなふ飯
- 11 87 07あめはあめ玉
- 11 87 07そほふるそほふる榊ふる玉そをふる「トルカ」証
- 11 87 08ありありけり玉
- 11 87 08たらひぬるたらひたる玉

- 11 87 08えなからぬえなから(か)ぬ池えなからぬ穂玉飯
- 11 87 09なにをさくらにとなにをさくらと玉
- 11 87 09いふふる事もいふなることも徹証
- 11 87 09いとゝナシ横池
- 11 87 10たのしひをたのしみを玉
- 11 87 10人ナシ玉
- 11 87 10二品宮は二品の宮は肖穂徹二品宮の玉
- 11 87 10もとのもの陽
- 11 87 11おされたりつるをされつる陽※
- 11 87 11うちさゝめきけりへうちさゝめきけり池
- 11 87 12衛門督ゑもんのかみ榊明飯
- 11 87 12きのふ昨日は榊
- 11 87 12くらしかたかりしをいとくらしかたかりしを「横未見」横榊池肖三穂玉いとくらしかたかりしことを陽
- 11 87 12思ひて思ひいて榊「思てイ」三おもひいてゝ玉
- 11 87 12御おとうとも御おとうとも穂
- 11 87 13のせて入せて飯
- 11 87 13み給けり見給ける玉
- 11 87 13むねうちつふれてむねうちつふれて「ふくヲ削ツテツヲ書ク」榊むねつふれて肖
- 11 87 14うちすしうちすんし三穂
- 11 87 14みなへみなイ三
- 11 88 01たしかならぬたりしかならぬ証
- 11 88 02給へるに給つるに穂
- 11 88 02なきなけき陽

- 11 88 02さはけはなさはけは穂
- 11 88 02たちさはきた(う本)ちさはき三
- 11 88 02式部卿宮もしきふ卿の宮も榊明飯式部卿宮にも三
- 11 88 03おほしほれたるおほしいれたる飯
- 11 88 03いり給まいり給横まいり給池
- 11 88 03人の人々の横池陽肖三徹証正人玉
- 11 88 03御せうそこも(御)せうそこも「未見」横御消息も穂御消息とも玉
- 11 88 04大将の君大将君池三
- 11 88 04のこひてたちいてなかし(のこひ)てへたちいて横
- 11 88 05人の人陽
- 11 88 05申つれば申侍つれば肖申侍りつれば徹証
- 正
- 11 88 05なむナシ陽
- 11 88 06へたまへるをへ給つるを池へたまへる穂
- 11 88 07この暁よりたえいり給へりつるをナシ玉
- 11 88 07ありけるある(り)ける「朱」大
- 11 88 08きゝなし侍てききなして玉
- 11 88 08みな人みな玉みな人「心ノ上カラ人ヲ書ク」飯
- 11 88 08しつむれとしつむれと榊しつむ(め)れと池しつ(む)い(め)れと三
- 11 88 09心くるしき心く(ル)しき「後補、なヲるニナゾルモ後補」明※

- 11 88 09 なき給へるなけき給へる穂
 - 11 88 10 衛門督ゑもんのかみ榊明飯
 - 11 88 10 わかへわか榊
 - 11 88 10 心ならひにや心ならひに玉
 - 11 88 11 御ことを御事に横榊池陽肖三穂玉
 - 11 88 11 心ナシ榊
 - 11 88 11 めをとゝむめとゝむ穂めをとゝん玉
 - 11 88 11 これかれこへれかれ榊
 - 11 88 13 女房ねうはう明飯
 - 11 88 13 みたりかはしくみたり榊
 - 11 88 13 えのとめすえのとめえす榊
 - 11 88 14 ことさらになむことさらに陽徹証正
 - 11 88 14 ものし給へるものし給へり「りカ」飯
 - 11 89 01 のたまへりの給へる飯
 - 11 89 01 らうろうならすはらうろうならすは徹証
- 正
- 11 89 02 けはひナシ玉
 - 11 89 02 心の内そ心の中そ池徹
 - 11 89 02 かくナシ穂
 - 11 89 02 いきいて給てのいきいて給て肖三穂
 - 11 89 03 おそろしくへおそろしく榊
 - 11 89 03 おほしておほされて玉
 - 11 89 03 又々人(又イ)々三
 - 11 89 03 法ともをほうとも玉
 - 11 89 04 うつし人にてたにうつし人にてたに肖
 - 11 89 04 御けはひの御けはひの榊けはひの陽
 - 11 89 05 たまへらむを給へらんと(を)池給つ覽を
穂たまへらん正

- 11 89 07 ふかきふかき榊ふかな飯
 - 11 89 07 もとゐそかしとものといふかしと玉もとい
そかし徹
 - 11 89 07 なへてのなへて榊なへての池
 - 11 89 07 世中池よの中は玉
 - 11 89 07 世中池よの中は玉
 - 11 89 07 きかさりしきかさりし飯
 - 11 89 08 むつものかたりにむつものかたりへに
池
 - 11 89 08 いひいてたりしにいひたてたりしに徹証
- 正
- 11 89 08 まことま事に(と)榊
 - 11 89 10 御いたき御いたきを飯
 - 11 89 10 するし許するしはかりは榊
 - 11 89 10 五かい許五戒はかりを榊五六はかり
玉
 - 11 89 11 御かいの師御かいの師大
 - 11 89 12 人わるく人わろく横榊池三穂玉
 - 11 89 12 そひみてそひみ給て横榊池陽肖三穂玉徹証
- 正
- 11 89 12 なみたおしのこひ給ひつなみたをしのこ
ひつ池涙を忍(を)しのこひ給ひつ三な
みたをしのこひ給て穂なみたをしのこひ
給つ玉
 - 11 89 13 きこえ給さまきこえさま榊きこえ給さまも
徹
 - 11 89 14 あたりてはあたりて榊
 - 11 89 14 なりけりなり穂
 - 11 89 14 これをこれをは飯
 - 11 90 01 ほれしきまでほれしきとて飯

- 11 90 02 御かほも御かをも「トルカ」明
 - 11 90 02 給にたり給にけり徹証正
 - 11 90 02 五月なとは五月なと飯
 - 11 90 03 えさはやきさはやき陽玉
 - 11 90 04 なやみへなやみ榊ナシ玉
 - 11 90 05 せさせ給日ことにせさせ給ひ肖徹証正せさせ給日ことに(イ無)三※
- シ陽
- 11 90 05 わざわざを三
 - 11 90 05 ちかくてもちかくて玉
 - 11 90 06 みと経御読経穂玉徹
 - 11 90 06 よませ給よませさせ給榊※
 - 11 90 07 こともをことを陽
 - 11 90 07 いへといと(ひつ)徹
 - 11 90 07 この(こ)の明ナシ玉※
 - 11 90 07 いといと榊
 - 11 90 08 いきもたえついまもきえつ陽穂玉
 - 11 90 08 いはむかたなくいはんかたなくのみ玉
 - 11 90 09 御けしきをけしきを陽
 - 11 90 09 心くるしく心くるしう榊
 - 11 90 10 のこるましけれとのこるましければと池の
こひましけれと「ヨイカ」穂
 - 11 90 11 おほしまとふめるにむなしくへおほしまとふ
めるにむなしく池
 - 11 90 11 まとふめるにまとふめるを陽
 - 11 90 11 みなされたてまつらむかみへなされイた
てまつらんか三見なされたてまつらんは玉

※

- 11 90 13 いとナシ徹証正
- 11 90 13 ゆゝしくてゆゝしうて陽肖徹証正
- 11 90 13 六条院六条の院明玉飯
- 11 90 14 えわたり給はずわたり給はず榊玉徹へえわたり給はず三
- 11 91 01 れいのさまれいさま横池
- 11 91 03 夢のやうにゆめのやうにて池ゆめの様に穂
- 11 91 03 宮宮は横榊池陽肖三穂玉徹証正
- 11 91 03 事に御事に玉
- 11 91 04 いみしくいみしう玉
- 11 91 04 給へる給つる穂
- 11 91 04 たにやはたにやは三※
- 11 91 05 なまめきたれはへなまめきたれは榊
- 11 91 05 人めにこそ人めこそ横池
- 11 91 06 御ありさまに御ありさまにのみ陽
- 11 91 07 めさましくめさましく肖穂玉証正めさましと徹
- 11 91 07 わたりナシ陽
- 11 91 07 給は給え玉
- 11 91 07 あはれなるあはれなりける横あはれなる榊あはれなりける池
- 11 91 07 御すくせにそ御すくせにそかくなやみわたり給はあはれなる御すくせにそ飯
- 11 91 08 院の院横榊池
- 11 91 08 ことも御ことも肖三
- 11 91 08 たまさかなるをたまさかなるをと陽肖三穂

- 11 91 10 女きみはひめ君は穂
- 11 91 10 すこしきはやかにもてなし給へりふしなからへすこしきはやかにもてなし給へり□なから
- 11 91 11 給へりしかは給しかは徹
- 11 91 11 まよふまかふ榊飯※
- 11 91 12 すちもなくすちなくて陽肖玉証正すちなく穂徹
- 11 91 12 きよらにけうらに榊
- 11 91 13 さをにさをに横まをに玉
- 11 91 13 御はたつき御かたつき飯
- 11 91 14 らうたけ也らうたけに穂
- 11 91 14 などのやうになとやうに正
- 11 91 14 たよはしけにたよか(は)しけに「朱」大
- 11 91 14 おはすおほす穂おほす証
- 11 92 01 すみ給はてすみはて給はて玉すみ給いて飯
- 11 92 01 すこしナシ徹
- 11 92 01 あれたりつるあれたりつる「るヲ二直ス」陽
- 11 92 01 みゆみゆる玉
- 11 92 02 かくかく池

- 11 92 02 つくろはれたるつくろひたる徹証正
- 11 92 03 うちつけにうちつけ「に」明
- 11 92 03 みいたし給てもあはれにいまへにけるをみいたし給てもあはれにいまへにけるをみいたし給てもあはれにいまへにけるを証
- 11 92 03 みいたし給ても見いたして給ても徹
- 11 92 04 おもほす「ヲ」ほす穂
- 11 92 04 池は「ス」ちは穂
- 11 92 04 すしけにてすしけへにて徹
- 11 92 04 はちすの花のはちすの花徹証正
- 11 92 04 はは横
- 11 92 05 みえわたるを見えわたる肖徹証正※
- 11 92 05 かれあれ池陽肖穂玉徹証正(あ)れ池(あ)れ「後補」明
- 11 92 06 のたまふにの給ふ肖徹証正※
- 11 92 06 みいたし給へるもみ給へるも三
- 11 92 06 いとナシ陽
- 11 92 06 めつらしければめつらしけれ(は)池
- 11 92 08 おりののの横池をりの穂
- 11 92 08 ありしはやとありしやはと「池ハヤトはト反転ノ符号アリ」池陽
- 11 92 08 涙をうけて涙うけて穂
- 11 92 08 あはれにあはれ(に)「朱」大
- 11 92 09 ほとやはふへきほとやはあると玉
- 11 92 09 との給「改行」池玉
- 11 92 10 この世ならてもこのよならては(も)榊
- 11 92 10 はちすはにはちすはの(に)池
- 11 92 10 玉あるつゆのたまある露も玉

- 11 92 | 10 こゝろへたつな心へたつる穂
- 11 92 | 10 いてたまふ「改行」陽玉いてた給明
- 11 92 | 12 まとはしつるまとはし給つる玉
- 11 92 | 13 さへやはさへや榊陽
- 11 92 | 13 たえこもらむとたにこも覽と穂
- 11 92 | 13 給ひぬたまぬ飯
- 11 92 | 14 御心のおに、御心のなに、飯
- 11 92 | 14 はつかしうはつかしく榊三ナシ陽
- 11 93 | 01 ひころのひ△ろ「擦消カ」榊※
- 11 93 | 01 つもりをつもり玉
- 11 93 | 01 さりけなくてさりへげなくて池
- 11 93 | 02 おほしけるとおほしけるに穂
- 11 93 | 02 とかくふ(とイ)かく三(とふ)かく「後補」
明
- 11 93 | 02 こしらへこしらへて飯
- 11 93 | 03 めしてめしいて、横榊肖三めしいて、
池
- 11 93 | 03 さまなとさまかなと穂
- 11 93 | 03 なむとなと榊穂
- 11 93 | 03 御ありさま(御)ありさま明有さま穂
- 11 93 | 04 御ことにもと御事にてと玉
- 11 93 | 04 御心の内には御心の中には榊徹
- 11 93 | 05 人々たにも人にたにも横人々(人々)にたにも「タ
ハ補入カ」池人〈たに玉
- 11 93 | 05 さることなきをさるへことなきを肖
- 11 93 | 05 不定なる不定の穂
- 11 93 | 05 御ことにもやと御事もやと池玉御事にもや
と池※
- 11 93 | 05 おほせはおほせ穂

- 11 93 | 06 あへしらひあひしらひ玉
- 11 93 | 06 給はて給はず三
- 11 93 | 07 わたりたまひしかはわたり給えりしかは
玉
- 11 93 | 08 えかへり給はて見かへり給はて穂
- 11 93 | 08 ほとほとは榊
- 11 93 | 09 おほむことのは御事のは横榊池陽肖三明穂
玉徹飯
- 11 93 | 10 いてやいてや三いて穂※
- 11 93 | 10 御あやまちあやまち横池
- 11 93 | 11 わたりたまへりわたり給へる陽肖徹証正わ
たり給ける穂わたり給ひぬ玉
- 11 93 | 12 心あやまりして心あやま(り)して池心あや
まちして肖証正心あや(まり)して徹
- 11 93 | 12 ことゝもを事玉
- 11 93 | 13 程にナシ陽
- 11 93 | 14 こそいとこそと榊
- 11 93 | 14 心うけれ心心うけれ証
- 11 93 | 14 いとゝいと穂玉
- 11 94 | 01 侍そやみえ侍そや穂
- 11 94 | 01 とてナシ池
- 11 94 | 02 み木ちやう御几帳陽三穂玉徹御(木)丁
三
- 11 94 | 03 えよくもよくも榊三
- 11 94 | 03 さしはさみ給つさしはさませ給つ横池さし
はさみつ榊
- 11 94 | 03 ようさりつかたよさりつかた榊肖三穂玉徹
ようさり(ゆふ)つかた池※
- 11 94 | 04 二条院へ二条の院へ明飯

- 11 94 | 04 きこえたまふきにえ給「ミセケチカ」池
- 11 94 | 05 いまさららにいまさら榊今はさららに肖
※
- 11 94 | 06 ひか〈しくひか〉しく榊
- 11 94 | 06 ゆめゆめ〈横ゆめ〉玉
- 11 94 | 07 れいはなまいはけなきれればなき穂
- 11 94 | 07 たはふれことたはへふれこと肖
- 11 94 | 07 なともなへとも榊など徹※
- 11 94 | 08 うちとけうちとけ榊うちとけて三※
- 11 94 | 08 さやかにもさやうにも玉
- 11 94 | 09 御けしきと(御けしき)と横御けしきに
榊
- 11 94 | 09 たまふひるの給「フ」ひる(ル)の「給ひその
二紛レヤスイユエノ後補」明
- 11 94 | 09 ひるのおましにひるのおましゆに大
- 11 94 | 10 おほとこのこもり御とのこもり穂玉
- 11 94 | 10 いらにけるにいらにけるに榊いらにけり
陽いらにける飯
- 11 94 | 11 おとろき給てさらはおとろき給さららに
玉
- 11 94 | 11 程にとて程にて穂
- 11 94 | 12 なとナシ榊
- 11 94 | 12 物をといと物をは穂
- 11 94 | 13 にくからすかしいとにくからすかし榊
- 11 94 | 13 そのまにもとやそのまにも「と」や陽そのま
にも(とイ)やと三そのまにもとや玉
- 11 94 | 13 おほしてナシ穂
- 11 95 | 01 おきて行らむいて、行覽穂
- 11 95 | 01 かななりなるかななりける飯

- 11 95 | 02 いひいていひいひいて「朱カ」大
- 11 95 | 02 うちなげきたまふうちなげきぬ飯
- 11 95 | 06 給いて給て飯
- 11 95 | 06 まいりさすかにまいり榊ナシ穂
- 11 95 | 06 おほとこのこもりぬ御とのこもりぬ穂
- 11 95 | 06 また又穂
- 11 95 | 06 あさすみあさすみ陽穂
- 11 95 | 07 ほとにへほとに榊
- 11 95 | 07 わたり給はむわたり給らん飯
- 11 95 | 07 とくナシ榊玉徹証正
- 11 95 | 07 よへのよつへへの池
- 11 95 | 07 かほほりをかへほほりを横かうほりを玉
- 11 95 | 08 風ぬるくこそ風ぬるきこそ「さハ□ノ上カラくヲ書イタモノカ」陽
- 11 95 | 08 ありけれありけれ「行末後補カ」榊
- 11 95 | 08 御あふき御あふきを徹
- 11 95 | 08 きのふ昨日の横池
- 11 95 | 09 たちとまりてたちとまり給て榊
- 11 95 | 09 まよひたるまかひたる穂
- 11 95 | 09 あさみとりのあさみとりへの池
- 11 95 | 10 はしふみはし池
- 11 95 | 10 みゆるを見ゆるも陽※
- 11 95 | 11 ひぎいてひぎひて穂
- 11 95 | 11 などなんと池
- 11 95 | 11 かきさまへかきさま榊
- 11 95 | 12 まきるへき方なくまきるへく穂
- 11 95 | 13 み給つみたまひつ又横見給にひつ飯
- 11 95 | 13 御かみおほんかみ横池三明飯

- 11 95 | 13 み給なをみ給横榊陽肖三種へナヲみ給横なを見給へき玉徹証正猶み給へき証み給に飯
- 11 95 | 13 心も心陽
- 11 95 | 13 こしう少侍従池
- 11 95 | 14 みるにみゆるに玉
- 11 95 | 14 いとナシ穂
- 11 96 | 01 などへたと横
- 11 96 | 01 方にめもかためにも「めトにト反転ノ符号アリ」榊※
- 11 96 | 01 あらしあらしと三
- 11 96 | 02 かくいたまひてけむとかくいシて給てけむと「未見」横かくし給てけん池陽肖穂玉かくいし給てけん池かくし給てむと徹証正
- 11 96 | 02 思ひなす思なすにイ三
- 11 96 | 02 なに心もなくなに心なく榊
- 11 96 | 03 おほとこのこもれり御とのこもれり穂玉
- 11 96 | 03 あなあら穂
- 11 96 | 03 かる物をかるもの榊か物を穂
- 11 96 | 04 人も人徹
- 11 96 | 04 おほすもおほすにも玉
- 11 96 | 04 心おとりして心おとりへして飯
- 11 96 | 04 されはよされはよと徹証
- 11 96 | 04 むけに「むけにイ」三
- 11 96 | 05 うしろめたしとはうしろめたとは穂うしろめたしと玉
- 11 96 | 05 みるかしとみるそかしと穂
- 11 96 | 06 人々人へは飯

- 11 96 | 06 よりてよりきて三
- 11 96 | 07 色こそ色こそ「のヲ削ッテこそヲ書ク」榊
- 11 96 | 07 侍つれと侍つれとも大
- 11 96 | 07 あさましとあさましく徹
- 11 96 | 09 いつくにかはいつくにか横池三種いつくにかは陽肖徹証正
- 11 96 | 09 さふらはしとさふらはしとへて「池ノ補入ハ平仮名」横池
- 11 96 | 10 いみをたにいみ玉
- 11 96 | 10 さり「さ」り明
- 11 96 | 10 侍しをはへしを榊明
- 11 96 | 10 ほとへほとへて証
- 11 96 | 11 侍にしをはんへりにしを穂
- 11 96 | 11 給つらむとなむ給へらんとなん横
- 11 96 | 11 思給へしおもふ給へし三明飯おもひ給へし穂玉※
- 11 96 | 12 ふともふと玉
- 11 96 | 12 えおきあからてえをきあからて榊えおきあへて肖三徹証正えをきあかへへら「無イ」て「後補」明えをきあらて穂※
- 11 96 | 12 わすれにけりとわすれにけると飯
- 11 96 | 13 きこえむききえん穂※
- 11 96 | 13 いつくのかはいつくのかは陽肖穂玉徹証正いつくのかは肖いつくのかわ「本二」ト傍記「玉
- 11 96 | 13 かの君もかの君の穂
- 11 96 | 14 いたくいたう榊
- 11 96 | 14 けしきにてもけしきにて榊

- 11 96 | 14 もりきかせ | もりきゝ玉
- 11 96 | 14 あらはと | あらは横池
- 11 96 | 14 きこえ給し | きこえし穂
- 11 97 | 01 御ありさまにて | 御ありさまにへて横
- 11 97 | 02 としころ | 補入横
- 11 97 | 03 思ひ給へし | おもふ給へし横池三明飯思給へし榊陽徹思給へし徹
- 11 97 | 03 御ことかは | 御事へかは榊ことかは穂
- 11 97 | 04 は | かりもなくはかりもなく穂はかりなく徹証正
- 11 97 | 04 きこゆ | きこゆる玉
- 11 97 | 04 わかく | わかう榊へわかく池
- 11 97 | 04 なれきこえ | たるなめりなれきこへためるなめり玉
- 11 97 | 05 なぎにのみ | そなみきにのみそ「たヲき二直ス」池なぎになきそ玉
- 11 97 | 05 なぎ給 | なぎ給乳母そ肖※
- 11 97 | 05 つゆは | かりのへつゆはかりの榊露はかり徹証正
- 11 97 | 06 いまは | いま玉
- 11 97 | 07 給に | たる給たる穂
- 11 97 | 07 心を | くれ給へる心をくれたまつる横心をいれ給つる池
- 11 97 | 07 おと | はおと、はなを飯
- 11 97 | 08 この | ふみのなをこのふみなを「未見」横このふみを猶池なをこの文の玉
- 11 97 | 08 おほ | さるれはおほさるれは三
- 11 97 | 08 うち | 返しつ、うちかくへしつ、池
- 11 97 | 09 中に | なかに榊玉

- 11 97 | 10 あり | へあり横
- 11 97 | 10 年を | へてとしへて玉
- 11 97 | 11 ことの | へことの榊
- 11 97 | 11 ほしい | かなひてほしいゆか）なひて「後補」明※
- 11 97 | 12 いと | 見所ありていとみところありて横いへとみみところありて池
- 11 97 | 12 いと | かくいと穂
- 11 97 | 12 さや | かにさやかに「は」「後補」明さやうには玉
- 11 97 | 13 かや | うにかやうへに横
- 11 97 | 14 こま | かなるへきこまやかなるへき榊
- 11 97 | 14 かき | まきはししかかきまきはししゆか）「朱」大かきまきはししる肖
- 11 98 | 01 この | 人をはこの人をは「削ッテをヲ書ク」榊この人をは「三」この人を穂この人よは飯
- 11 98 | 02 もて | なししなし陽穂玉
- 11 98 | 03 心う | やかく心うや陽心うやかて三
- 11 98 | 03 あり | しなからありしなから明
- 11 98 | 03 人つ | てならず人すてならず池
- 11 98 | 03 しる | しか「穂ハカカ」穂飯
- 11 98 | 04 御心 | なからも御心なから玉
- 11 98 | 05 すさ | ひとすまひと榊すさみと穂
- 11 98 | 05 心を | 御心を榊
- 11 98 | 05 心わ | くらむ心にく覧陽心わくらんよ玉
- 11 98 | 06 ま | してナシ陽
- 11 98 | 06 これ | はこれに飯

- 11 98 | 06 さま | ことにまことに玉
- 11 98 | 07 御め | をも御めを陽
- 11 98 | 07 あり | けれどありけりと穂
- 11 98 | 08 わ | れも人もわれも玉
- 11 98 | 09 心を | 心玉
- 11 98 | 09 お | ほかりぬへきおほかるへき穂
- 11 98 | 10 女御 | 女院横池
- 11 98 | 10 と | あるすちへとあるすち肖あるすち穂「卜」るすち飯
- 11 98 | 10 か | かるかたにかるすかたに榊
- 11 98 | 12 や | うも様も穂
- 11 98 | 12 ふ | としもふとしても玉
- 11 98 | 13 か | くはかりはかり穂
- 11 98 | 14 よ | りもより「玉ハよりもカ」穂玉
- 11 98 | 14 い | つくしくいつくしう榊
- 11 98 | 14 思 | ひはくまむおもひた覧穂思ひはくむ徹証
- 11 99 | 01 さ | らにへさらに池
- 11 99 | 01 つ | まはしきつまはしきを玉
- 11 99 | 01 み | かと、御門に玉
- 11 99 | 02 程 | もほと横
- 11 99 | 03 わ | たくしのわたくしの榊
- 11 99 | 03 の | かし、おのかし、の玉
- 11 99 | 03 み | すくしかたきみすへきかたき穂見過しかたき徹
- 11 99 | 04 心 | かよひ心よひ「よカ」穂
- 11 99 | 04 な | ならひはなへからひへを池
- 11 99 | 04 お | なしなをし横
- 11 99 | 05 よ | るかたありやよるかたあるや飯

11 99 | 05 さはかりの(へさ)はかりの横
 11 99 | 06 ものをと(も)のを(へ)横
 11 99 | 06 けしきに(け)しきに三※
 11 99 | 06 あらす(あ)らすかし玉
 11 99 | 06 なと(ナ)シ肖
 11 99 | 07 御心には御心も陽
 11 99 | 07 しろしめして(や)しろしめして(へ)横
 11 99 | 07 しろすかほを(し)らすかほ玉
 11 99 | 08 思へは(と)おもへは玉
 11 99 | 08 その世の(その)夜の穂
 11 99 | 08 ことこそは(こと)□は「内カ」穂(こと)こそ
 玉
 11 99 | 08 おそろしく(お)ろしく榊※
 11 99 | 09 おほすに(そ)おもふに(そ)穂
 11 99 | 09 恋の山ちは(こ)ひの(や)まち玉
 11 99 | 10 給へと(給)へと(へ)池
 11 99 | 10 おほし(み)たる、(お)ほし(み)たる榊※
 11 99 | 10 さまの(さま)三(御)けしきの玉
 11 99 | 10 女君(ナ)シ玉
 11 99 | 11 心くる(し)う(心)くる(し)く横(榊)池(ナ)シ玉
 11 99 | 11 思(や)り(き)こ(え)給(に)や(おも)ひ(や)り(た)く(なら)ず
 おもひ(き)こ(え)給(に)や(玉)
 11 99 | 12 心(ち)は(御)心(ち)は(池)
 11 99 | 12 よろ(し)く(よ)ろ(し)う(三)穂(玉)
 11 99 | 12 なり(に)て(な)り(て)穂
 11 99 | 12 か(の)宮(の)か(の)宮(横)池
 11 99 | 12 お(は)す(ら)む(に)お(ほ)す(覧)穂
 11 99 | 12 と(く)と(て)玉
 11 99 | 13 さ(か)し(ナ)シ(穂)

11 99 | 14 心(ち)にも(御)心(ち)にも(池)心(ち)も(陽)徹(心)にも
 肖
 11 99 | 14 内(より)は(う)ち(より)は「後(補)明
 12 00 | 01 け(ふ)も(け)ふ(の)飯
 12 00 | 01 あり(つ)と(か)あり(つ)る(か)と(穂)
 12 00 | 01 院(の)か(の)院(の)徹(証)正
 12 00 | 01 き(こ)え(つ)け(た)ま(へ)れ(は)おも(ひ)き(こ)え(つ)け
 イ(給)へ(れ)は(三)
 12 00 | 02 す(こ)し(す)こ(し)も(横)池
 12 00 | 04 み(つ)から(み)つ(から)は(池)
 12 00 | 05 人(々)人(々)も(ヲ)削(ツ)テ(ヲ)書(ク)カ(肖)
 12 00 | 05 かな(ら)ず(ナ)シ(穂)
 12 00 | 05 あ(ら)む(と)あ(ら)ん(か)し(と)玉
 12 00 | 05 くる(し)く(な)む(くる)し(く)横(池)くる(し)う(なん)
 榊(くる)し(な)む(陽)心(くる)し(く)なん(玉)くる(し)
 く(な)む(徹)
 12 00 | 06 よ(す)か(な)けれ(と)よ(す)か(な)れ(と)陽(肖)三(穂)徹(証)
 正(よ)す(か)な(け)れ(と)も(玉)※
 12 00 | 07 こと(ナ)シ(穂)
 12 00 | 07 と(や)か(く)や(や)か(く)や(陽)く(ト)や(か)く(や)
 明(※)
 12 00 | 07 お(ほ)よ(そ)人(の)お(ほ)よ(そ)人(の)横(池)
 12 00 | 08 御(心)や(を)き(給)は(む)御(心)を(や)お(き)給(は)ん(横)
 玉(御)心(を)や(き)給(は)ん(池)
 12 00 | 08 は(か)り(さ)は(か)り(三)
 12 00 | 09 心(ち)そ(こ)ち(穂)
 12 00 | 09 の(たま)ひ(ま)き(ら)は(す)の(給)ま(は)穂
 12 00 | 10 か(へ)り(て)を(か)え(り)て(玉)
 12 00 | 10 こ(こ)には(こ)こ(へ)は(正)

12 00 | 11 御(心)も(御)心(を)も(横)池(御)も(ヨ)メ(ズ)穂
 12 00 | 11 な(く)さ(み)な(む)な(く)さ(み)給(な)む(徹)証(正)な(く)さ
 み(給)な(む)証
 12 00 | 12 日(ころ)の(日)ころ(陽)徹
 12 00 | 12 御(つ)ら(さ)に(つ)ら(さ)に(徹)証(正)
 12 00 | 13 わ(か)御(を)こ(た)り(我)を(こ)た(り)穂(わ)れ(お)こ(た)り
 玉
 12 00 | 13 か(く)か(く)の(み)横(か)く(の)み(池)ナ(シ)明(飯)
 ※
 12 00 | 14 き(こ)し(め)し(つ)け(て)き(こ)し(め)し(け)つ(け)て「後
 補(明)※
 12 00 | 14 つ(ま)しく(つ)ま(し)う(榊)
 12 01 | 01 こ(し)う(も)少(侍)従(も)池
 12 01 | 01 わ(つ)ら(は)し(く)わ(つ)ら(は)し(く)の(み)玉
 12 01 | 03 け(し)き(に)て(も)け(色)に(て)徹(証)正
 12 01 | 03 や(う)も(や)と(様)も(や)と(穂)
 12 01 | 03 お(も)ひ(し)思(ひ)し(に)徹
 12 01 | 03 た(に)い(と)た(に)も(玉)
 12 01 | 04 そ(ら)に(そ)ら(を)に(に)榊
 12 01 | 04 や(う)に(様)に(穂)
 12 01 | 04 さ(は)かり(ナ)シ(玉)
 12 01 | 05 こ(と)も(を)こ(と)も(肖)
 12 01 | 05 み(給)て(け)む(見)給(け)ん(榊)※
 12 01 | 05 か(た)し(け)な(く)ナ(シ)玉
 12 01 | 05 か(た)は(ら)いた(き)に(か)た(は)ら(いた)き(陽)
 12 01 | 06 す(み)も(な)き(す)へ(み)も(な)き(大)す(み)な(き)
 「未(見)横(す)み(も)な(き)池
 12 01 | 06 ころ(な)れ(と)比(な)れ(は)肖(心)な(れ(と)玉)
 12 01 | 06 と(し)こ(ろ)と(し)年(ころ)穂

12 01 07めしまつはしめしまとはし穂玉
 12 01 07人よりは人よか(り)は「後補」明※
 12 01 07こまかにまめやかに横池こまやかに榊陽肖
 三穂玉徹証正

12 01 08あさましくあさましう榊
 12 01 09たてまつりてはたてまつりてへは榊たてまつりて穂

12 01 09いかてかはナシ玉

12 01 09めをもめを三

12 01 10まいらざらむもまいらざ覽穂

12 01 10ことの事穂

12 01 11心ちも心も三

12 01 12つみにはつみに榊玉

12 01 12あたるへきあへたるへき陽

12 01 12なりぬるなりぬへき玉

12 01 12心ち心地の横池

12 01 12されはよとされはよとて榊

12 01 13かつはナシ穂玉かつ徹

12 01 13心も御心も榊

12 01 13いとへいと池ナシ玉

12 01 13しつやかにしつ「や」かに横榊しつかに

池

12 01 13けはひけは穂

12 01 14わたりそやあたりそや池あたり玉

12 01 14みすの御すの穂玉

12 01 14かるしかるし池

12 01 14大将の院(大将)の「後補カ」玉

12 02 01おもひ給へるおもひ給へる「□」上カラ給
 へヲ書ク池

12 02 01けしきけしきに(イ無)三
 12 02 02思ひさままむとおもひまさんと榊※
 12 02 02とおもふナシ穂
 12 02 02あなかにナシ玉

12 02 02つけたてまつらまほしきつけまつらまほし
 き横池

12 02 03ひたおもむきにひたおもむけに穂

12 02 03おほとかに思とかに玉

12 02 03ありさまもあり様も穂

12 02 04かつさふらふかつは(候)横

12 02 04心をぎ心をぎ玉

12 02 04こともなくてことなくて徹

12 02 04かくかくて榊

12 02 04御身のためも人のためもいみしきナシ

12 02 05人のためもナシ横池証正(人のためも)

12 02 05え思ひはなたれえおもひはなたれ榊おも

ひはなたれ穂玉

12 02 06さまの御有さまの肖ナシ玉

12 02 06かくへかく榊

12 02 08みたてまつり給につけてもみたてまつりた

まふつけても飯

12 02 10いたはしくへいたはしく三

12 02 10きこゆるきこゆる池

12 02 11きこえナシ榊穂

12 02 11いといと、穂

12 02 11いといと、穂

12 02 11御心御「ヨイカ」玉
 12 02 12もてなしてもてなして榊

12 02 12おほしのみみたるにおほしのみたる、
 (に)榊おほしのみみたるに穂

12 02 12御心の内しもそ御こころの中しも穂
 12 02 13さることさることは飯

12 02 13みきとも見きとこと(もイ)三※

12 02 13わりなくわりなくて玉

12 02 13おほしたるさまも心をさなしいとかくナシ

12 02 14よきやうとよきやうと「に」上カラとヲ書

ク玉

12 02 14心もとなく心もとなう榊

12 03 01おほすにおほすに榊

12 03 02をひれおもひ玉

12 03 02かやうにかやうには徹証正

12 03 03女はかう女はかく「横末見」横池女は、か

ら穂

12 03 03はるけ所なくはるけきところなく玉

12 03 04心つよからぬ心よからぬ陽

12 03 04しいつるしつる横池玉

12 03 05北の方の北の方徹

12 03 05なくなくて玉

12 03 05ものはかなきものはりなき飯

12 03 06さすらふるさすらふ玉

12 03 06おいておいへいて大

12 03 06かとしくかとしう榊三

12 03 07心のそはぬにしも心そはぬにしも横池心の
 そはぬ(に)しも榊
 12 03 07あささりしをあささりしよを池
 12 03 08すくしすこし玉過し徹

12 03 10 しましてナシ玉
 12 03 10 なさすなへさす榊
 12 03 11 いかにかとあることいかにしかとありしる
 こと池
 12 03 11 なかくナシ陽
 12 03 11 たもたむたもとたん池
 12 03 12 おなしことあらまし物から心もてナシ
 穂
 12 03 13 かるくしきかろくしき穂玉
 12 03 13 くはりなましはりなまし「本二」ト傍
 記「玉」
 12 03 14 おほしいつおほしいつるに池
 12 03 14 内侍のかむのきみをは内侍かむのきみは横
 池
 12 04 01 給へと給へは穂
 12 04 01 かくかかく榊とかく穂
 12 04 01 うき物にうき物と穂
 12 04 01 御心よはさも御心より(は)さも「後補」明
 ※
 12 04 02 かるくかるくろくヲ削ッてるくヲ書ク榊か
 ろく穂玉
 12 04 02 給けりたまひにけり陽
 12 04 02 きゝ給てはきゝ給て玉
 12 04 03 うききてうききて横うきて玉
 12 04 03 いまなむとたにいまなとたに横いまなと
 き(たに)榊
 12 04 06 さためなさをさためなきを榊
 12 04 07 おほしナシ穂
 12 04 07 御多かうのおほむえかうの穂多かうの

玉
 12 04 07 うちにはついてには池中には肖徹証
 正
 12 04 07 まつこそはとまつこそ(ハナト)いと横ま
 つこそはと池陽穂玉徹証正まつこそ(はな
 と)いと池
 12 04 08 なむなとなんと三※
 12 04 08 おほくおほえ玉
 12 04 08 とくと玉とく(し比)徹
 12 04 08 おほしたちにしておほしたちし陽
 12 04 09 あらはしあらは(か)し池
 12 04 09 なれとなれは陽
 12 04 09 心の内心中徹
 12 04 10 御契を契を穂
 12 04 10 しられぬ「シ」られぬ榊「シ」らね穂し
 られぬる玉※
 12 04 10 なとと玉
 12 04 11 御返御かへり横
 12 04 11 とちめととちめて穂
 12 04 12 すみつきなとすみつきなと榊すみつき
 陽
 12 04 12 世とは世には玉
 12 04 12 身ひとつのみ身ひとつにのみ横榊池陽肖三
 明飯身ひとつのみ穂
 12 04 13 のたまはせたるのたまは(せ)たる横のたま
 せはせたる榊
 12 04 14 あま舟にあまふねの「を」ヲ削ッテふヲ書ク
 カ「榊」
 12 04 14 いさりせしきみあ(いイ)さりせしきみ

三
 12 04 14 多かうには「改行」陽玉
 12 05 01 かとかこと横池かた肖三徹証正かと(夕)
 「後補」明かと「とカセカ」玉
 12 05 01 いかはといかと徹いかはと「はアル
 カ」証いかはとと飯
 12 05 01 しきみにしきみにてしきみに池しきに
 玉
 12 05 01 されたまへはさし給へる横榊池陽肖三明穂
 玉徹証正飯
 12 05 03 二条院に二条の院に玉
 12 05 03 みせたてまつりみせさせ(たて)まつり「て
 本」ノ傍記でヲミセケチニシテたてヲ書ク
 池
 12 05 04 こそこそ三※
 12 05 04 はつかしめられたれはつかしめられたれ横池は
 つかしめられたれ肖徹証正「けれ証」つ
 かはしめられたれ「本二」ト傍記「玉」
 12 05 04 けにけり玉
 12 05 04 心月なしや心つきなし徹証正
 12 05 04 さまくさまく陽穂玉
 12 05 04 世中の世の徹
 12 05 05 ありさまをあり様を穂
 12 05 05 みすくしつる見過しつる徹
 12 05 05 やうなるやうなる穂やうなる世(よ)
 徹
 12 05 05 なへてのなへて玉
 12 05 05 世のことにも世に事にても池よのなかに
 ても三よのこと(中)にても「後補」明よの

ことにても「よカ」玉

12 05 06物を「ナシ」三

12 05 06よせて「よせ」(付イ)て「後補」明

12 05 06すくきす「すくき」て穂

12 05 07かはしつへき「かはし」給(つ)へき榊

12 05 07こそは「こそ」榊

12 05 07のこりありつるを「のこり」つるを榊

12 05 08齋院は「さい」院へは「後補」明「さい」院

は又穂

12 05 08給にたなり「給にたなり」横「給ひためり」肖「給にためり」三「給にたんなり」穂「給にたるなり」

飯

12 05 08なを「ナシ」榊

12 05 09ありさまを「有さま」榊

12 05 09中に「なかに」榊三

12 05 09なつかしき「はつかしき」玉

12 05 10御なすらひに「たにも」御へな「すらひに」たにも

「未見」横「なすらへに」たにも三「御なすらへに」たにも穂「御なすらひに」たに玉徹

12 05 10女こをおほしたて「む」女こをおほしいて

ん肖「女子を」したてん三「女子を」したてむ

穂

12 05 11かたかるへき「かたかるへき」三※

12 05 11いふらむ「いふなる」玉

12 05 12おいた「む」おひたら「ん」らノ上カラ「ヲ書クカ」池「おいたらん」正「ハ」らト「ノ」区別

微妙「玉証」正

12 05 12いるへかめり「いるへか」めり穂「いるへき」

(か)めり証

12 05 13あまた「ナシ」榊

12 05 13さう「し」のさう「の」玉

12 05 14ありし「有し」を穂

12 06 01おほしたて「たてまつり」給へ「おほしたてまつり」給へ榊肖徹証正を「したて」穂

12 06 01物の心を物「こ」ろ横池三徹

12 06 01ほとならて「ほとなら」(く)て横

12 06 02し給へは「し給へ」はイ「三」

12 06 03すくし「過し」徹

12 06 04うしろめ「たかるましき」うしろめたるましき

穂

12 06 04とさまかうさまの「とさまかう」さまに(の)

横

12 06 05それにも「それへ」も池

12 06 06御うしろみ「御」うしろみ池

12 06 07いかならむ「いかへな」らん横

12 06 10それ「それを」三

12 06 11六条の「六条院の」横

12 06 11ひむかしの君に「ひんかしき」みに玉

12 06 11うるはしき「うるはしく」横

12 06 11みめも「みるめも」肖三徹証正みへる「めも」後補明

12 06 12けうとかるへし「けうとかるへ」し榊

12 06 12心はへ「心は」三

12 06 12みせてを「見せて」玉飯

12 06 13せさせ給「せさせ」給榊

12 06 13給つくも所の「給つくも」し(と)ころの池「た

まふつくもん所の穂「給つくも」ところの玉「給へつくも所の徹証」正

12 06 14木長などの「木丁」もの三

12 06 14事もいと「事玉」事へもいと正

12 07 01かくて「ナシ」陽

12 07 01山のみかとの「山のみか」と榊

12 07 01八月は「八月」肖

12 07 02御忌月にて「御いみの」月にて玉

12 07 02かくそのこと「かく所陽」かく所のこと「トルカ」肖三穂玉徹証正

12 07 02おほきさきの「おほきさい」の玉

12 07 03ひめ宮「ひめ君」証ハ君カ「証」正

12 07 03いたく「いたう」榊

12 07 04衛門督の「ゑもんのかみ」の榊三「明飯」衛門督

穂

12 07 04御あつかりの宮「御あつかり」宮榊

12 07 05ゐたちてゐたち「陽」ゐへてたち玉

12 07 05ものきよらもの「きよう」陽

12 07 05給へりけり「給けり」三

12 07 06思ひおこして「おもひをこし」横「未見」横池

※

12 07 06なをなやましく「なをやましく」飯

12 07 07すくし給すくし「給」大「すくし給玉」過し給徹

12 07 07宮も「宮三」(宮)も「後補」明※

12 07 08くるしけに「くるけに」飯

12 07 09院は「院の」徹

12 07 09かたこそ「方に」そ陽

12 07 09あえかなる「あえる玉」あへかめる飯

12 07 10なけかしくて「なけかして」穂

12 07 11すくし給すくし「給穂」過し給徹

12 07 12 おもひきこえ給〔思〕きこえ給明
 12 07 12 事も事徹
 12 07 13 いかなるにかと、いかなるにかと三
 12 07 13 つふれて世中も、つふれてよの中も横、つふれて世中玉
 12 07 14 たいの方の、たいのかた陽
 12 07 14 ころは、ころも玉
 12 08 01 たに、たに池、ナシ穂
 12 08 01 なをりかたく、なをざりかたく榊
 12 08 01 ころほひひむなき、ころほひひむなき〔朱〕
 大
 12 08 02 事や、事ことや徹
 12 08 03 心にて、心にていかにて玉
 12 08 03 うちわたりなどの、うちわたりの徹
 12 08 03 みやひを、みやひを池
 12 08 04 なからひ、ならひ穂
 12 08 04 うきこと、うきこと横
 12 08 04 きこゆかしきこゆるし〔「本二」ト傍記〕
 玉
 12 08 04 さへ、ナシ榊
 12 08 06 宮に、宮にも横池
 12 08 06 こまやかにて、こまやかに穂
 12 08 06 そのこと、なくて、その事となくへて榊
 12 08 07 しは、しはし穂
 12 08 07 ほどに、程は穂
 12 08 07 おほつかなくて、おほつかながらて飯
 12 08 08 なやみ給なるさまは、なやみ給なるさま横
 池、なやみ給さま榊

12 08 09 しひすくし給へ、しひてすくし給へ
 陽
 12 08 10 おほろけにて、おほろけにてへもイ三
 12 08 11 わさになむなと、わさになむ〔など〕明
 12 08 12 あさましきを、あさましきを穂
 12 08 12 きこしめすへきには、きこしめすへきにも陽
 穂玉
 12 08 12 あらて、あらす玉
 12 08 12 ほいなく、ほむいなく池
 12 08 13 御返をは、御かへりをは横榊
 12 08 14 御せうせこに、御せうせこに横榊池陽肖三
 穂玉徹証正飯
 12 08 14 まろ、まつ横池陽穂玉飯
 12 09 01 ありとも、有とも〔他本ヨイカ〕三穂
 12 09 01 みとかむ、みとかん穂、おもひとかむる
 玉
 12 09 01 侍れ、侍れ榊
 12 09 01 たかたかたか陽
 12 09 02 のたまふに、の給に横、のたまふには穂
 12 09 02 はちらひて、そらいて玉
 12 09 02 御すかたも、御すかたは穂
 12 09 03 ものおもひくしたまへる、もの思ひくむしたまへる陽穂玉正、物思ひくつし給へる徹証
 12 09 03 いと、いと榊、いと三
 12 09 03 おかしを、かしく玉
 12 09 03 いと、と三
 12 09 04 御心は、へを、御心は、へを池
 12 09 04 いたくは、いたくへは、横、いたく陽
 12 09 05 たてまつれば、たてまつれと肖徹証正

12 09 05 いまよりのちも、いまよりこのも玉
 12 09 05 なむ、ナシ徹証正
 12 09 05 いかて、いかてか横、いかてか池
 12 09 06 おもへと、おもへは穂飯
 12 09 06 やすからす、□すからす〔ノドニアタリヨメズ〕玉
 12 09 06 いふせき、いふせき横
 12 09 06 を、に、身か〔かカ〕穂
 12 09 07 たに、たにも徹証正
 12 09 07 きこえなす、きこえなす穂
 12 09 07 方に、事に榊、かた、榊
 12 09 08 よる、よかん玉、とる飯
 12 09 08 へかめる、へかむる横池穂玉
 12 09 08 あさきと、あさきに池陽穂玉、あさきと〔に〕池
 12 09 08 さたすきに、たるありさまも、さたすきぬ穂
 12 09 09 あなつらはしく、わ〔あなイ〕つらはしく三
 12 09 09 みなし、見なし証
 12 09 09 給らむも、給はむも穂飯、給らん徹
 12 09 10 院の、院榊
 12 09 10 心を、さめて、ころを、さためて穂
 12 09 11 やう、やうに穂
 12 09 11 おなく、むなく玉
 12 09 12 なるめたまひ、そなかるめたまひ、そ陽肖穂
 玉徹証正
 12 09 12 みちにも、みちにもみちにも飯
 12 09 12 うすかるへき、うかるへき陽

- 12 09 | 13 女かたに「女かた」に「明ハ符号無」池明
- 12 09 | 13 たに「ナシ穂飯
- 12 09 | 13 いと「いと」玉
- 12 09 | 13 心には「御」こゝろには「後補」明
- 12 09 | 14 おほしまよふおもひまよふ池陽三穂玉徹証
- 正 おほし(もひ)まよふ池 思ひまよふ肖 おほし(もひ)まよふ「後補」明
- 12 09 | 14 いまはと「いまはとて穂
- 12 09 | 14 すて給けむ「すてたまふけむ穂 捨けむ
- 徹
- 12 09 | 14 うしろみに「うしろみにも横」うしろみにも
- 池
- 12 10 | 01 をぎ給へる「ゆつりをぎ給へる肖徹」へゆつり
- イ「おぎ給へる三」ゆつり」をぎ給へる「後補」
- 明「ゆつり」をぎ給へる徹
- 12 10 | 01 ひきつつき「ひきつら(つ)き」朱「大ひきつ
- 「くぎ」三※
- 12 10 | 01 やうにて「かやうにて穂
- 12 10 | 02 あえなく「あえへなく横
- 12 10 | 03 なむ「ナシ陽
- 12 10 | 03 人々も「人」も「もカエカ」玉
- 12 10 | 04 みこたち「御子たち三
- 12 10 | 04 給めれは「給めれめれは徹
- 12 10 | 05 みをきつへし「見をきたまへし徹
- 12 10 | 05 そのほかは「そのほか玉
- 12 10 | 05 たれも「たれ」も横榊※
- 12 10 | 05 したかひて「したひて飯
- 12 10 | 06 よはひとともに「よはひともへ」榊
- 12 10 | 06 なりにたるを「なりにたり榊

- 12 10 | 07 思ひ待「おもひはへる」トルカ「明玉飯
- 12 10 | 07 御世の「御」世の池 御よ穂
- 12 10 | 08 御な「御なも榊 御なの肖三」御な「の」「後補」
- 明
- 12 10 | 09 この世は「この飯
- 12 10 | 09 ことにも「あらず」ことに「あらず穂
- 12 10 | 09 のちのよ「後世の穂
- 12 10 | 09 御みちの「御みち徹
- 12 10 | 10 まほに「まをに穂玉
- 12 10 | 10 そのこと「はそのこと」穂
- 12 10 | 11 きこえつ「けきえつ」け正
- 12 10 | 11 涙のみ「なみたの陽穂玉
- 12 10 | 12 さかしら「よさかしら」ヨメズ「穂さかし
- くよ玉
- 12 10 | 13 身にかはる「みにかえる玉 身にかゝる徹 身
- にかゝる「ハはカ」証
- 12 10 | 13 むつかしく「むつかしう榊
- 12 11 | 01 こまかなりし「こまやかなりし玉
- 12 11 | 02 かくしも「かくへしも」榊
- 12 11 | 02 かよはし「かかきかはし玉
- 12 11 | 02 給らむかし「給はんかし横池 給らん玉
- 12 11 | 03 さめぬ「へけれとさめぬへく」(け)れと「朱」
- 大
- 12 11 | 03 たてまつり「ナシ穂
- 12 11 | 04 給はむ「たまふ穂
- 12 11 | 04 この月「この月は榊
- 12 11 | 04 二の宮の「二宮の榊肖三穂
- 12 11 | 05 ならむも「なるならむも池
- 12 11 | 06 しも月は「しも月徹

- 12 11 | 06 忌月「御き月池 いみの月穂※
- 12 11 | 06 ものさは「かしまた」物さは「かききた陽」ものさは「かしき穂
- はかしき穂
- 12 11 | 06 いと「いと」榊玉
- 12 11 | 07 給はんを「と給はん」と三「給はんもと玉
- ※
- 12 11 | 07 のふへぎ「の給へぎ玉
- 12 11 | 08 このいたく「ナシ玉
- 12 11 | 09 みたてまつり「みたてまつらせ」(り)榊「へみ」
- たてまつり三
- 12 11 | 10 衛門督をは「ゑもんのかみをは榊三明飯
- 12 11 | 10 まつはし「まとはし穂玉
- 12 11 | 11 給つ「給つと玉
- 12 11 | 11 のたまは「せあはせしを」の給へ「あはせしを
- 榊「のたまひあはせしを玉
- 12 11 | 11 御せうそ「御せうそく横 御消息玉
- 12 11 | 11 人「人の玉
- 12 11 | 12 いと「いと」池玉
- 12 11 | 12 方「かたは玉
- 12 11 | 13 給はぬをも「給はぬも穂
- 12 11 | 14 なやみわたりて「なやみわたり給て玉
- 12 11 | 14 院に「院には横池三玉」院に「は」「後補」
- 明
- 12 11 | 14 はた「はへた」榊「ナシ玉
- 12 11 | 14 なんと「へなど」池「ナシ玉
- 12 12 | 01 なき年「なき比徹
- 12 12 | 01 思ひわたるを「思ひわたるへ」正
- 12 12 | 01 あるやうある「ある様ある穂
- 12 12 | 01 なるへし「なるへしと三

12 12 | 02 思ひよれとおもひよれは穂おもへと

玉

12 12 | 03 十二月に十二月に榊

12 12 | 04 十日と十日と榊 十日と榊 十日と榊

よ日穂 十日よひと玉

12 12 | 04 ならしならしは肖三

12 12 | 04 とのうち殿中池穂

12 12 | 04 ゆすりてのしるゆすりのしる玉

12 12 | 04 二条の院のうへは二条院のうへは池陽肖三

穂玉徹証

12 12 | 05 またいまた玉

12 12 | 05 しかくにしかく穂

12 12 | 05 よりそより[てそ]朱大よりてそ横池徹より

り陽よりそ(て) [後補]明※

12 12 | 05 えしつめはて(え)しつめはて(朱)大え

しつめはて(陽)えしつめはて(玉)※

12 12 | 06 女御の君も女御君も池穂

12 12 | 06 みこはみこも池陽穂玉みこは(も)池御子

も穂

12 12 | 07 すき(き)榊

12 12 | 07 いとおかしけにてとをしけにて穂

12 12 | 08 試案に「改行」大陽「改行スルモ朱ニテおほ

されけるニ続ケル移動符号有」大

12 12 | 08 右大臣殿の右ちもとの飯

12 12 | 09 うち(に)てうかくのうち(に)てう(し)

かくの池

12 12 | 10 あそひならしあそひなど(ら)し肖

12 12 | 10 給ければ給ければ「へノ上カラケヲ書ク」

榊

12 12 | 10 おまへの御まへの穂玉

12 12 | 10 衛門督をゑもんのかみを榊明飯 衛門のかみ

は三

12 12 | 11 事のナシ玉

12 12 | 11 ましらはせさらむはましらはせさらむは陽

三

12 12 | 12 うちに人あやしとかたふきぬへきナシ

飯

12 12 | 12 うちにうちにも陽穂玉徹証正中にも

徹

12 12 | 13 そはかとそはかとなく玉

12 12 | 13 くるしけなるなくなるしけなる榊

12 12 | 13 あらさなるをあらさんなるを穂玉

12 12 | 14 思ふ心のおもふこゝろ横池おもふ心(の)

榊

12 12 | 14 あるにやとあるから(に)やと「朱」大

12 12 | 14 心くるしく心くるしう榊くるしく穂心く

るしくて徹

12 13 | 01 ち(ナシ)玉

12 13 | 01 なたか(な)と玉

12 13 | 01 かへさひ(カ)くさひ穂

12 13 | 01 まうされける申申されける榊※

12 13 | 01 院にも院も横池

12 13 | 02 あらず(あ)す穂

12 13 | 02 給へと給へ(な)と玉

12 13 | 02 そ(の)かし(そ)の(か)し明

12 13 | 02 かし給にかくかかきねてのたまへればナシ

穂

12 13 | 03 かく(か)く池

12 13 | 03 かかき(か)かき横

12 13 | 03 のたまへれば(の)給へは横池

12 13 | 03 またかむたちめ(な)ともかむたちめ(な)とも

た陽穂玉徹証正

12 13 | 04 けちかき(け)ちかき横

12 13 | 04 みす(の)御すの玉

12 13 | 04 みす(み)すを横池御す玉

12 13 | 05 おはします(お)はします榊

12 13 | 05 いたく(い)たく榊

12 13 | 06 君たちには(君)たちに榊

12 13 | 06 もて(た)れてもて(た)れて三※

12 13 | 06 ようい(よ)そひ穂

12 13 | 06 ありかほ(に)ありかを「トルカ」榊ありか

おに「トルカ」明

12 13 | 07 ことなる(こ)となる徹

12 13 | 07 なたか(な)とか玉

12 13 | 08 さら(に)ナシ榊玉

12 13 | 08 こと(の)さま(の)こと(の)さまの穂

12 13 | 08 たれ(も)たれ(も)榊たれ(も)も

穂

12 13 | 09 こそ(こ)そ玉

12 13 | 09 見つみ(ゆ)るしかた(け)れ見つみ(ゆ)るしかた(け)

れ徹

12 13 | 10 その(こ)と(の)こと(の)と(の)池

12 13 | 10 なり(に)けり(に)なり(に)た(け)り池

12 13 | 11 ひやう(さ)を(ひ)やう(者)を穂

12 13 | 11 みあ(つ)か(ひ)みあ(つ)か(ひ)も(ノ)上(カ)ラ(ミ)ヲ書

ク榊

12 13 | 11 御(賀)の(御)か(へ)横(御)か(た)の玉

- 12 13 11こゝに穂
- 12 13 12みこのほうしつかうまつり給へくみこのほうしつかうまつる(り給)へく榊みこのほうしつかまつり給へく肖証正みこのほうしつかまつり給へく肖御子の法しつかうまつり給へく三
- 12 13 12とゝこほるとゝこほり徹証正
- 12 13 13しけててしけく玉
- 12 13 13としもとし陽
- 12 13 13え思ひのことくえおもひのことくも「横未見」
- 12 13 13かたのことくかたのことく肖
- 12 13 14まいるへきをまいるへき横池飯
- 12 13 14いへはいえと玉
- 12 13 14おいゝつるおもひいつる池
- 12 14 01わらはへのわらへの穂
- 12 14 01ならはしはしめしならはしはしめ横陽ならはしはしめ(し)池
- 12 14 02拍子ひやうし榊三穂玉兵し明
- 12 14 02又ナシ穂
- 12 14 02おもひめくらしかねておもひめくらして
- 12 14 04御けしきのけしきの穂徹御けしき玉
- 12 14 04やうなる様なる穂
- 12 14 04いと(いと)三いと(イト)「後補」
- 12 14 04かほの色かほの色も肖玉
- 12 14 05御いらへも御いらへ徹
- 12 14 05とみにえきこえずとみにもえきこえず横と

- 12 14 05御こと御ことゝ飯
- 12 14 06うけたまはりうけ給穂
- 12 14 06侍ながら(はへり)ながら榊
- 12 14 06比をひよりころ(をひ)より榊ころより
- 12 14 07おこり(を)をこり榊
- 12 14 07はか(しく)はへ(しく)穂
- 12 14 08侍らす侍らて肖三
- 12 14 08侍てはんへりて穂
- 12 14 08なむナシ陽徹
- 12 14 08やうにて様にて穂
- 12 14 09こもり侍陽こもりはへる「トルカ」明飯こもり侍り玉
- 12 14 09かそへかすへ玉
- 12 14 10つかうまつるへきつかまつり給(る)へき
- 12 14 10ちしのおと(ちし)のおとゝ肖ち(のおと)ゝ飯
- 12 14 10思ひをよひ(ヲモヒ)およひ横
- 12 14 10かうふりをか(うイ)ふりを三
- 12 14 10くるまをくるま榊穂
- 12 14 11けにナシ横(けに)池
- 12 14 12ところところ「トヨメルカ」飯
- 12 14 13ことの事榊
- 12 14 13侍しかははへしかは榊池明飯はへりしかは
- 12 14 13侍しはへし榊池明飯
- 12 14 14まちうけまちなうけ穂
- 12 15 01ねかはしくもね△はしくも「破損」榊
- 12 15 01侍しをはへしを横榊明飯
- 12 15 02御ねかひねかひ穂
- 12 15 02なんナシ陽
- 12 15 03女二の宮の女二宮の三穂
- 12 15 04らうありとらうありて穂
- 12 15 04ことそきたる(こと)そきたる肖
- 12 15 06侍はへる「トルカ」明飯
- 12 15 06おほやけかたはおほやけ事(かた)は榊
- 12 15 06かうやうにかやうに横榊陽玉(かやう)になぎ
- 12 15 07おき(おき)榊
- 12 15 07なにこともなに事にも横
- 12 15 08うちに(うち)に榊
- 12 15 08しりとゝのへとゝのへ陽
- 12 15 09やうなれ様なれ穂
- 12 15 09きこしめしすまきむ(おほ)きこい(しめ)しす
- 12 15 10大将と大将徹
- 12 15 10わらはへのわ△はへの「破損」榊わらへの穂(わらは)へ玉
- 12 15 10よういよせい穂
- 12 15 11よく(は)給へ(能)くはへ給穂よく(は)へ
- 12 15 11いふ物はナシ玉
- 12 15 11た(た)榊

- 12 15 | 11 わかたてたる | わか、たてたる玉
- 12 15 | 11 ことこそあれ | ことにそあれ飯
- 12 15 | 12 いとナシ横池徹証正 | へいと肖
- 12 15 | 12 のたまひつくるを | のたまひつゝくるを
- 三
- 12 15 | 12 くるしくくるしう榊
- 12 15 | 13 御まへをおまへを陽穂徹
- 12 15 | 13 おもへはおもへ | へは池 | 思は穂
- 12 15 | 14 やうに | 様に穂
- 12 15 | 14 こまやかに | こまかにも横池
- 12 16 | 01 つくろひいたし給 | つくろひひたし給池
- 12 16 | 01 さうそくの | しや(さ)うそくの榊
- 12 16 | 01 くはへ給 | くはへ穂
- 12 16 | 02 つくし給へるに | しくし給へるに徹
- 12 16 | 02 心しらひ | 心しらひとも徹
- 12 16 | 03 給める | 給ける徹
- 12 16 | 03 ひなれと御方 | ひなれは御方 | も三日
- なれは御かた | 玉
- 12 16 | 04 みたまはむに | み給はむに | にノ上カラはヲ
- 書ク | 榊 | み給はん | (も) | 「ミセケチアルカ」
- 池
- 12 16 | 04 したらつるはみに | しろつるはみに榊 | したらつるは
- みに穂
- 12 16 | 05 したかさねをきる | へし | したかさね陽穂
- 玉
- 12 16 | 05 あをいろに | あを色にて三
- 12 16 | 05 すわうかさね | すわうかさねて横池
- 12 16 | 06 かく人三十人 | けふは | したらかさね | ナシ玉
- 12 16 | 06 したらかさねを | したらかさね榊穂

- 12 16 | 06 きたる | きたり飯
- 12 16 | 06 つゝきたる | つゝきゐたる穂
- 12 16 | 07 かく所にて | かく所にして | 肖ノかくハ行末補
- 入力 | 横池陽肖三穂玉徹証正
- 12 16 | 07 御前 | 御まへ横池
- 12 16 | 08 たゝ | ナシ陽たゝ | いま飯
- 12 16 | 09 みるのうちに | すのうちに | 三 | 御すのうちに
- 玉
- 12 16 | 09 うちに | 中に池※
- 12 16 | 09 式部卿のみや | 式部卿宮池三徹
- 12 16 | 10 わさとならぬ | ナシ穂
- 12 16 | 11 御あるし | なと | 御ある(か) | し | なと | 「傍記アルカ」玉
- 12 16 | 11 けちかきほとに | けちかきやうに陽
- 12 16 | 11 大とのゝ | 大とのゝ | 「朱」大 | おほい殿の徹
- 証正
- 12 16 | 11 四らう君 | 大将殿の | 四らう | きみ | 君 | ゐ | へし | 横
- 12 16 | 12 大将殿の | 三らう君 | 大将殿 | 三郎君 | 徹証正
- 12 16 | 12 兵部卿のみやの | 兵部卿君の榊 | 兵部卿宮の池
- 三 | 明 | 徹飯
- 12 16 | 12 そむわうの | あそむわうの穂
- 12 16 | 12 ふたりは | ふたり榊
- 12 16 | 12 万歳楽 | まむさい | らく | 榊池明飯 | 万さい | らく
- 三
- 12 16 | 13 たかきいへの | たかきいへ | 「朱」大
- 12 16 | 14 おかしけに | おかし横 | おかし | へ | け | 池
- 12 16 | 14 又 | 又 | 榊
- 12 16 | 14 御子の | ない | しの | すけ | は | らの | 御 | ない | し | すけ | は

- 12 17 | 01 式部卿の宮の | しきふ卿△宮の | 「破損」榊 | 式部卿宮の池陽三徹
- 12 17 | 01 二らう君 | 四らう君 | 陽穂玉 | 四らふの | きみ | 穂
- 12 17 | 01 兵衛督と | 兵衛 | 督と榊 | 兵衛 | 督と陽 | 兵衛のかみと三 | 明
- 12 17 | 01 源中納言の御 | こ | 源中納言御子穂
- 12 17 | 02 たらう | たゝ | う | 肖 | たらう | 「ヲら二直スカ」証
- ※
- 12 17 | 03 喜春楽 | 花春楽玉
- 12 17 | 03 まひともを | まひとも三
- 12 17 | 03 御なからひの | 御なからひの池
- 12 17 | 03 おとなたち | なと | へ | おとなたち | なと | 榊
- 12 17 | 03 まひける | まい | 給ける榊 | まひ | 給ける池
- 12 17 | 04 みず | 御す穂玉
- 12 17 | 04 ものゝ | けう | ものゝ | けふ玉
- 12 17 | 04 御むまこ | 御うまこ池 | うまこ穂
- 12 17 | 05 君たちの | 君たち | 陽
- 12 17 | 05 補入 | 横
- 12 17 | 05 おほむ師 | 御師陽穂玉徹
- 12 17 | 06 をの | ころ | ころカ | 穂
- 12 17 | 06 かきりを | かきり徹
- 12 17 | 06 かと | しき | かと | しき | (さ) | 池
- 12 17 | 06 くは | へ | て | くら | へ | て | 飯

12 17 | 07 まひ給をまひ給三
 12 17 | 07 いづれをもいづれをも池いづれも穂
 12 17 | 07 かむたちめたちは上達部たちは徹
 12 17 | 08 みなへみな榊
 12 17 | 08 涙おとし給涙をとし給穂玉飯
 12 17 | 08 式部卿の宮も式部卿宮も池陽穂
 12 17 | 08 御まこを御まひこを肖御むまこを玉
 12 17 | 08 しほたれしほれ玉
 12 17 | 09 そへてはそへて徹証正
 12 17 | 10 衛門督衛門のかみ榊明飯
 12 17 | 10 心とめて心とめて横め(心)とめて
 榊
 12 17 | 10 心はつかしや心はつかしや榊
 12 17 | 10 さりともさりと△「破損」榊
 12 17 | 10 ならんなへらいん三
 12 17 | 12 まめたちくんしてまめたちくつして徹
 証
 12 17 | 12 なやましければなやましくおほえければ
 穂
 12 17 | 12 こともへことも肖ことにも玉ナシ正
 12 17 | 13 しつゝして三
 12 17 | 14 やうなれと様なれと穂
 12 18 | 01 しむ給へははしたなくてしむ給へはは(は)
 したなくて「朱」大
 12 18 | 02 はしたなくてはしたなくて玉
 12 18 | 02 おかしおかしき徹
 12 18 | 03 こともはてぬに事はてぬに徹
 12 18 | 03 まかて給ぬるまかてへ給ぬる「横未見、池
 ハ符号無」横池

12 18 | 03 いたくいたう横榊池
 12 18 | 04 いとナシ横池玉
 12 18 | 04 かなれはかゝるならむいかなれはかゝる
 なへらん「未見」横いかなるにかあらん
 玉
 12 18 | 04 物をものを榊
 12 18 | 05 気のけの「トルカ」穂玉
 12 18 | 05 気のほりぬるにや気のへほりぬるにや
 「朱」大
 12 18 | 05 心よはさとは心よはさは玉
 12 18 | 06 身つから△△△「破損」榊
 12 18 | 06 思ひしらるおもひしらる穂おもひしる
 玉
 12 18 | 07 いといと横
 12 18 | 07 わつらひ給おとゝわつらひ給おとゝ「ヨイ
 カ」証
 12 18 | 07 は北の方へは北の方徹
 12 18 | 08 給を給給を飯
 12 18 | 09 またはた肖ナシ三
 12 18 | 09 いとナシ穂
 12 18 | 09 すくすへき比はすくすへき日は横池明穂
 玉飯すくすへき(月日)は榊すくすへ
 き日は陽すくすへき比は肖徹証正すくすへ
 き過すへき徹すくすへき比は三すくすへき
 ひ(比)は「後補」明※
 12 18 | 10 御ころさしなれと御心さしなれは玉
 12 18 | 10 いまはといまは玉
 12 18 | 11 かとてにやへカトテにや「池ハ平仮名」横
 池

12 18 | 11 おもふはナシ穂
 12 18 | 11 かなしくナシ穂
 12 18 | 11 をくれてをくり(れ)て肖
 12 18 | 11 おほしなけかんおほしな(け)かん榊
 12 18 | 11 ことのとの飯
 12 18 | 11 なたしけなきをなたし(け)なきを大なたし
 なきを穂
 12 18 | 12 いみしと思ふナシ玉
 12 18 | 12 いとみしくなき給ていみしくなき給て
 三
 12 18 | 13 御なからひは御なへかへらひは榊
 12 18 | 13 かゝるおりもナシ穂徹証正
 12 18 | 14 はなれはれ穂
 12 19 | 01 まてもきても穂
 12 19 | 01 すくし過し徹
 12 19 | 01 給はむか給△△△「破損」榊
 12 19 | 01 なるへきなるへき「つノ上カラヘヲ書ク」榊
 ※
 12 19 | 01 こゝにてこゝ△△「破損」榊
 12 19 | 02 御きちやうはかりをへたてゝみたてまつり給
 ことはりやかすならぬ身にてをよひかたき御
 ながらひにナシ「補入符号ノミアルカ」池
 ※
 12 19 | 02 はかりをはかり横榊
 12 19 | 02 へたてゝみたてまつり給へたてまつりたま
 ふ穂
 12 19 | 02 ことはりやことはりやと肖
 12 19 | 03 かすならぬ身にてかすならぬにて玉かすか
 ならぬ身にて飯

12 19 | 03 | をよひかたき | おもひかたき穂
 12 19 | 03 | 御なからひに | 御な(か)らひに榊 | 御中らひの
 徹証正
 12 19 | 03 | なましひに | ナシ玉
 12 19 | 04 | ひと、ひとしくなる | 人 < / > しくなる三
 12 19 | 05 | けちめをもや | けちめもや三穂
 12 19 | 05 | こそ | ナシ玉
 12 19 | 05 | おもふ給つれ | 思給えつれ横 | おもふ給えれ
 榊 | おもふ給えつれ池陽肖徹証正 | 思給つれ
 三 | おもひ給ひつれ玉
 12 19 | 05 | かくさへなり | かくさへ横池
 12 19 | 06 | 侍へれば | 侍りつれば陽穂
 12 19 | 06 | 心さしを | 御こゝろさしを穂
 12 19 | 06 | はてられすや | い(は)てられすや榊
 12 19 | 06 | おもふたまふるに | 思給ふるに三 | おもひ給ふ
 るに玉
 12 19 | 07 | とまりかたき | とさりかたき徹証正
 12 19 | 07 | 心地にも | 心ちも玉
 12 19 | 07 | えゆきやるましく | えゆきやへる < / > ましく
 榊
 12 19 | 07 | 思給へらるゝ | 思ひ給へらるゝ榊穂玉
 12 19 | 07 | など | ナシ穂
 12 19 | 09 | みえむとは | みんとは玉
 12 19 | 09 | おもひたまふましき | 思ふ給ましき榊
 12 19 | 09 | れいならず | れい(へい)ならず「朱」大
 12 19 | 10 | 中に | なかに榊三
 12 19 | 10 | とりわきて | とりわきてこそ徹
 12 19 | 10 | ゆかしくも | ゆかしく△「破損」榊
 12 19 | 10 | たのもしくも | ナシ穂

12 19 | 10 | おほえ給へ | おもひ給へ玉
 12 19 | 11 | かくいと | かく横池 | か△△△「破損」榊
 12 19 | 11 | うらみき | こえ給も | うらみ□きこえ給も□ハ
 きノ書キ損ジカ「正
 12 19 | 11 | 又 | 又三※
 12 19 | 11 | いとこと | はりなり | いとこと | はり(ナリ)「池
 ハ平仮名デ符号無」横池 | いとこと | はり榊明
 飯 | いとこと | はりなり榊 | ことわり也陽
 12 19 | 11 | 人より | 人よりは横
 12 19 | 12 | かなしく | くるしく玉
 12 20 | 01 | きかせ給は | ゝ | きかせ給は(へ)榊
 12 20 | 01 | 又 | ナシ穂
 12 20 | 01 | たまはらむ | たはらむ穂 | 給らん玉
 12 20 | 02 | ことも | こと横榊池陽肖三 | 明穂玉飯
 12 20 | 03 | ゆくすゑ | ナシ穂
 12 20 | 03 | なかくのみ | なかくたのみ玉
 12 20 | 04 | のみ | ナシ榊
 12 20 | 04 | おもひ侍ける | (へ)思侍りける池
 12 20 | 04 | こと | ことゝ | て穂
 12 20 | 05 | おほし | こかれたり | おほし | みたれたり池
 12 20 | 05 | よろつに | よろつ飯
 12 20 | 05 | さは | き給さるは | さは | き△△るは「破損」
 榊
 12 20 | 05 | さるは | さるは | はた池
 12 20 | 06 | 御心ちの | △△ちの「破損」榊 | 心地の池
 12 20 | 06 | さまにも | さま(へ)も榊
 12 20 | 06 | 月ころ | としころ「ヨイカ」玉
 12 20 | 06 | もの | などを | もの | 横池三徹
 12 20 | 07 | いと | いと飯

12 20 | 08 | やうに | やうに | そ横榊池陽肖三 | 穂玉様にそ
 穂
 12 20 | 08 | さる | さる池
 12 20 | 08 | 世中 | ナシ穂
 12 20 | 10 | おしみ | ナシ穂(へ) | をしみ玉
 12 20 | 10 | おほし | めしたるにも | おほし | めしたるに(へ)も
 横 | おほし | めしたるも | 榊 | おほし | したるに穂を
 ほしたるにも玉
 12 20 | 11 | 六条院にも | 六条の院にも | 榊玉 | 六条院
 穂
 12 20 | 11 | おほし | (へ)おほし | 池 | ナシ穂
 12 20 | 11 | 御と | ふらひに | 御と | ふらひ榊陽肖穂玉徹
 12 20 | 12 | たひ | < / > | たひ | < / > | に榊※
 12 20 | 12 | いと | ナシ穂
 12 20 | 13 | い | みしく | ナシ池
 12 20 | 13 | あり | き | ナシ飯
 12 20 | 13 | 御賀は | 御賀(へ)池
 12 20 | 13 | 廿五日に | 廿五日に | に徹
 12 20 | 14 | おやは | らから | おやは | らか△「破損」榊 | をや
 は | らから | の三 | に | や | らから | 穂※
 三
 12 20 | 14 | あまたの | 人々 | さる | た | か | き | 御 | な | から | ひの | ナシ
 玉
 12 21 | 01 | さる | た | か | き | さる | か | た | か | き | 明 | さ | り | か | た | き
 玉
 12 21 | 01 | 御 | な | から | ひの | 御 | な | か | △ | △ | の | 「破損」榊 | 御 | な
 から | ひ | の | 池
 12 21 | 01 | な | け | き | な | き | 三
 12 21 | 01 | し | ほ | れ | し | ほ | た | れ | 徹
 12 21 | 01 | もの | す | さ | ま | し | き | もの | さ | す | さ | ま | し | き | 徹

12 12 12
 21 21 21
 03 02 02
 いかてか は つぎ
 いかてか は つぎ
 いかてか 横 徹
 横 証

12 12 12
 21 21 21
 04 03 03
 五十寺の 女宮の
 五十の 内をそ 女宮の
 てらの 御心の中を 陽
 玉 池 姫宮の肖※

12 12
 21 21
 04 04
 まかひるさなの 御てらにも
 まかひるさなの みてらにも
 の穂 陽肖証正